



Hewlett Packard
Enterprise

HP Insight Management 7.5 Update 1 サポートマトリックス

摘要

このサポートマトリックスでは、サーバー管理のための統合ソフトウェア、HP Insight Management のインストールと運用のためのハードウェア、ファームウェア、およびソフトウェアの最小要件を示します。

部品番号: 828172-192
2016 年 5 月
第 1 版

© Copyright 2009, 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

商標

Adobe® は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

AMD は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

Itanium® はインテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft®, Windows®, および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の商標です。

Java および Oracle は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

VMware vSphere®, VMware vSphere® 5.1, VMware vSphere® Hypervisor, VMware® ESX®, VMware® ESXi™, VMware® vCenter™ は、VMware® の登録商標です。

Citrix® は、Citrix Systems, Inc および/またはその子会社および関係会社の商標です。米国特許商標庁およびその他の国で登録される場合があります。

Google™ © 2012 Google Inc. All rights reserved. Google および Google ロゴは、Google Inc. の登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

目次

1 新しいサポートと終了したサポート	6
新しいソフトウェアサポート.....	6
終了したソフトウェアサポート.....	6
新しいハードウェアサポート.....	7
新しいストレージサポート.....	7
2 管理サーバー	8
ハードウェアとファームウェア.....	8
CMS のハードウェア.....	8
CMS のメモリ.....	9
CMS のディスク容量.....	9
テスト済みの最大構成を使用した場合の CMS の管理能力.....	10
CMS ファームウェア.....	12
Insight Control サーバードプロビジョニング.....	13
ソフトウェア.....	15
CMS ソフトウェア.....	15
CMS のオペレーティングシステム.....	15
HP Insight Management 製品の追加の言語サポート.....	17
CMS でサポートされるハイパーバイザー.....	18
必要なその他のソフトウェア.....	19
CMS でサポートされるデータベース.....	20
Microsoft Windows ドメインでサポートされる CMS 構成.....	21
KVM 仮想マシンのプロビジョニング.....	22
Insight Control サーバードプロビジョニングソフトウェア.....	22
管理サーバーの追加要件.....	23
サポートされるブラウザ.....	23
推奨される画面解像度.....	24
3 高可用性環境における管理サーバー	25
HA 環境での CMS.....	25
CMS でサポートされるクラスター環境.....	25
CMS 高可用性環境でサポートされる Insight Management コンポーネント.....	25
CMS クラスター構成.....	26
CMS クラスター構成でサポートされない項目.....	27
4 管理対象システムのハードウェア	28
パブリッククラウドプロバイダー.....	28
サポートされる HP BladeSystem エンクロージャー.....	28
サポートされるサーバー.....	28
HP ProLiant サーバー.....	28
HP Integrity サーバー.....	34
他社製サーバー.....	36
サポートされるストレージ製品.....	36
推奨されるファイバーチャネルストレージおよびスイッチ.....	41
iSCSI SAN.....	41
VM ゲストの予備ストレージとしての iSCSI ターゲット.....	42
iSCSI デバイスの参考情報.....	42
仮想化された SAN (FCoE および iSCSI) のスイッチ.....	42
仮想マシンゲストのストレージオプション.....	42
VMware VXLAN 環境での Matrix OE サポート.....	43
Microsoft System Center Virtual Machine Management (SCVMM) NVGRE 環境での Matrix OE のサポート.....	43
Flat SAN.....	44
Matrix OE のストレージのサポート.....	44

Matrix OE プロビジョニングのストレージサポート	44
Matrix リカバリ管理のストレージサポート	45
サポートされるハードウェアネットワーク製品	46
ネットワークスイッチ	46
HP Virtual Connect Enterprise Manager ハードウェア	46
サポートされるその他のハードウェア	47
5 管理対象システムのファームウェア	48
Service Pack for ProLiant	48
Integrity Support Pack	49
Insight Management のファームウェアに関する推奨事項	49
6 管理対象システムのソフトウェア	51
HP ソフトウェア統合	51
サポートされているオペレーティングシステム	51
Microsoft Windows	51
Linux	56
HP-UX、HP NonStop、および HP OpenVMS	60
AIX、Solaris、および NetWare	61
サポートされるハイパーバイザーホストおよび VM ゲスト	62
メモリ/CPU ホットプラグ機能の情報	68
メモリ/CPU のホットプラグ機能に関する VMware vCenter の制限事項	68
7 管理対象システムのエージェントおよびプロバイダー	69
Matrix OE にバンドルされているエージェントおよびプロバイダー	69
OpenVMS 管理対象システム用のエージェントおよびプロバイダー	70
8 サポートと他のリソース	72
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス	72
アップデートへのアクセス	72
Web サイト	73
カスタマーセルフリペア	73
リモートサポート（HPE 通報サービス）	73
Hewlett Packard Enterprise が所有していないソフトウェアコンポーネントについてのセキュリティ報告およびアラートポリシー	73
サブスクリプションサービス	74
ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録	74
ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法	74
Hewlett Packard Enterprise 製品販売店	74
関連情報	75
A Insight Control 電力管理のハードウェア要件およびサポートされている機能	76
電力管理の機能	76
Insight Control 電力管理のサーバー要件およびサポートされている機能	76
Insight Control 電力管理のサポート対象の電力供給デバイス	86
B Insight Control サーバー移行のハードウェア要件および注意事項	88
Insight Control サーバー移行をサポートするストレージコントローラー	88
Insight Control サーバー移行がサポートするコンバードネットワークアダプター	90
Insight Control サーバー移行がサポートするネットワークインターフェイスカード	92
Insight Control サーバー移行がサポートするファイルシステムタイプ	95
Linux サーバーの移行についての注意事項	95
ターゲット仮想マシンの手動ブート用にサポートされるストレージアダプター	95
Insight Control サーバー移行の追加情報	96

C Insight Control サーバードビジョニングのハードウェア要件および注意事項	97
Insight Control サーバードビジョニングがサポートするアダプター、コントローラー、ネットワークカード、およびメモ리카ード.....	97
D HP-UX CMS の要件	103
HP-UX CMS の要件.....	103
Matrix Operating Environment にバンドルされているエージェントおよびプロバイダー.....	107
頭字語と略語	108
索引	110

1 新しいサポートと終了したサポート

- ① **重要:** HP Insight Control サーバー配備は、HP Insight Control サーバープロビジョニングに置き換えられました。HP Insight Control サーバープロビジョニングは、<http://www.hpe.com/info/insightupdates>（英語）から別途ダウンロードできます。HP Insight Control サーバー配備の最後のリリースのバージョンは7.3 Update 1です。このリリースのサポート情報は、<http://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs>にある『HP Insight Management 7.3 Update 1 サポートマトリックス』に記載されています。

重要: Insight Management 7.5 リリース以降、Savvis Virtual Private Data Center はサポートされなくなりました。

新しいソフトウェアサポート

今回のリリースでは、中央管理サーバー（CMS）および管理対象システムですでにサポートされているソフトウェアの新しいバージョンのサポートが導入されました。

表 1 (6 ページ) に、新しいソフトウェアのサポートを示します。

表 1 新しいソフトウェアサポート

ソフトウェアタイプ	CMS ソフトウェア	管理対象システムのソフトウェア
ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">IE タブ拡張付き Google Chrome 47	なし
データベース	<ul style="list-style-type: none">Microsoft SQL Server 2014 SP1	なし
オペレーティングシステム	なし	<ul style="list-style-type: none">RHEL 7.2SLES 12 SP1HP-UX 1603
ハイパーバイザー	<ul style="list-style-type: none">VMware vSphere 6.0 Update 1bVMware vSphere 6.0 Update 1aVMware vSphere 5.5 Update 3bVMware vSphere 5.5 Update 3a	<ul style="list-style-type: none">VMware vSphere 6.0 Update 2RHEL 7.2 上の KVM
仮想化管理ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">VMware vCenter 6.0 Update 1bVMware vCenter 6.0 Update 1aVMware vCenter 5.5 Update 3bVMware vCenter 5.5 Update 3a	<ul style="list-style-type: none">VMware vCenter 6.0 Update 2

注記: このリリースで追加された新機能については、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** で入手できる『HP Insight Control リリースノート』および『HP Matrix Operating Environment リリースノート』を参照してください。

終了したソフトウェアサポート

今回のリリースでは、CMS と管理対象システム用に一部のソフトウェアのサポートが終了しました。

表 2 終了したソフトウェアサポート

ソフトウェアタイプ	CMS ソフトウェア	管理対象システムのソフトウェア
データベース	なし	なし
オペレーティングシステム	なし	なし
ストレージ	• HP MSA P2000 (TS252 ファームウェア搭載)	なし
ハイパーバイザー	なし	なし
仮想化管理ソフトウェア	なし	なし

新しいハードウェアサポート

今回のリリースでは、次のハードウェアのサポートが導入されました。

新しいストレージサポート

このリリースの新しいストレージのサポートを以下に示します。

- GL220 を搭載した HP MSA 1040/2040 (FC/iSCSI/SAS)
- HP 3PAR StoreServ 7000 および 10000 上の HP 3PAR OS 3.2.2 MU2
- HP 3PAR StoreServ 8000 および 20000 上の HP 3PAR OS 3.2.2 および 3.2.2 MU2
- HP 3PAR StoreServ 7000 および 10000 上の HP 3PAR OS 3.1.3 MU3
- HP 3PAR OS 3.1.3 MU3 (F クラスおよび T クラス)
- HP StoreEasy 1650 (拡張) ストレージ

2 管理サーバー

この章では、次の2つの管理サーバーのハードウェアとソフトウェアの最小要件について説明します。

- 必須の CMS
- オプションの HP Insight Control サーバードビジョニング管理サーバー。Insight Control サーバードビジョニングは、ベアメタル ProLiant および BladeSystem サーバーへのマルチサーバーオペレーティングシステムドビジョニングの実行を希望する ProLiant のお客様向けのオプションの VM アプライアンスです。

注記: ProLiant ユーザーが KVM クラウドを管理する必要がある場合、Matrix 7.5 Update 1 は、他の外部クラウドプロバイダーと同じように CloudSystem 8.0、8.1、8.1.2 のリソースプールから KVM 仮想マシンを作成して管理することができます。HP CloudSystem 8 について詳しくは、Web サイト <http://www.hpe.com/info/CloudSystem/docs> または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual にあるドキュメントを参照してください。

ハードウェアとファームウェア

CMS のハードウェア

表 3 (8 ページ) は、シングルサーバー CMS のハードウェア要件を示しています。

HP SIM での HP Insight Remote Support の使用、システム要件、および製品サポートについては、Web サイト <http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs> で Insight Remote Support のドキュメントを参照してください。

表 3 CMS のハードウェア要件

ハードウェアコンポーネント	要件
サーバー	この章で指定する CPU、メモリ、およびディスク容量の要件を満たすサポートされる任意の HP ProLiant サーバー。 HP Systems Insight Manager、HP Insight Control 仮想マシン管理、および HP Matrix Operating Environment (Matrix OE) は、仮想マシン上での CMS の稼動もサポートします。この構成では、CMS が「 CMS のオペレーティングシステム 」(15 ページ) で示されているサポートされるオペレーティングシステムおよび「 CMS でサポートされるハイパーバイザー 」(18 ページ) で示されているサポートされるハイパーバイザーを実行する必要があります。
プロセッサ	1.6 GHz 以上 (2 GHz 以上を推奨)。 Matrix OE では、1.6 GHz 以上のプロセッサで構成される 4 個以上のプロセッシングコアが必要です。推奨される構成は、2.4 GHz 以上のプロセッサによる 8 プロセッシングコア構成です。
メモリ	メモリ要件については、 表 4 (9 ページ) を参照してください。
ディスク容量	ディスク容量要件については、 表 5 (9 ページ) を参照してください。
ファイル構造	NTFS
DVD ドライブ ¹	ローカルまたはマップされた DVD ドライブ、または ISO マウンティングユーティリティ。

¹ ターゲットディレクトリはローカルハードディスクドライブ上にある必要があります。

注記: 2 ノードのフェイルオーバークラスターとして CMS を構成するための要件については、「[高可用性環境における管理サーバー](#)」(25 ページ) を参照してください。

HP-UX OS を実行する Integrity ベースの CMS の要件については、「[HP-UX CMS の要件](#)」(103 ページ) を参照してください。

CMS のメモリ

表 4 (9 ページ) に、CMS のメモリ要件を示します。この要件は、32 ビット (x86) オペレーティングシステムと 64 ビット (x64) オペレーティングシステムでは異なり、Matrix OE をインストールするかどうかに基づく違いもあります。

表 4 CMS のメモリ要件

オペレーティングシステムアーキテクチャー	インストールシナリオ	必要な最小メモリ ¹	推奨メモリ ²
x86	Systems Insight Manager および HP Insight Control 電力管理	6 GB	8 GB
	Systems Insight Manager および Insight Control	8 GB	16 GB
x64	Systems Insight Manager、Insight Control、および Matrix OE	16 GB	24 GB
	HP Virtual Connect Enterprise Manager (VCEM) のスタンドアロンインストール ³	8 GB	16 GB

¹ メモリ容量がこの値を下回る場合は警告メッセージが表示されますが、インストールやアップグレードは続行されます。ただし、CMS 上の物理メモリ (RAM) は x86 システムでは 4 GB 以上、x64 システムでは 6 GB 以上必要であり、足りない場合、HP Insight Management のインストールまたはアップグレードは中止されます。

² CMS のメモリ量が推奨値に達しない場合、最適なパフォーマンスは得られません。

³ 1000 を超えるネットワークを使用するお客様は、最低でも VCEM の推奨メモリ量を使用してください。

注記: HP SIM での HP Insight Remote Support の利用方法、システム要件、および製品サポートについて詳しくは、<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs> にある Insight Remote Support のドキュメントを参照してください。

CMS のディスク容量

表 5 (9 ページ) に、Insight Management のインストールまたはアップグレードに必要な、CMS 上の空きディスク容量を示します。この空きディスク容量は、選択するソフトウェア製品や実行するインストールのタイプ (製品の新規インストール、既存の製品のアップグレード、またはインストール済み製品の同じバージョンの再利用) によって変わります。

Insight Management を代替ドライブ (すなわち、OS がインストールされているシステムドライブ以外) にインストールする場合、HP Insight Management Installer は別に 8 GB の一時領域を必要とします。Insight Management Installer は、User temp の位置を調査して、8 GB の追加が不可能な場合は、User temp 変数が指し示す位置を 8 GB の空き領域がある別の位置に変更します。ただし、代替ドライブへのインストール時にはシステムドライブに 1 GB 以上の空きディスク容量が必要です。

- ① **重要:** アップグレードの場合は、すでにインストールされているドライブ上で必要なディスク容量を確保できなければなりません。要件は必ずアップグレード開始前にチェックしてください。空き容量を拡張しないとアップグレードできないことがあります。

表 5 CMS のディスク容量の要件

インストールシナリオ	必要なディスク容量
現在インストールされているすべての Insight Management インスタンスのアップグレードまたは再利用	11 GB
他の製品の新規インストールやアップグレードと組み合わせた、Systems Insight Manager のアップグレードまたは再利用。Insight Management Installer は、コンポーネントの選択に基づいて、ディスク容量要件を動的に計算します。	15 GB

表 5 CMS のディスク容量の要件 (続き)

インストールシナリオ	必要なディスク容量
他の製品の新規インストールやアップグレードと組み合わせた、Systems Insight Manager の新規インストール。	18 GB
Insight Management DVD からの新規インストール。	18 GB

表 6 (10 ページ) に、ディスク容量について、上記以外に検討すべき点を示します。

表 6 CMS のディスク容量に関する検討事項

ソフトウェアコンポーネント	ディスク容量の要件
Insight Control 電力管理	<p>ディスク容量は、サポートされる各システムの電力履歴データの保存によって消費されます。HP では、1 つのシステムの 1 年分の履歴ごとに 12 MB を割り当てることをおすすめしています。</p> <p>たとえば、電力の管理対象システム、監視対象 PDU/PDR、および関連するラックとデータセンターの合計数が 2000 の場合、電力履歴データ用として、1 年間に約 24 GB のディスク容量が消費されます。</p> <p>このディスク容量は、Microsoft SQL Server データベースサーバーで消費されます。</p>
HP Capacity Advisor	<p>HP Capacity Advisor で使用するデータを収集して保存するために、ワークロードごとに一定のディスク容量を追加する必要があります。</p> <p>デフォルトの 4 年の保有期間に対して、次の割り当てを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> エージェントレスデータ収集をサポートするために、Windows または Linux 管理対象システムごとに、ワークロード当たり 64.5 MB を割り当てます。 HP-UX 管理対象システムの場合、システムごとに、ワークロード当たり 34.7 MB を割り当てます。
HP Global Workload Manager (gWLM)	<p>1 GB 以上のディスク容量が必要です。</p> <p>履歴データを保存する場合は、Global Workload Manager で管理する 100 ワークロードごとに 4 GB を確保することをおすすめします。</p> <p>履歴データを保存しない場合は、gWLM history --truncate コマンドを使用して履歴データベースを削除できます。</p> <p>この容量は、Microsoft SQL Server データベースサーバーに割り当てられます。</p>
HP Insight Remote Support	<p>HP SIM での HP Insight Remote Support の利用方法、システム要件、および製品サポートについて詳しくは、HP の Web サイトにある Insight Remote Support のドキュメントを参照してください。</p> <p>http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs</p> <p>管理対象デバイスの数によるディスク容量要件の増加に関する推奨事項については、Web サイト http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs を参照してください。サポート対象のバージョンを選択し、HP Insight Remote Support リリースノートにアクセスします。</p>

テスト済みの最大構成を使用した場合の CMS の管理能力

表 7 (11 ページ) に、推奨される x64 CMS 構成 (2.4 GHz で動作する 8 個のプロセッシングコアを実行、24 GB RAM および 50 GB のディスク容量で構成、別に 2.4 GHz で動作する 8 個のプロセッシングコア、16 GB RAM、および 50 GB のディスク容量で構成されるリモートデータベースサーバー) でサポートされる管理能力を示します。

表 7 CMS の管理能力

項目	x64 CMS 上での最大構成
管理対象システム（物理サーバーおよび仮想マシン）の数	<ul style="list-style-type: none"> • Systems Insight Manager : 7,000 • Insight Control : 5,000 • Matrix OE <ul style="list-style-type: none"> ◦ 一つの CMS に対して 3,500 ◦ 管理対象ノードの数が多い場合の連携構成 : <ul style="list-style-type: none"> - すべての論理サーバーが ProLiant 管理対象ノードの場合の制限 : <ul style="list-style-type: none"> - プライマリ CMS は 1 つ、セカンダリ CMS は最大 4 つ - 各セカンダリ CMS に対して 3,500 ノード - プライマリ CMS に対して 2,500 ノード - プライマリおよびセカンダリ CMS リソースプール全体で最大 12,000 ノード - すべての論理サーバーが Integrity 管理対象ノードの場合の制限 : <ul style="list-style-type: none"> - プライマリ CMS は 1 つ、セカンダリ CMS は最大 4 つ - 各セカンダリ CMS に対して 1,500 ノード - プライマリ CMS に対して 700 ノード - プライマリおよびセカンダリ CMS リソースプール全体で最大 6,000 ノード • Insight managed system setup wizard : 1,500
Systems Insight Manager コンソールの同時ユーザー数	15 人のユーザーが同時に一般的な操作と 1 つの管理タスクを実行することが可能です。
仮想マシンホスト	<p>仮想マシンホスト数は、ホスト上の VM の負荷要素によって、大幅に変わる可能性があります。仮想マシンゲスト/ホスト数は、HP SIM、Insight Control、および Matrix OE の管理対象システム全体のサポート制限数によってのみ制限されます。</p> <p>Insight Control および Matrix OE の機能により、仮想マシンホスト数は 1 つの CMS で 70 台に制限されます。</p>
監視（Systems Insight Manager および Insight Control のパフォーマンス管理による）	3,000 台の管理対象システムの同時分析
電力管理	5,000 台の管理対象システム。300 個の監視対象 PDU/PDR
ディザスタリカバリ	<p>Matrix リカバリ管理は、最大 500 台の Virtual Connect（物理）論理サーバー、1,500 台の HYPER-V VM 論理サーバー、最大 3,500 台の ESXi VM 論理サーバーから構成可能な、最大 3,500 台の論理サーバーをサポートしますが、DR 保護論理サーバーの合計が 3,500 台を超えてはいけません。</p> <p>例 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 3,000 台の ESX VM ホスト論理サーバーと 500 台の VC ホスト論理サーバー 2. 3,200 台の ESX VM ホスト論理サーバーと 300 台の VC ホスト論理サーバー 3. 3,500 台の ESX VM ホスト論理サーバー 4. 1,500 台の HYPER-V VM ホスト論理サーバー 5. 2 台の論理サーバーで構成された各 750 個の HYPER-V IO サービス、2 台の論理サーバーで構成された各 750 個の VMware IO サービス、および 500 台の VC ホスト論理サーバー

表 7 CMS の管理能力 (続き)

項目	x64 CMS 上での最大構成
	<p>注記: 連携 CMS 環境での Matrix リカバリ管理のためのガイドライン:</p> <p>IO サービスの DR 保護</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携環境では、Matrix リカバリ管理による IO サービスの DR 保護は、優先サイトとセカンダリサイトの両方で、プライマリ CMS でのみサポートされます。 DR 保護されたすべての IO サービスは、プライマリ CMS に存在する必要があります。IO サービステンプレートをプロビジョニングしてそれが復旧可能であるときは、プライマリ CMS でサーバープールを使用することにより、Matrix インフラストラクチャオーケストレーションでこれを制御できます。 <p>IO サービスの一部である論理サーバーの DR 保護</p> <ul style="list-style-type: none"> Matrix リカバリ管理を使用して、プライマリ CMS またはセカンダリ CMS 上の IO サービスの一部である論理サーバーを DR 保護できます。 Matrix リカバリ管理は、Matrix リカバリ管理の優先サイトとセカンダリサイトの両方のセカンダリ連携 CMS にインストールする必要があります。 Matrix リカバリ管理は、それがインストールされているのと同じ CMS 上に存在する論理サーバーのみ保護できます。 <p>IO サービスの一部でない論理サーバーの DR 保護</p> <ul style="list-style-type: none"> Matrix リカバリ管理を使用して、プライマリ連携 CMS またはセカンダリ連携 CMS 上の論理サーバーを DR 保護できます。 Matrix リカバリ管理は、Matrix リカバリ管理の優先サイトとセカンダリサイトの両方のセカンダリ連携 CMS にインストールする必要があります。 Matrix リカバリ管理は、それがインストールされているのと同じ CMS 上に存在する論理サーバーのみ保護できます。 <p>連携 CMS 環境について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise Information Library で入手できる『HP Matrix Operating Environment インフラストラクチャオーケストレーションユーザーガイド』を参照してください。</p> <p>IO サービスの一部である論理サーバーの DR 保護について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise Information Library から入手できる『HP Matrix Operating Environment リカバリ管理ユーザーガイド』を参照してください。</p>
Capacity Advisor のデータ収集	<ul style="list-style-type: none"> 1,500 ノードについて収集されるキャパシティプランニングデータ 15 分未満で 500 個のワークロードについて自動で推奨事項を提供 15 分未満で 150 台のシステムについての詳細レポートを提供 10 分未満で 1,000 台のシステムについて概要レポートを提供
Virtual Connect Enterprise Manager のドメイン	最大 250 のシングルまたはマルチエンクロージャードメイン。合計で、最大 1,000 台の BladeSystem c-Class エンクロージャーを含む。

CMS ファームウェア

表 8 Insight Management に推奨されるファームウェア要件

項目	推奨されるファームウェアバージョン
Intelligent Provisioning	2.40 (Gen9) 1.62 (b) (Gen8)
Service Pack for ProLiant	2016.04.0
次の HP BladeSystem エンクロージャー上の Onboard Administrator (OA) :	4.50 4.40
<ul style="list-style-type: none"> c3000 c3000 タワー型エンクロージャー 	

表 8 Insight Management に推奨されるファームウェア要件 (続き)

項目	推奨されるファームウェアバージョン
<ul style="list-style-type: none"> c7000 c7000 Platinum エンクロージャー 	
Virtual Connect for BladeSystem c-Class	4.45 4.41
HP iLO 2 for ProLiant BladeSystem	2.29
HP iLO 3 Advanced for ProLiant BladeSystem	1.87
HP iLO 4 Advanced for ProLiant BladeSystem ¹	2.40 2.30 2.20
Baseboard Management Controller (BMC) ファームウェア	5.38
HP Smart Update Manager (HP SUM)	7.5.1 ²

注記: Virtual Connect ファームウェアだけをダウンロードするには、次の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.hpe.com/info/vc-interconnects> (英語)

Virtual Connect Enterprise Manager と互換性のある Virtual Connect ファームウェアについては、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) から入手できる『HP Virtual Connect Enterprise Manager ユーザーガイド』を参照してください。

¹ HP Insight Control 電力管理を使用する iLO4 v2.20 では、パワーレギュレーターを低電力モードに設定することはサポートされていません。

² HP SIM 7.5 Update 1 は、HP SUM 7.5 Update 2 のみをサポートします。

Insight Control サーバードプロビジョニング

Insight Control サーバードプロビジョニングは、独立した VMware vSphere (ESXi) または Microsoft Hyper-V ホストで実行される VM アプライアンスです。これには 2 つの IP アドレスが必要です。1 つは、アプライアンスの Web インターフェイスおよび REST API への接続に使用する管理アドレス、もう 1 つは、ターゲットサーバーとの通信に使用する配備 IP です。アプライアンスはシングル NIC 構成またはデュアル NIC 構成で構成できます。シングル NIC 構成では 2 つの IP が同じ NIC を共有し、デュアル NIC 構成では各 IP が別々の NIC 上に構成されます。

シングル NIC 構成では、両方の IP アドレスが同じサブネット内に存在し、ターゲットサーバー、ターゲットサーバー iLO、およびメディアサーバーと接続する必要があります。デュアル NIC 構成では、NIC1 は管理 NIC とみなされ、アプライアンスとの接続に使用されます。NIC2 は配備 NIC とみなされ、各ターゲットサーバーおよびメディアサーバーの配備 NIC と接続する必要があります。ターゲットサーバーの iLO には、配備 NIC または管理 NIC を使用して接続できます。

HP Insight Control サーバードプロビジョニングには、OS ディストリビューション、イメージ展開の Windows のキャプチャイメージ、SPP のフルバージョン、および HP Intelligent Provisioning ファームウェアを保存するメディアサーバーが必要です。メディアサーバーは Insight Control サーバードプロビジョニングアプライアンスから独立したシステムであり、Windows ベースにすることも Linux ベースにすることも、仮想マシンにすることも物理サーバーにすることも可能ですが、Web サイト [Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual から入手できる Insight Control サーバードプロビジョニングのドキュメントで説明されているように構成する必要があります。Windows システムをメディアサーバーとして自動的に構成する特別なメディアサーバーセットアップユーティリティが用意されています。

注記: Insight Control サーバープロビジョニングと Insight Control サーバー配備は PXE を使用するため、これらと同じネットワーク上で同時にアクティブにすることはできません。これらは別々のネットワーク上で構成する必要があります。または、一度に1つずつブートするように構成することもできます。

表 9 (14 ページ) は、構成のサイズ (デモ、小規模、または大規模) に基づいて Insight Control サーバープロビジョニングのハードウェア要件を示しています。Insight Control サーバープロビジョニングアプライアンスは、最低限、4 基の CPU、16 GB のメモリ、および 200 GB のディスク容量を備える必要があります。

表 9 vSphere (ESXi) または Hyper-V での Insight Control サーバープロビジョニングの VM リソースの要件

ハードウェアコンポーネント	POC/デモ	小規模	大規模
サーバー	iLO プロセッサを搭載した ProLiant G6、G7、Gen8、または Gen9 サーバー		
プロセッサ	4	4	8
メモリ	16 GB	16 GB	30 GB
ブートディスク ¹	200 GB (シンプロビジョニングの場合)	200 GB (シックプロビジョニングの場合)	200 GB (シックプロビジョニングの場合)
データディスク	ブートディスクと同じ	ブートディスクと同じ	ブートディスクと同じ
ネットワークアダプター	新しいアプライアンスは2つのネットワークインターフェイスを備えるように構成されますが、1つまたは両方を使用するように構成できます。		

¹ **注意:** シック (VMware) または固定サイズ (Hyper-V) のディスクプロビジョニングを使用することを強くおすすめします。シンプロビジョニングを使用しており、VM ホストディスクの容量がなくなった場合、アプライアンスがクラッシュし、復旧しない場合があります。新しいアプライアンスを設置するか、バックアップから復旧する必要があります。

Insight Control サーバープロビジョニングソリューションの制限事項とスケーラビリティ

Insight Control サーバープロビジョニングの制限事項は次のとおりです。

- 管理下にあるサーバーの最大数は 5,000 台です。
- アクションを実行できる対象サーバーの最大数は 1,000 台です。
- 同時ユーザーの最大数は 5 人です。
- 実行中のすべてのビルドプランの内、同時にアクティブになるサーバーは一度に 50 台だけです。アクティブなサーバーで処理が完了すると、キュー内のほかのサーバーが起動しますが、アクティブなジョブの数は常に 50 を超えません。

Insight Control サーバープロビジョニングでサポートされるアップグレードパス

表 10 (14 ページ) に、Insight Control サーバープロビジョニングでサポートされるアップグレードパスを示します。

表 10 Insight Control サーバープロビジョニングのサポート済みアップグレードパス

	7.4.0a へ ¹	7.4.1 へ	7.5 へ	7.5.1 へ
7.4 から	可	可	可	可
7.4.0a から ¹	—	可	可	可
7.4.1 から	—	—	可	可
7.5 から	—	—	—	可

¹ これらのバージョンの IC サーバープロビジョニングは更新のみであり、新しいアプライアンスとしてのインストールには使用できません。最初に適切な古いバージョンをインストールしてから更新を適用する必要があります。

- ❶ **重要:** 7.4 より低いバージョンの IC サーバープロビジョニングがインストールされている場合は、まず 7.4.x または 7.5 にアップデートし、その後 7.5.1 にアップデートする必要があります。IC サーバープロビジョニングを 7.2.x または 7.3.x からバージョン 7.5.1 にアップデートする手順については、<http://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs> の『HPE Insight Control サーバープロビジョニングインストールガイド』を参照してください。

Matrix OE のバージョンごとに、特定の SPP のリリースがサポートされます。あるバージョンの IC サーバープロビジョニングを使用していて、そのバージョン番号が Matrix OE のバージョンと一致しないときには、ビルドプランを変更して、Matrix OE がサポートするバージョンに一致するドライバーパッケージと SPP メディアを使用する必要があります。表 11 (15 ページ) に、Matrix OE の各バージョンに適合する SPP バージョン、およびこれらでサポートされる IC サーバープロビジョニングのバージョンを示します。

表 11 サポートされているバージョンの Matrix OE および IC サーバープロビジョニング

Matrix OE のバージョン	サポートされている IC サーバープロビジョニングのバージョン ¹	注記
7.2	7.2	SPP バージョン 2013.02.0 を使用する必要があります。
7.2.1	7.2.1	SPP バージョン 2013.02.0 を使用する必要があります。
7.2.2	7.2.2	SPP バージョン 2013.09B.0 または 2013.09C.0 を使用する必要があります。
7.3	7.2.2	SPP バージョン 2013.09B.0 または 2013.09C.0 を使用する必要があります。
7.3.1	7.3.1、7.4.1、7.5	SPP バージョン 2014.02.0 または 2014.02b.0 を使用する必要があります。
7.3.2	7.3.1、7.3.2、7.4、7.4.1、7.5	SPP バージョン 2014.06.0 を使用する必要があります。
7.4	7.4、7.4.1、7.5	SPP バージョン 2014.09.0 を使用する必要があります。
7.4.1	7.4、7.4.1、7.5	SPP バージョン 2015.04.0 を使用する必要があります。
7.5	7.5、7.5.1	SPP バージョン 2015.06.0 または 2015.10.0 を使用する必要があります。
7.5.1	7.5.1	SPP バージョン 2016.04.0 を使用する必要があります。

¹ Matrix OE 7.3.x または 7.4.x が Insight Control サーバープロビジョニング 7.5 と正しく動作するには、2M-56C-SAP_7.3.x-7.4.x-HOTFIX56C-d という名前の CloudSystem Matrix バッチを CMS にインストールする必要があります。この必要なバッチのインストールについては、HP サポート担当者に問い合わせください。

ソフトウェア

CMS ソフトウェア

CMS のオペレーティングシステム

この項では、CMS でサポートされる Microsoft Windows オペレーティングシステムを示します。

HP SIM での HP Insight Remote Support の使用、システム要件、および製品サポートについては、Web サイト <http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs> で Insight Remote Support のドキュメントを参照してください。

注記: HP Insight Remote Support バージョン 5.x は、HP SIM 7.2.2 でのみサポートされません。より新しいバージョンの HP SIM を Insight Remote Support と統合するには、Insight Remote Support をバージョン 7.x にアップグレードする必要があります。

最新のサービスパックでは、表 12 (16 ページ) および表 13 (16 ページ) の Windows Server オペレーティングシステムの米国英語版のほか、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、および日本語版を CMS でサポートしています。また、Systems Insight Manager では、Windows Server 2008 オペレーティングシステムの簡体字中国語版をサポートしています。

注記: Insight Management は、8.3 形式のファイル名が有効にされたドライブにのみインストールできます。一般的に、c:\ドライブがデフォルト設定であり、8.3 形式のファイル名がデフォルトで有効にされます。Insight Management を Windows 2012 システムの c:/ドライブ以外にインストールする場合は、fsutil コマンドを使用し、8.3 形式のファイル名を確認して有効にします。次のコマンドを実行します。

```
fsutil 8dot3name set v:0
```

表 12 CMS での Microsoft Windows Server 2012 OS のサポート

オペレーティングシステムのバージョン	Insight Management				
	Insight Management インストーラー	Systems Insight Manager	Insight Control	Matrix OE	VCEM
Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	✓	✓	✓	✓	✓
Microsoft Windows Server 2012 R2 Data Center	✓	✓	✓	✓	✓
Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition	✓	✓	✓	✓	✓
Microsoft Windows Server 2012 Data Center Edition	✓	✓	✓	✓	✓

表 13 CMS での Microsoft Windows Server 2008 OS のサポート

オペレーティングシステムのバージョン	Insight Management				
	Insight Management インストーラー	Systems Insight Manager	Insight Control	Matrix OE	VCEM
Standard エディション					
Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition SP2, x64 ^{1,2}	✓	✓	✓ ³	✓	✓
Microsoft Windows Server 2008 R2, Standard Edition SP1 ⁴	✓	✓	✓	✓	✓
Enterprise エディション					
Microsoft Windows Server 2008 Enterprise Edition SP2, x64 ^{2,5}	✓	✓	✓ ³	✓	✓
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition SP1 ⁵	✓	✓	✓	✓	✓

表 13 CMS での Microsoft Windows Server 2008 OS のサポート (続き)

オペレーティングシステムのバージョン	Insight Management				
	Insight Management インストーラー	Systems Insight Manager	Insight Control	Matrix OE	VCEM
Small Business Server エディション					
Windows Small Business Server 2011 Standard Edition ⁶		✓			
Windows Small Business Server 2011 Essentials Edition ⁶		✓			

¹ Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition SP2 は、最大 32 GB のメモリをサポートします。

² Gen9 サーバーではサポートされません。

³ このオペレーティングシステムでは、『HP Insight Control サーバー移行ユーザーガイド』で説明されているように、WAIK 3.0 または ADK 8 をインストールして、DISM ツールをアクティブ化することによって、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、および Windows Server 2012 R2 の移行がサポートされます。

⁴ Windows Server 2008 R2 SP1 は、最大 32 GB のメモリと 4 個の CPU ソケットをサポートしています。

⁵ CMS のオペレーティングシステムとして、Enterprise Edition の使用をおすすめします。

⁶ Windows Small Business Server 2011 Standard および Essentials は、リモートデータベースでのみサポートされます。サポートされるデータベースについて詳しくは、表 17 (21 ページ) を参照してください。

HP Insight Management 製品の追加の言語サポート

Insight Management の製品スイートでは、英語以外の言語もサポートしています。表 14 (17 ページ) に、ユーザーインターフェイスが日本語と簡体字中国語のバージョンで利用可能な Insight Management スイート内のコンポーネントを示します。

表 14 他の言語サポート

Insight Management コンポーネント	日本語	簡体字中国語
HP System Management Homepage	✓	✓
HP バージョンコントロールエージェント	✓	✓
HP バージョンコントロールレポジトリマネージャー	✓	✓
HP Insight managed system setup wizard	✓	✓
HP Capacity Advisor	✓	✓
HP Insight Management インストーラー	✓	✓
HP Systems Insight Manager ¹	✓	✓
HP Insight Management Advisor	✓	
HP Insight Remote Support	✓	✓
HP Insight Control 電力管理	✓	✓
HP Insight Control パフォーマンス管理	✓	✓
HP Insight Control サーバー移行	✓	✓
HP Insight Control 仮想マシン管理	✓	✓
HP Insight Control サーバープロビジョニング	✓	✓
HP Virtual Connect Enterprise Manager	✓	
HP Storage Provisioning Manager	✓	✓

表 14 他の言語サポート (続き)

Insight Management コンポーネント	日本語	簡体字中国語
HP Insight mxsync ユーティリティ	✓	
HP Matrix Operating Environment インフラストラクチャオーケストレーション ²	✓	✓
HP Matrix Operating Environment リカバリ管理	✓	✓
HP Insight Control ライセンスおよびレポート	✓	
EMC Symmetrix VMAX 用 SPM アダプター	✓	
HP Matrix Operating Environment キャパシティプランニング機能、設定およびワークロード管理機能、および HP Insight Capacity Advisor Consolidation ソフトウェア	✓	✓

¹ HP Systems Insight Manager は、繁体中国語と韓国語もサポートしています。

² Matrix インフラストラクチャオーケストレーションデザイナーは、デンマーク語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、簡体字中国語、イタリア語、および韓国語をサポートしています。

CMS でサポートされるハイパーバイザー

表 15 (18 ページ) に、VM ゲストでの CMS の実行をサポートされているハイパーバイザーを示します。CMS は、「[CMS のオペレーティングシステム](#)」(15 ページ) に示されているサポートされる Microsoft Windows オペレーティングシステムのいずれかを実行する必要があります。

ハイパーバイザーの一覧、および HP SIM での HP Insight Remote Support の利用方法、システム要件、および製品サポートについては、<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs> にある HP Insight Remote Support のドキュメントを参照してください。

表 15 VM ゲストで CMS の実行がサポートされているハイパーバイザー

ハイパーバイザーのバージョン	Insight Management				
	Insight Management インストーラー	Systems Insight Manager	Insight Control	Matrix OE	VCEM ¹
Microsoft					
Microsoft Windows Server 2012	✓	✓	✓	✓	✓
Microsoft Hyper-V Server 2012	✓	✓	✓	✓ ²	✓
Microsoft Hyper-V Server 2012 R2	✓	✓	✓	✓	✓
Microsoft Windows Server 2012 R2 Hyper-V	✓	✓	✓	✓ ²	✓
Microsoft Windows Server 2008 SP2 Hyper-V	✓	✓	✓	✓	✓
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Hyper-V	✓	✓	✓	✓	✓
Microsoft Hyper-V Server 2008 SP2	✓	✓	✓	✓	✓
Microsoft Hyper-V Server 2008 R2 SP1	✓	✓	✓	✓	✓
VMware					
VMware ESX 4.1 Update 3	✓	✓	✓	✓	✓
VMware ESXi 4.0 Update 4	✓	✓	✓ ³	✓	✓

表 15 VM ゲストで CMS の実行がサポートされているハイパーバイザー (続き)

ハイパーバイザーのバージョン	Insight Management				
	Insight Management インストーラー	Systems Insight Manager	Insight Control	Matrix OE	VCEM ¹
VMware ESXi 4.1 Update 3	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓
VMware ESXi 5.0 Update 2	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓
VMware ESXi 5.0 Update 3	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓
VMware vSphere (ESXi) 5.1 Update 1	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓
VMware vSphere (ESXi) 5.1 Update 2	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓
VMware vSphere (ESXi) 5.1 Update 3	✓	✓	✓	✓	
VMware vSphere (ESXi) 5.5	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 1	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 2	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 3a	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 3b	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓
VMware vSphere (ESXi) 6.0	✓	✓	✓	✓	✓
VMware vSphere (ESXi) 6.0 Update 1a	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓
VMware vSphere (ESXi) 6.0 Update 1b	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓

¹ Virtual Connect Enterprise Manager は、このハイパーバイザーが Microsoft Windows 2008 または Windows 2012 64 ビット VM をホストする場合にこのハイパーバイザーをサポートします。

² Hyper-V 2012 と Hyper-V 2012 R2 のみでサポートされる動的メモリ。仮想サーバーの編集について詳しくは、『HP Matrix Operating Environment インフラストラクチャオーケストレーションユーザーガイド』を参照してください。

³ Insight Control 電力管理は、このハイパーバイザーをサポートしていません。

⁴ このハイパーバイザーでは、データセンター電力制御 (DCPC) OS のシャットダウン機能はサポートされていません。

必要なその他のソフトウェア

表 16 (19 ページ) に、CMS にインストールされる OS 以外のソフトウェアの最小要件を示します。

表 16 必要なその他のソフトウェア

ソフトウェア製品	バージョン	注記
Microsoft .NET Framework ^{1, 2}	2.0 SP1	.NET 2.0 SP1 がインストールされていない場合は、HP Insight Management インストーラーがインストールします。 これは、HP Insight Management インストーラーおよび Matrix インフラストラクチャオーケストレーションの要件です。
	3.5 SP1	インストール DVD に収録されている Microsoft SQL Server 2014 Express データベースサーバーを使用する場合、これは必須です。 これは、Matrix インフラストラクチャオーケストレーションおよび HP Matrix Operating Environment の要件でもあります。
	4.0	インストール DVD に収録されている Microsoft SQL Server 2014 Express データベースサーバーを使用する場合、これは必須です。
	4.5.2	HP Storage Provisioning Manager の要件です。

表 16 必要なその他のソフトウェア (続き)

ソフトウェア製品	バージョン	注記
Adobe Flash Player	18	Insight Management では、Adobe Flash Player が必要です。Adobe Flash Player は、Insight Management 7.5 DVD に収録されている Systems Insight Manager に付属しています。 Flash Player は、すべて x86 ブラウザーのみを対象にしています。x86 ブラウザーは、x64 OS 上でも実行できます。
Microsoft Silverlight ³	5.0.61118.0	HP Storage Provisioning Manager を使用するには、Silverlight アプリケーションフレームワークが必要です。
Microsoft iSCSI Software Initiator		Insight Control サーバーを移行するには、SCSI Software Initiator が必要です。
TCP/IP とインストール済み DNS		インストール済みシステム名は IP アドレスに解決される必要があり、IP アドレスはシステム名に解決される必要があります。
Windows インストーラー	4.5 以上	DVD にパッケージとして収納されているデータベースのインストールまたはアップグレードが必要です。 Microsoft SQL Server 2014 を使用するために必要です。

¹ Microsoft .NET Framework 4.5.2 は CMS にインストールすることはできますが、デフォルトに設定できません。

² Insight Management DVD に含まれる Microsoft .NET Framework のバージョンは 2.0 SP1 だけです。その他のバージョンは、すべて個別にインストールする必要があります。

³ Microsoft Silverlight は、Windows Server 2008 R2 オペレーティングシステムで Firefox ブラウザーをサポートしていません。

CMS でサポートされるデータベース

Insight Management では、CMS 用にサポートされるデータベースが必要です。CMS に現在サポートされるデータベースがインストールされていない場合、またはリモートデータベースにアクセスしていない場合は、Insight Management をインストールする前にデータベースをインストールしてください。

- ① **重要:** Insight Management では、Microsoft SQL Server データベースが非バイナリ照合モードに構成されている必要があります。バイナリ照合モードはサポートされていません。

バイナリモードに設定されている場合に照合モードを変更する方法については、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できる『HP Insight Management インストール/コンフィギュレーションガイド』を参照してください。

重要: Insight Management は、クラスター化された CMS 構成での SQL Server 2012 AlwaysOn 可用性グループの使用をサポートしています。Insight Management ソフトウェアのアップデートまたはアップグレードを正常に行うためには、セカンダリレプリカへのデータの同期を無効にする必要があります。

クラスター化された CMS 構成について詳しくは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** にあるホワイトペーパー『Installing and upgrading HP Insight Management 7.5 on Windows Server 2012 Failover Clusters』（英語）を参照してください。

SQL AlwaysOn 可用性グループ内のデータの同期を無効にする方法については、Microsoft のドキュメント **Disable AlwaysOn Availability Groups**（英語）を参照してください。

データベースのインストールが必要な場合に備えて、HP Insight Management 7.5 DVD # 1 に Microsoft SQL Server 2014 Express (32 ビット) が収録されています。

既存の Microsoft SQL Server 2008 R2 Express インストールをアップグレードしたい場合は、<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30437> にある SP2 パッチをダウンロードしてインストールすることができます。

注記: Microsoft SQL Server には 32 ビット版と 64 ビット版があります。Insight Management は、32 ビット版の SQL 2014 Express のみを保持します。このため、SQL Server Express の 32 ビット版だけが新規インストールとしてインストールされます。64 ビット版を含む、インストール済みのすべての SQL Server エディションやバージョンは、[表 17 \(21 ページ\)](#)に示されているエディションおよびバージョンに手動でアップグレードする必要があります。

表 17 サポートされるデータベース

データベースの名前とバージョン ¹	ローカルデータベースとしてサポート	リモートデータベースとしてサポート
Microsoft SQL Server (別に指定がなければ、32 ビット版と 64 ビット版がサポートされます)		
Microsoft SQL Server 2008 SP4 ^{2,3}	✓	✓
Microsoft SQL Server 2012 SP2 Business Intelligence ³	✓	✓
Microsoft SQL Server 2012 SP2 Enterprise ³	✓	✓
Microsoft SQL Server 2012 SP2 Express ⁴	✓	
Microsoft SQL Server 2012 SP2 Standard ³	✓	✓
Microsoft SQL Server 2012 SP2 Web ³	✓ ⁵	✓ ⁵
Microsoft SQL Server 2014 Business Intelligence ³	✓	✓
Microsoft SQL Server 2014 Enterprise ³	✓	✓
Microsoft SQL Server 2014 Express ⁴	✓	
Microsoft SQL Server 2014 Standard ³	✓	✓
Microsoft SQL Server 2014 Web ³	✓ ⁵	✓ ⁵
Microsoft SQL Server 2014 SP1 Standard ³	✓	✓
Microsoft SQL Server 2014 SP1 Enterprise ³	✓	✓
Microsoft SQL Server 2014 SP1 Business Intelligence ³	✓	✓
Microsoft SQL Server 2014 SP1 Express ⁴	✓	
Microsoft SQL Server 2014 SP1 Web ³	✓ ⁵	✓ ⁵
Oracle		
Oracle 11g Enterprise Edition リリース 2	✓ ⁵	✓ ⁵

¹ クラスター化された CMS では、SQL Server 2014 Enterprise または Standard Edition、もしくは SQL Server 2012 Enterprise SP2 または Standard SP2 Edition のクラスター化されたインスタンスが必要です。インスタンスは、CMS クラスター内部または CMS クラスターと同じドメインを構成する別のクラスターで実行できます。

² Microsoft SQL 2008 SP4 を使用したインストールでは、データベースがサポートされていないという警告が返されますが、これは無視してください。インストールは正常に完了します。

³ 最大 7,000 台のシステムと 50,000 件のイベントをサポートします。

⁴ 最大 500 台のシステムと 5,000 件のイベントをサポートします。

⁵ Systems Insight Manager のみがこのデータベースをサポートします。

Microsoft Windows ドメインでサポートされる CMS 構成

1 台のサーバーの CMS の構成では、次のガイドラインに従うことをおすすめします。

- Insight Management をドメインコントローラーにインストールしないでください。

- あるサーバーがワークグループに参加している場合は、それぞれのサーバーが同じ名前と同じパスワードを持ったローカルアカウントを備えていることを確認してください（サービスおよびデータベースの認証に使用します）。
- Insight Control サーバードプロビジョニングと HP ProLiant Server OS Deployment Toolkit for Microsoft System Center Configuration Manager（HP OneView for Microsoft System Center（以前は HP Insight Control for Microsoft System Center））は、同じサブネットにインストールしないでください。この2つのソフトウェアは、それぞれ独自の PXE ブートサービスを提供するため、両方のソフトウェアを同じサブネットに同時にインストールしているとネットワークの問題が発生する可能性があります。
- Insight Control サーバードプロビジョニングと HP Ignite-UX サーバーは同じサブネット上にインストールしないでください。
- Insight Control サーバー配備と Insight Control サーバードプロビジョニングは同じサブネット上にインストールしないでください。この2つのソフトウェアは、それぞれ独自の PXE ブートサービスを提供するため、両方のソフトウェアを同じサブネットに同時にインストールしているとネットワークの問題が発生する可能性があります。
- Matrix OE は、Microsoft Windows のシングルサインオン（SSO）認証を使用して、Matrix OE サービス/プロセスデータベースに接続します。System Insight Manager インストール、Matrix OE インストール、およびデータベースへのアクセスで同じ Microsoft Windows ドメインアカウント認証情報を使用することをおすすめします。

CMS 構成ではリモートデータベースまたはローカルデータベースを持つことができます。

- CMS がすべての管理対象デバイスの情報を保存する **CMS データベース**
データベースは、CMS と同じサーバー上で構成することも、リモートシステムに配置することもできます。CMS と SQL Server データベースサーバーは、同じドメイン内または信頼済みドメイン内に存在できます。

注記: Insight Management のこのリリースは、2 ノードのフェイルオーバークラスターとしての CMS の構成もサポートしています。高可用性環境での CMS の構成について詳しくは、「[高可用性環境における管理サーバー](#)」(25 ページ) を参照してください。

KVM 仮想マシンのプロビジョニング

ProLiant ユーザーが KVM クラウドを管理する必要がある場合、Matrix 7.5 Update 1 は、他の外部クラウドプロバイダーと同じように CloudSystem 8.0、8.1、8.1.2 のリソースプールから KVM 仮想マシンを作成して管理することができます。HP CloudSystem 8 について詳しくは、Web サイト <http://www.hpe.com/info/CloudSystem/docs> または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual にあるドキュメントを参照してください。

Insight Control サーバードプロビジョニングソフトウェア

Insight Control サーバードプロビジョニングは、以下のハイパーバイザーで動作します。

- VMware ESXi バージョン 5.0、5.0 Update 1、5.0 Update 2、および 5.0 Update 3
- VMware vSphere（ESXi）バージョン 5.1、5.1 Update 1、5.1 Update 2、5.1 Update 3、5.5、5.5 Update 1、5.5 Update 2、5.5 Update 3a、および 5.5 Update 3b
- VMware vSphere（ESXi）バージョン 6.0、6.0 Update 1a、6.0 Update 1b、および 6.0 Update 2
- Microsoft Windows Server 2012 Hyper-V
- Microsoft Windows Server 2012 R2 Hyper-V

注記: Insight Control サーバー配備を使用していた Matrix Operating Environment で Insight Control サーバードプロビジョニングを使用する場合は、特に注意する点があります。**Hewlett Packard Enterprise Information Library**にあるホワイトペーパー『Data Migration from Insight Control server deployment to Insight Control server provisioning』を参照してください。

注記: Insight Control サーバードプロビジョニングまたは Server Automation 配備を使用して、Matrix 環境のある Active Directory ドメインにサーバーを接続するには、デフォルトのインストール後のカスタマイズではなく、拡張サーバーカスタマイズ機能を使用する必要があります。展開時にドメインに接続すると、Matrix OE のインストール後のカスタマイズステップが、次のエラーが表示されて失敗します。

< ターゲット UUID > により実現した論理サーバー < 論理サーバー名 > をカスタマイズ中にエラーです

管理サーバーの追加要件

この項では、すべての管理サーバー（CMS、および Insight Control サーバードプロビジョニング）に対するその他の管理サーバー要件を定義します。

サポートされるブラウザ

表 18 サポートされるブラウザ (23 ページ) に、任意の管理サーバー上で Insight Management にアクセスするために必要なブラウザバージョンを示します。

表 18 サポートされるブラウザ

ブラウザ	Insight Management				Insight Remote Support	Adobe Flash Player
	Systems Insight Manager	Insight Control	Matrix OE ¹	VCEM ²		
Microsoft						
Microsoft Internet Explorer 9.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ³
Microsoft Internet Explorer 10.0	✓	✓	✓ ⁴	✓	✓	✓
Microsoft Internet Explorer 11.0	✓	✓	✓	✓		✓
Mozilla						
Mozilla Firefox 38 ESR	✓	✓	✓	✓		
Google Chrome						
Google Chrome 40.0				✓		
IE タブ拡張付き Google Chrome 40.0	✓	✓	✓			
Google Chrome 43				✓		
IE タブ拡張付き Google Chrome 43	✓	✓	✓ ⁵			
Google Chrome 47				✓		
IE タブ拡張付き Google Chrome 47	✓	✓	✓ ⁶			

¹ HP Storage Provisioning Manager を使用するには、ブラウザが Windows プラットフォーム上で稼動する必要があります。Chrome の最新バージョンでは、Microsoft Silverlight は機能しないことがあります。詳しくは、脚注 8 または **Microsoft サポート** を参照してください。

² Virtual Connect ファームウェアのブラウザのサポートについては、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual にある『HP Virtual Connect Enterprise Manager ユーザーガイド』を参照してください。

³ Flash は、32 ビットモードでのみサポートされます。

- ⁴ Windows Server 2012 を使用する Matrix Operating Environment にアクセスするには、Windows の [プログラムと機能] で、デスクトップエクスペリエンス機能をオンにします。
- ⁵ Chrome v42 以降で SPM を起動する場合は、Silverlight をインストールし、NPAPI プラグインを有効にする必要があります。Google では、NPAPI のサポートが終了しました。ただし、NPAPI プラグインを一時的に有効にするには、以下の手順を実行します。
1. Chrome を起動します。
 2. 画面の最上部のアドレスバーに `chrome://flags/#enable-npapi` と入力します。
 3. 開いたウィンドウで、**[NPAPI を有効にする]** フラグの下にある **[有効にする]** リンクをクリックします。
 4. ページの左下隅にある **[今すぐ再起動]** ボタンをクリックします。
- Chrome バージョン 45 以降では、NPAPI プラグインの一時的な有効化はサポートされません。
- ⁶ Silverlight が Chrome バージョン 45 以降でサポートされないため、SPM は Chrome バージョン 45 以降をサポートしません。

推奨される画面解像度

すべての管理サーバーでサポートされる最小解像度は、800 x 600 ピクセルです。Insight Control サーバードプロビジョニングアプライアンスでサポートされる最小画面解像度は、1024 x 768 です。最適なパフォーマンスを得るには、デスクトップモニターの場合で 1280 x 1024 ピクセル、ラップトップディスプレイの場合で 1280 x 800 ピクセルの画面サイズが最低限必要です。

3 高可用性環境における管理サーバー

この章では、高可用性環境における CMS の要件を定義します。

HA 環境での CMS

Insight Management でフェイルオーバークラスタリングを使用すると、冗長性、可用性、負荷分散、およびフェイルオーバー機能を簡単に実現できます。

CMS は、高可用性環境を作成するために、1 サイト、2 ノードの物理サーバーの Microsoft Windows Server 2012 フェイルオーバークラスタとして構成することができます。

CMS クラスタリングは Microsoft Windows Server 2012 または 2012 R2 Standard オペレーティングシステムに内蔵されている機能であり、クラスタサポートは Microsoft SQL Server 2014 Enterprise または Standard Edition、Microsoft SQL Server 2012 Enterprise SP2 および Standard SP2 Edition に内蔵されている機能です。詳しくは、[Features Supported by the Editions of SQL Server 2014](#) および [SQL Server 2012 の各エディションがサポートする機能](#) を参照してください。

CMS クラスタのインストールとアップグレード手順は、1 台のサーバー構成の CMS のインストールとアップグレード手順と異なります。詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) にあるホワイトペーパー『Installing and upgrading HP Insight Management 7.5 on Windows Server 2012 Failover Clusters』（英語）を参照してください。

CMS でサポートされるクラスタ環境

Insight Management は、CMS 高可用性を実現するために以下の Microsoft Windows Server プラットフォームをサポートしています。

- **オペレーティングシステム**
 - Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition SP1
 - Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition
 - Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard Edition
- **データベース**
 - Microsoft SQL Server 2012 SP2 Standard
 - Microsoft SQL Server 2012 SP2 Enterprise
 - Microsoft SQL Server 2014 Standard
 - Microsoft SQL Server 2014 Enterprise
 - Microsoft SQL Server 2014 SP1 Enterprise

CMS 高可用性環境でサポートされる Insight Management コンポーネント

表 19 クラスタプラットフォームでサポートされる Insight Management コンポーネント

Insight Management コンポーネント	サポートの有無
HP Systems Insight Manager	✓
HP バージョンコントロールレポジトリマネージャー	✓
HP System Management Homepage	✓
HP Insight Management Advisor	✓

表 19 クラスタプラットフォームでサポートされる Insight Management コンポーネント (続き)

Insight Management コンポーネント	サポートの有無
Windows Management Instrumentation (WMI) Mapper	✓
HP Insight Control ライセンスおよびレポート	✓
HP Insight Control パフォーマンス管理	✓
HP Insight Control 電力管理	✓
HP Insight Control サーバー移行	✓
HP Insight Control 仮想マシン管理	✓
HP Insight managed system setup wizard	✓
HP Insight <code>mxsync</code> ユーティリティ	✓
HP Matrix Operating Environment キャパシティプランニング機能、構成およびワークロード管理機能、および HP Capacity Advisor Consolidation ソフトウェア	✓
HP Matrix インフラストラクチャオーケストレーション	✓
HP Matrix リカバリ管理	✓
HP Storage Provisioning Manager	✓
HP SPM Adapter for EMC Symmetrix VMAX	✓
HP Virtual Connect Enterprise Manager	✓

CMS クラスタ構成

- 2 台の HP ProLiant サーバー（仮想マシンでなく物理サーバー）と、接続されている共有ストレージで構成される 2 ノードクラスタがサポートされています。各サーバーは、プロセッサ、メモリ、ネットワーキング、ディスク容量など、Insight Management と Microsoft Windows Server 2012 Standard、2012 R2 Standard、または 2008 R2 Enterprise OS のハードウェア要件と推奨要件を満たす必要があります。

Microsoft Windows Server 用に認定されているサーバーとストレージを確認するには、「[管理サーバー](#)」(8 ページ)および Microsoft 社の Web サイト <http://www.windowsservercatalog.com/> を参照してください。

- Microsoft クラスタリングでサポートされているすべての共有ストレージを使用できますが、SAN 共有ストレージをおすすめします。
- 2 クラスタノードの場合には、SAN ブートをおすすめします。
- 各サーバーには、（クライアントと接続する）パブリックネットワーク用に 1 個、クラスタのプライベートネットワーク用に 1 個の 2 個以上の専用ネットワークアダプターが必要です。iSCSI SAN を使用する場合、各サーバーで 3 番目の専用アダプターが必要になります。
- SQL サーバーが Insight Management と同じクラスタ内、または Insight Management クラスタと同じ Windows ドメインのメンバーであるリモートの Windows クラスタで実行されていなければなりません。
- Active Directory ドメインインフラストラクチャとクラスタのホスティングに適した DNS サービスが必要ですが、2 クラスタノードのいずれにおいても実行できません。
- 完全構成のクラスタは、Windows のフェイルオーバークラスタマネージャーで有効性確認のテストに合格する必要があります。

CMS クラスター構成でサポートされない項目

- Brocade Network Advisor、HP P6000 Command View ソフトウェア、HP Operations Orchestration、VMware vCenter Server モジュール、および同様のアプリケーションは、CMS クラスターでは許可されません。
- マルチサイトの Windows クラスター：CMS クラスターは1つのサイトクラスターです。

4 管理対象システムのハードウェア

この章では、Insight Managementによるライセンスの付与および管理が可能なサーバーのハードウェア、ファームウェア、およびソフトウェアの要件について説明します。パブリッククラウドプロバイダーについても説明します。

パブリッククラウドプロバイダー

パブリッククラウドプロバイダーは、オンプレミスリソースによるプロビジョニングをサポートし、HP Matrix インフラストラクチャオーケストレーションは、次のパブリッククラウドプロバイダーに対する仮想サーバーのプロビジョニングをサポートします。

- Amazon Web サービス

サポートされる HP BladeSystem エンクロージャー

表 20 サポートされる HP BladeSystem エンクロージャー

エンクロージャーのモデル	Systems Insight Manager	Insight Control	Matrix OE	VCEM
HP BladeSystem c3000 エンクロージャー	✓	✓	✓	✓
HP BladeSystem c3000 タワーエンクロージャー	✓	✓	✓	✓
HP BladeSystem c7000 エンクロージャー	✓	✓	✓	✓
HP BladeSystem c7000 Platinum エンクロージャー	✓	✓ ¹	✓	✓

¹ このエンクロージャーは、Insight Control 電力管理および Insight Control サーバー移行のみでサポートされます。

HP D2220sb ストレージブレードはディスクエンクロージャーで、単一のブレードサーバーにハードディスクドライブをローカルドライブとして追加します。

サポートされるサーバー

この項では、Insight Managementが管理できるHPおよび他社製サーバーを示します。Insight Control サーバープロビジョニングでサポートされるサーバーを以下に示します。

このサポートマトリックスに記載されていない古いサーバーが、Insight Managementで動作する場合があります。ただし、古いサーバーでのInsight Managementのテストは行っていないため、公式にはサポートされていません。

HP ProLiant サーバー

Insight Control サーバープロビジョニングでサポートされるサーバー

Insight Control サーバープロビジョニング (IC srvr prov) は、次の表に示す、iLO プロセッサーを搭載するProLiant G6、G7、Gen8、およびGen9サーバーをサポートします。任意のターゲットサーバーの最小メモリ要件は2GBです。

注記:

- 最新の HP ProLiant サーバー Windows Hyper-V サポートマトリックスについては、次の Web サイトを参照してください。
<http://www.hpe.com/info/server-supportmatrix>（英語）
 - 最新の HP ProLiant サーバーの VMware サポートマトリックスについては、次の Web サイトを参照してください：<http://www.hpe.com/support/VMware-SupportMatrix>（英語）
 - ProLiant ユーザーが KVM クラウドを管理する必要がある場合、Matrix 7.5 Update 1 は、他の外部クラウドプロバイダーと同じように CloudSystem 8.0、8.1、8.1.2 のリソースプールから KVM 仮想マシンを作成して管理することができます。HP CloudSystem 8 について詳しくは、Web サイト <http://www.hpe.com/info/CloudSystem/docs> または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual にあるドキュメントを参照してください。
- ① **重要:** すべての ProLiant サーバーで、すべてのオペレーティングシステムがサポートされるわけではありません。HP ProLiant サーバーによってサポートされるオペレーティングシステムのリストについては、認定およびサポート Web サイト <http://www.hpe.com/info/server-supportmatrix>（英語）を参照してください。

表 21 HP ProLiant BL BladeSystem サーバー

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE	VCEM
		migr	perf ¹	pwr ^{2,3}	svr prov	virt		
ProLiant BL2x220c G7 ⁴	✓	✓	✓	✓	✓ ⁵	✓	✓	✓
ProLiant BL280c G6	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL420c Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL460c G7	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL460c Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL460c Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁶
ProLiant BL465c G7 (AMD Opteron 6100)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL465c G7 (AMD Opteron 6200)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL465c Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL465c Gen8 (AMD Opteron 6300)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL490c G7	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL620c G7	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL660c Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL660c Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁶
ProLiant BL680c G7	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL685c G7 (AMD Opteron 6100)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

表 21 HP ProLiant BL BladeSystem サーバー (続き)

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE	VCEM
		migr	perf ¹	pwr ^{2,3}	svr prov	virt		
ProLiant BL685c G7 (AMD Opteron 6200)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL685c G7 (AMD Opteron 6300)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

¹ Insight Control パフォーマンス管理 (IC perf) は、ここで示すどのサーバーでも、IDE および SAS HBA ストレージコントローラーはサポートしません。

² サポートされる電力機能については、表 55 (77 ページ) を参照してください。

³ Insight Control 電力管理を使用するには、サーバーに iLO のライセンスを適用する必要があります。

⁴ このワークステーションブレードは、完全な物理サーバーを 2 台内蔵するため、ブレードごとにソフトウェアライセンスが 2 つ必要です。

⁵ サーバーで iLO 3 バージョン 1.61 以降が実行されていない限り、PXE を使用して BL2x220c G7 サーバーを Insight Control サーバープロビジョニングアプライアンスに追加することはできません。

⁶ Broadwell プロセッサではサポートされません。

表 22 HP ProLiant ワークステーションブレード

ワークステーションモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr ^{1,2}	svr prov	virt	
ProLiant WS460c G6	✓		✓	✓		✓	
ProLiant WS460c Gen8	✓		✓	✓	✓ ³	✓	✓ ⁴
ProLiant WS460c Gen9	✓	✓	✓	✓	✓ ⁵	✓	✓ ⁴
ProLiant WS460c Gen9 Graphics Expansion Blade	✓	✓	✓	✓	✓ ⁵	✓	✓ ⁴

¹ サポートされる電力機能については、表 57 (79 ページ) を参照してください。

² Insight Control 電力管理を使用するには、サーバーに iLO のライセンスを適用する必要があります。

³ Windows 7 SP1 64 ビットはレガシモードのみでサポートされます。Windows 8.1 64 ビットはサポートされていません。

⁴ Matrix インフラストラクチャオーケストレーション、Matrix OE 論理サーバー管理、および Capacity Advisor によって制限付きでサポートされます。詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) で入手できるホワイトペーパー『How to license HP ProLiant WS460c for Capacity Advisor』を参照してください。

⁵ UEFI ブートモードの Windows 7 SP1 64 ビットおよび Windows Server 2008 R2 はサポートされていません。

表 23 HP ProLiant DL ラックマウント型サーバー

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE	VCEM ³
		migr	perf	pwr ^{1,2}	svr prov	virt		
ProLiant DL20 Gen9	✓	✓	✓	✓ ⁴	✓ ⁵	✓	✓	
ProLiant DL60 Gen9	✓	✓	✓	✓ ⁶	✓ ⁵	✓	✓	
ProLiant DL80 Gen9	✓	✓	✓	✓ ⁶	✓ ⁵	✓	✓	
ProLiant DL120 G6	✓					✓		
ProLiant DL120 G7	✓	✓	✓			✓		
ProLiant DL120 Gen9	✓	✓	✓	✓ ⁶	✓ ⁵	✓	✓	
ProLiant DL160 G6	✓					✓		
ProLiant DL160 Gen8	✓	✓	✓ ⁷		✓	✓		

表 23 HP ProLiant DL ラックマウント型サーバー (続き)

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE	VCEM ³
		migr	perf	pwr ^{1,2}	svr prov	virt		
ProLiant DL160 Gen9	✓	✓	✓	✓ ⁶	✓	✓	✓	
ProLiant DL165 G7 (AMD Opteron 6100)	✓					✓		
ProLiant DL165 G7 (AMD Opteron 6200)	✓					✓		
ProLiant DL170e G6	✓					✓		
ProLiant DL180 G6	✓					✓		
ProLiant DL180 Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL320 G6	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL320e Gen8	✓	✓	✓		✓	✓	✓	
ProLiant DL320e Gen8 v2	✓	✓	✓		✓	✓	✓ ⁸	
ProLiant DL360 G7	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL360e Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁸	
ProLiant DL360p Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL360p Gen8 SE	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁸	
ProLiant DL360 Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL370 G6	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL380 G4	✓		✓			✓	✓	
ProLiant DL380 G7	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL380e Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁸	
ProLiant DL380p Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL380 Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL380z	✓		✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL385 G7 (AMD Opteron 6100)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL385 G7 (AMD Opteron 6200)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL385p Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL385p Gen8 (AMD Opteron 6300)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL560 Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL560 Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL580 G7	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL580 Gen8	✓	✓	✓	✓	✓ ⁹	✓	✓	
ProLiant DL580 Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

表 23 HP ProLiant DL ラックマウント型サーバー (続き)

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE	VCEM ³
		migr	perf	pwr ^{1,2}	svr prov	virt		
ProLiant DL585 G7 (AMD Opteron 6100)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL585 G7 (AMD Opteron 6200)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL585 G7 (AMD Opteron 6300)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL785 G6	✓	✓			✓	✓	✓	
ProLiant DL980 G7	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

¹ サポートされる電力機能については、表 57 (79 ページ)を参照してください。

² Insight Control 電力管理を使用するには、サーバーに iLO のライセンスを適用する必要があります。

³ VCEM サポートは、これらのサーバーには適用されません。

⁴ サーバーは HPE 900W AC 240VDC 冗長電源装置キットを持つ Insight Control 電力管理でのみサポートされます。

⁵ Insight Control サーバープロビジョニングを通じた展開は、PXE モードでのみサポートされます。

⁶ Broadwell プロセッサでのみサポートされます。

⁷ Insight Control パフォーマンス管理は、このサーバー上で IDE コントローラーをサポートしません。

⁸ Matrix インフラストラクチャオーケストレーション、Matrix OE 論理サーバー管理、および Capacity Advisor のみによってサポートされます。

⁹ Intelligent Provisioning v1.61 を使用した Windows の展開はサポートされません。

表 24 HP ProLiant ML タワー型サーバー

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE	VCEM ³
		migr	perf	pwr ^{1,2}	svr prov	virt		
ProLiant ML10 ^{4,5}	✓	✓	✓		✓		✓ ⁶	
ProLiant ML10 v2	✓					✓		
ProLiant ML30 Gen9	✓	✓	✓		✓ ⁷	✓	✓	
ProLiant ML110 G7	✓	✓	✓	✓		✓	✓	
ProLiant ML110 Gen9	✓	✓	✓		✓	✓	✓	
ProLiant ML150 Gen9	✓	✓	✓	✓ ⁸	✓	✓	✓	
ProLiant ML310 G5p	✓	✓				✓	✓	
ProLiant ML310e Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant ML310e Gen8 v2	✓	✓	✓		✓	✓	✓ ⁶	
ProLiant ML330 G6	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant ML350 G4p	✓		✓			✓	✓	
ProLiant ML350 G6	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant ML350e Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant ML350e Gen8 v2	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁶	
ProLiant ML350p Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant ML350 Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

表 24 HP ProLiant ML タワー型サーバー (続き)

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE	VCEM ³
		migr	perf	pwr ^{1,2}	svr prov	virt		
ProLiant ML370 G6	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant MicroServer Gen8 (管理対象ノードのみ)	✓	✓	✓		✓	✓	✓ ⁹	

¹ サポートされる電力機能については、表 58 (82 ページ)を参照してください。

² Insight Control 電力管理を使用するには、サーバーに iLO のライセンスを適用する必要があります。

³ VCEM サポートは、これらのサーバーには適用されません。

⁴ 管理対象ノードでのみサポートされます。

⁵ 内蔵コントローラーが SATA AHCI モードに設定されている Windows 2008 R2 SP1 または Windows 2012 ではサポートされません。

⁶ Matrix インフラストラクチャオーケストレーション、Matrix OE 論理サーバー管理、および Capacity Advisor のみによってサポートされます。

⁷ Insight Control サーバードプロビジョニングを通じた展開は、PXE モードでのみサポートされます。

⁸ Broadwell プロセッサでのみサポートされます。

⁹ Matrix インフラストラクチャオーケストレーションおよび Matrix OE 論理サーバー管理のみによってサポートされます。

表 25 HP ProLiant SL/XL スケーラブルシステムサーバー

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE	VCEM ⁴
		migr	perf	pwr ^{1,2,3}	svr prov	virt		
ProLiant SL160s G6	✓					✓		
ProLiant SL160z G6	✓					✓		
ProLiant SL165s G7	✓					✓		
ProLiant SL165z G7	✓					✓		
ProLiant SL170s G6	✓					✓		
ProLiant SL230s Gen8	✓	✓	✓ ⁵	✓	✓	✓	✓	
ProLiant SL250s Gen8	✓	✓	✓ ⁵	✓	✓	✓	✓	
ProLiant SL270s Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant SL335s G7	✓	✓	✓		✓	✓		
ProLiant SL390s G7	✓	✓	✓		✓	✓	✓	
ProLiant SL2500 Gen8	✓	✓	✓	✓ ⁶	✓	✓	✓	
ProLiant XL170r Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant XL190r Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant SL4540 Gen8 HyperStorage System	✓	✓	✓	✓ ⁶	✓	✓	✓ ⁷	
ProLiant SL4540 Gen8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant SL4545 G7 HyperStorage System	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant XL220a Gen8 v2	✓		✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant XL230a Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant XL250a Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

表 25 HP ProLiant SL/XL スケーラブルシステムサーバー (続き)

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE	VCEM ⁴
		migr	perf	pwr ^{1,2,3}	svr prov	virt		
ProLiant XL420 Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁸	
ProLiant XL450 Gen9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁸	

¹ サポートされる電力機能については、表 59 (83 ページ)を参照してください。

² Insight Control 電力管理を使用するには、サーバーに iLO のライセンスを適用する必要があります。

³ SL シリーズサーバーのシャーシノードの関連付けはサポートされていません。

⁴ VCEM サポートは、これらのサーバーには適用されません。

⁵ Insight Control パフォーマンス管理は、このサーバー上で IDE または SAS HBA コントローラーをサポートしません。

⁶ 電力メータリングのみをサポート。

⁷ Capacity Advisor でのみサポートされます。

⁸ Capacity Advisor、Matrix リカバリ管理、論理サーバー管理での Matrix OE ビジュアル化、Matrix インフラストラクチャオーケストレーション、VSEassist、および Managed System Setup Wizard でのみサポートされます。

HP Integrity サーバー

表 26 HP Integrity サーバー

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE ^{3,4,5}	VCEM ⁶
		migr	perf	pwr ^{1,2}	svr prov	virt		
Integrity rx2660	✓			✓			✓	
Integrity rx3600	✓			✓			✓	
Integrity rx6600	✓			✓			✓	
Integrity rx7640	✓						✓	
Integrity rx2800 i2	✓			✓			✓	
Integrity rx2800 i4	✓			✓			✓	
Integrity rx2900 i4	✓			✓			✓	
Integrity rx8640	✓						✓	
Integrity Superdome	✓			✓			✓	
Integrity Superdome 2	✓			✓			✓	

¹ サポートされる電力機能については、表 61 (84 ページ)を参照してください。

² Insight Control 電力管理を使用するには、サーバーに iLO のライセンスを適用する必要があります。

³ Matrix リカバリ管理は Integrity サーバーをサポートしません。

⁴ 物理システムでは、Virtual Connect を搭載した HP Integrity BladeSystem サーバー、サポートされる Ethernet アダプター、およびサポートされるファイバーチャネル/FCoE ホストバスアダプターはすべて、Integrity/HP-UX のさまざまなテクノロジーを使った論理サーバーの操作で使用できます。VM ホストの場合、Integrity/HP-UX クロステクノロジー論理サーバー操作には、HP Integrity BladeSystem サーバー、ラックマウント型 HP Integrity サーバー（Superdome 2 など）、すべてのサポートされる Ethernet アダプター、およびホストバスアダプターのみを使用できます。サポートされるホストバスアダプターについて詳しくは、<http://www.hpe.com/info/hpux-hpvm-docs> にある『HP-UX vPars and Integrity VM v6.3.5 リリースノート』の NPIV サポートを参照してください。

⁵ P2V または V2V 移行の仮想マシンホスト/移行先としてサポートされます。

⁶ VCEM サポートは、これらのサーバーには適用されません。

表 27 HP Integrity NonStop サーバー

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE	VCEM ²
		migr	perf	pwr ¹	svr prov	virt		
Integrity NonStop NB50000c	✓			✓				
Integrity NonStop NB50000c-cg	✓			✓				
Integrity NonStop NB54000c	✓			✓				
Integrity NonStop NB54000c-cg	✓			✓				
Integrity NonStop NS16x00	✓			✓				
Integrity NonStop NS16000cg	✓			✓				
Integrity NonStop NS14x00	✓			✓				
Integrity NonStop NS2000	✓			✓				
Integrity NonStop NS2000T	✓			✓				
Integrity NonStop NS2000ST	✓			✓				

¹ サポートされる電力機能については、表 62 (86 ページ)を参照してください。

² VCEM サポートは、これらのサーバーには適用されません。

表 28 HP Integrity BladeSystem サーバー

サーバーモデル	SIM	Insight Control					Matrix OE ^{2,3}	VCEM
		migr	perf	pwr ¹	svr prov	virt		
Integrity BL860c ⁴	✓			✓		✓	✓	
Integrity BL860c i2	✓			✓ ⁵		✓	✓	✓
Integrity BL860c i4	✓			✓ ⁵		✓	✓	✓
Integrity BL870c ⁴	✓			✓		✓	✓	
Integrity BL870c i2	✓			✓ ⁵		✓	✓	✓
Integrity BL870c i4	✓			✓ ⁵		✓	✓	✓
Integrity BL890c i2	✓			✓ ⁵		✓	✓	✓
Integrity BL890c i4	✓			✓ ⁵		✓	✓ ⁶	✓

¹ Insight Control 電力管理を使用するには、サーバーに iLO のライセンスを適用する必要があります。

² Matrix リカバリ管理は Integrity サーバーをサポートしません。

³ 物理システムでは、Virtual Connect を搭載した HP Integrity BladeSystem サーバー、サポートされる Ethernet アダプター、およびサポートされるファイバーチャネル/FCoE ホストバスアダプターはすべて、Integrity/HP-UX のさまざまなテクノロジーを使った論理サーバーの操作で使用できます。ただし VM ホストでは、HP Integrity BladeSystem サーバー、ラックマウント HP Integrity 型サーバー、すべてのサポートされる Ethernet アダプター、およびホストバスアダプターのみがサポートされます。サポートされるホストバスアダプターについて詳しくは、<http://www.hpe.com/info/hpux-hpvm-docs> にある『HP-UX vPars and Integrity VM v6.3.5 リリースノート』の NPIV サポートを参照してください。

⁴ Virtual Connect 4.30 以降では、Integrity BL860c および Integrity BL870c はサポートされません。

⁵ DCPC の電源オン/オフ操作は、このサーバーではサポートされていません。

⁶ 論理サーバー管理での HP Matrix インフラストラクチャオーケストレーションおよび Matrix OE ビジュアル化では、BL890c i4 サーバーの物理サーバープロビジョニングおよび論理サーバー操作がサポートされません。

他社製サーバー

他社製サーバー用 HP Matrix Operating Environment ライセンスが適用されるとき、HP Matrix Operating Environment 仮想論理サーバーは、サポート対象ハイパーバイザーを実行している他社製サーバーでサポートされます。他社製サーバーには、HP Matrix Operating Environment ライセンスにより、Matrix Operating Environment および Insight Control 仮想マシン管理のライセンスが適用されます。詳しくは、Web サイトにある『HP Matrix Operating Environment for ProLiant Quick Spec』（http://h18004.www1.hp.com/products/quickspecs/13050_div/13050_div.pdf）（英語）を参照してください。

通常、次に示すように VMware または Microsoft Hyper-V ハイパーバイザーの互換性ガイドに示されるサーバーはサポートされますが、ただし、HP Systems Insight Manager でサーバーのシリアル番号を取得できない場合、HP SIM ではそのサーバーをサポートできません。なお、VM ゲストを他社のサーバー間で移動することはできません。

HP では、以下のサーバーファミリに属するいくつかのモデルのテストを済ませています。これらのサーバーファミリは、サポートできる他社製サーバーの一例です。

- Dell PowerEdge
- IBM System x サーバー
- Cisco UCS

Microsoft Hyper-V の互換性については、Microsoft 社の Web サイト <http://www.windowsservercatalog.com> で Hyper-v を検索して確認してください。

VMware の互換性については VMware 社の Web サイト <http://www.vmware.com/resources/compatibility/search.php> で検索機能を使用して確認してください。

注記: HP Insight Control の移行、パフォーマンス管理、電力管理、およびサーバープロビジョニングは、HP Insight Control ライセンスを他社製サーバーに適用できないため、これらのサーバーではサポートされません。また、他社製サーバーでは、Raw デバイスを使用した VM、Matrix リカバリ管理、および物理サーバーのプロビジョニングもサポートされません。HP SIM がサポートする機能を把握するには、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** で提供されるホワイトペーパー『How to manage non-HP x86 Windows servers with HP SIM』（英語）を参照してください。

サポートされるストレージ製品

表 29 サポートされるストレージハードウェア

ストレージデバイス/シリーズ	SIM	Insight Control		Matrix OE		
		migr	svr prov ¹	サービスプロビジョニング ^{2,3}	リカバリ管理 ⁴	SPM ^{5,6}
HP 3PAR StoreServ						
F-Class ファイバーチャネル (3PAR OS 3.1.2、3.1.2 MU1、3.1.2 MU2、3.1.2 MU3、3.1.2 MU5、3.1.3 MU1、および 3.1.3 MU3)	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁷
T-Class ファイバーチャネル (3PAR OS 3.1.2、3.1.2 MU1、3.1.2 MU2、3.1.2 MU3、3.1.2 MU5、3.1.3 MU1、および 3.1.3 MU3)	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁷
StoreServ 20000 ファイバーチャネル (3PAR OS 3.2.2、3.2.2 MU2)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
StoreServ 20000 iSCSI (3PAR OS 3.2.2 および 3.2.2 MU2)	✓	✓	✓	✓ ⁹	✓	

表 29 サポートされるストレージハードウェア (続き)

ストレージデバイス/シリーズ	SIM	Insight Control		Matrix OE		
		migr	srvr prov ¹	サービスプロ ビジョニ ング ^{2,3}	リカバリ 管理 ⁴	SPM ^{5,6}
StoreServ 10000 ファイバーチャネル (3PAR OS 3.1.2、3.1.2 MU1、3.1.2 MU2、3.1.2 MU3、3.1.2 MU5、3.1.3 MU1、3.1.3 MU3、3.2.1、3.2.1 MU1、3.2.1 MU2、3.2.1 MU3、3.2.1 MU4 ⁸ 、3.2.2、および 3.2.2 MU2)	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁷
StoreServ 10000 iSCSI (10GB) (3PAR OS 3.1.2、3.1.2 MU1、3.1.2 MU2、3.1.2 MU3、3.1.2 MU5、3.1.3 MU1、3.1.3 MU3、3.2.1、3.2.1 MU1、3.2.1 MU2、3.2.1 MU3、3.2.1 MU4 ⁸ 、3.2.2、および 3.2.2 MU2)	✓	✓	✓	✓ ⁹	✓	
StoreServ 8000 ファイバーチャネル (3PAR OS 3.2.2 および 3.2.2 MU2)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
StoreServ 8000 iSCSI (3PAR OS 3.2.2 および 3.2.2 MU2)	✓	✓	✓	✓ ⁹	✓	
StoreServ 7000 ファイバーチャネル (3PAR OS 3.1.2、3.1.2 MU1、3.1.2 MU2、3.1.2 MU3、3.1.2 MU5、3.1.3 MU1、3.1.3 MU3、3.2.1、3.2.1 MU1、3.2.1 MU2、3.2.1 MU3、3.2.1 MU4 ⁸ 、3.2.2、および 3.2.2 MU2)	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ⁷
StoreServ 7000 iSCSI (3PAR OS 3.1.2 MU2、3.1.2 MU3、3.1.2 MU5、3.1.3 MU1、3.1.3 MU3、3.2.1、3.2.1 MU1、3.2.1 MU2、3.2.1 MU3、3.2.1 MU4 ⁸ 、3.2.2、および 3.2.2 MU2)	✓	✓	✓	✓ ⁹	✓	
HP P6000 EVA						
EVA 4x00 ¹⁰	✓	✓	✓	✓ ¹¹	✓ ¹²	✓
EVA 6x00 ¹⁰	✓	✓	✓	✓ ¹¹	✓ ¹²	✓
EVA 8x00 ¹⁰	✓	✓	✓	✓ ¹¹	✓ ¹²	✓
P6300 ファイバーチャネル ¹⁰	✓	✓	✓	✓ ¹¹	✓ ¹²	✓
P6500 ファイバーチャネル ¹⁰	✓	✓	✓	✓ ¹¹	✓ ¹²	✓
P6350 ファイバーチャネル ¹⁰	✓		✓	✓ ¹¹	✓ ¹²	✓
P6550 ファイバーチャネル ¹⁰	✓		✓	✓ ¹¹	✓ ¹²	✓
HP P9000 XP						
XP10000	✓		N/A	✓	✓	
XP12000	✓		N/A	✓	✓	✓ ¹³
XP20000	✓		N/A	✓	✓	✓ ¹³
XP24000	✓		N/A	✓	✓	✓ ¹³
P9500 (P9500 ファームウェアバージョン 70-03-04-00/00、70-04-52-00/00、70-05-10-00/00、70-06-01-00/00)	✓	✓	N/A	✓	✓	✓ ¹³
HP XP7	✓			14		
HP MSA						

表 29 サポートされるストレージハードウェア (続き)

ストレージデバイス/シリーズ	SIM	Insight Control		Matrix OE		
		migr	svr prov ¹	サービスプロ ビジョニ ング ^{2,3}	リカバリ 管理 ⁴	SPM ^{5,6}
MSA P2000 G3 ファイバーチャネル (TS240P003、T250 搭載)	✓	✓	✓	✓ ¹¹		
MSA P2000 G3 SAS (TS240P003、T250 搭載)	✓	✓	✓	9		
MSA P2000 G3 iSCSI (TS240P003、T250 搭 載)	✓	✓	✓	✓ ⁹		
MSA P2000 G3 iSCSI、10GB (TS240P003 およ び T250 ファームウェア搭載)	✓	✓	✓	9		
MSA P2000 G3 iSCSI、1GB (TS240P003 およ び T250 ファームウェア搭載)	✓	✓	✓	9		
MSA P2000 G3 (TS251 ファームウェア搭載)	✓	✓	✓	✓ ¹¹		
MSA 1040 ファイバーチャネル (GL105 ファー ムウェア搭載)	✓	✓	✓	✓ ¹¹		
MSA 1040 ファイバーチャネル (GL200 および GL210 ファームウェア搭載)	✓	✓	✓	✓ ¹¹	✓	
MSA 1040 ファイバーチャネル (GL220 ファー ムウェア搭載)	✓			✓ ¹¹		
MSA 1040 iSCSI (GL200 および GL210 ファー ムウェア搭載)	✓	✓	✓	✓ ⁹	✓	
MSA 1040 iSCSI (GL220 ファームウェア搭載)	✓			✓ ⁹		
MSA 1040 SAS (GL200 および GL210 ファーム ウェア搭載)	✓	✓	✓	✓ ⁹	✓	
MSA 1040 SAS (GL220 ファームウェア搭載)	✓			✓ ⁹		
MSA 2040 ファイバーチャネル (GL100R003-02、GL105、GL200、GL210 ファームウェア搭載)	✓	✓	✓	✓ ¹¹	✓	
MSA 2040 ファイバーチャネル (GL220 ファー ムウェア搭載)	✓			✓ ¹¹	✓	
MSA 2040 SAS (GL101R001、GL200、GL210 ファームウェア搭載)	✓	✓	✓	9	✓	
MSA 2040 SAS (GL220 ファームウェア搭載)	✓			✓ ⁹	✓	
MSA 2040 iSCSI (GL101R001、GL200、GL210 ファームウェア搭載)	✓	✓	✓	✓ ⁹	✓	
MSA 2040 iSCSI (GL220 ファームウェア搭載)	✓			✓ ⁹	✓	
HP StoreAll ストレージ						
StoreAll 9300	✓					
StoreAll 9320	✓					
X9720	✓					
StoreAll 9730	✓					
HP StoreVirtual						

表 29 サポートされるストレージハードウェア (続き)

ストレージデバイス/シリーズ	SIM	Insight Control		Matrix OE		
		migr	svr prov ¹	サービスプロ ロビジョニ ング ^{2,3}	リカバリ 管理 ⁴	SPM ^{5,6}
StoreVirtual VSA、LeftHand OS 10.5 を搭載	✓	✓	✓ ⁹	✓ ⁹		
StoreVirtual VSA 2014、LeftHand OS 11.0 を搭載	✓			✓ ⁹		
StoreVirtual VSA、LeftHand OS 12.0 を搭載	✓					
4330 ファイバーチャネル、LeftHand OS 10.5 および 11.0 を搭載	✓			✓ ⁹		
4730 ファイバーチャネル、LeftHand OS 10.5 および 11.0 を搭載	✓			✓ ⁹		
4300 G2 iSCSI、LeftHand OS 9.5、10.5 および 11.0 を搭載	✓	✓		✓ ⁹		
4500 G2 iSCSI、LeftHand OS 9.5、10.5 および 11.0 を搭載	✓	✓		✓ ⁹		
4800 G2 iSCSI、LeftHand OS 9.5、10.5 および 11.0 を搭載	✓	✓		✓ ⁹		
4900 G2 iSCSI、LeftHand OS 9.5、10.5 および 11.0 を搭載	✓	✓		✓ ⁹		
4130 iSCSI、LeftHand OS 10.5 および 11.0 を搭載	✓			✓ ⁹		
4330 iSCSI、LeftHand OS 10.5 および 11.0 を搭載	✓			✓ ⁹		
4530 iSCSI、LeftHand OS 10.5 および 11.0 を搭載	✓		✓	✓ ⁹		
4630 iSCSI、LeftHand OS 10.5 および 11.0 を搭載	✓		✓	✓ ⁹		
4730 iSCSI、LeftHand OS 10.5 および 11.0 を搭載	✓		✓	✓ ⁹		
4335 Hybrid、LeftHand OS 11.0 を搭載	✓			✓ ⁹		
LeftHand OS 11.5	✓			✓ ⁹		
HP StoreEasy						
1400 G2	✓					
1430	✓					
1440	✓					
1450	✓					
1500 G2	✓					
1530	✓					
1540	✓					
1550	✓					
1600 G2	✓					

表 29 サポートされるストレージハードウェア (続き)

ストレージデバイス/シリーズ	SIM	Insight Control		Matrix OE		
		migr	svr prov ¹	サービスプロ ビジョニ ング ^{2,3}	リカバリ 管理 ⁴	SPM ^{5,6}
1630	✓					
1640	✓					
1650	✓					
1650 (拡張)	✓					
1800 G2	✓					
1830	✓					
1840	✓					
1850	✓					
3800 G2	✓					
3830	✓					
3840 ゲートウェイストレージ	✓					
3840 ゲートウェイストレージ	✓					
3850 ゲートウェイストレージ	✓					
3850 ゲートウェイストレージ	✓					
HP 3PAR StoreServ File Controller v2 ストレージ	✓					
P4000 G2 Unified NAS Gateway	✓					
5520	✓					
5530	✓					
HP 3PAR StoreServ File Controller v3 ストレージ	✓					
E5000 Messaging Systems for Microsoft Exchange						
E5000 G2	✓					
E5000	✓					
テープストレージ						
EML (CV Tape Library 2.8 および 3.0)	✓					
ESL-e (CV Tape Library 2.8 および 3.0)	✓					
ESL G3 (CV Tape Library 2.8 および 3.0)	✓					
MSL G3 (CV Tape Library 2.8 および 3.0)	✓					
MSL 6480 テープライブラリ	✓					

¹ Insight Control サーバープロビジョニングは、マルチパス構成での Boot from SAN (iSCSI) の展開はサポートしていません。

² サービスプロビジョニングは、Matrix OE 論理サーバー管理および Matrix インフラストラクチャオーケストレーションを表します。

³ Matrix Operating Environment は、物理サーバストレージのプロビジョニングについては、「[Matrix OE のストレージのサポート](#)」(44 ページ) で示す要件を満たす任意のファイバーチャネルストレージデバイスをサポートします。VM ストレージのサポートについて詳しくは、[表 31 \(43 ページ\)](#)を参照してください。

- 4 「Matrix リカバリ管理のストレージサポート」(45 ページ) を参照してください。
- 5 SPM は、3PAR OS 3.1.2 以降のリモートレプリケーション基本機能、および 3PAR OS 3.2.1 以降のリモートレプリケーション拡張機能をサポートします。
- 6 7.5.1 にバンドルされている SPM 2.5.1 は、BNA (HP B-Series SAN Network Advisor または Brocade Network Advisor) バージョン 12.1.4、12.3.1、12.3.4、12.4.2、12.4.3、または 12.4.4 をサポートします。
- 7 SPM は、3PAR StoreServ ファイバーチャネルをサポートし、Virtual Domains、Autonomic Groups、Zero Detect、Peer Motion など、いくつかの 3PAR StoreServ オプションをさまざまな形式でサポートします。詳しくは、『HP Storage Provisioning Manager (SPM) ユーザーガイド』を参照してください。
- 8 VMware vSphere 仮想ボリューム (VVOL) は、3PAR OS 3.2.1 MU4 ではサポートされません。
- 9 VM バックイングストアとしてのみサポートされます。
- 10 HP P6000 Command View ソフトウェアバージョン 10.3、10.3.1、10.3.2、10.3.3、10.3.4、10.3.5、10.3.6、10.3.7 がサポートされます。
- 11 Matrix Operating Environment ストレージプールエントリー検証機能をサポートします。
- 12 Cluster Extension EVA (CLX EVA) 5.01 は、Matrix リカバリ管理 7.5 Update 1、7.5、7.4 Update 1、7.4.0b、7.3 Update 4 でバンドルされます。
- 13 Storage Provisioning Manager は、カタログの自動インポートおよびプレゼンテーションのために、リストされていてチェックマークが付いている XP (マイクロプログラムバージョン V04/V05/V06 搭載、または P9500 用の記載モデル) ストレージソリューションの記載モデルをサポートしていますが、オンデマンドプロビジョニングはサポートしていません。
- 14 手動プロビジョニングによる標準 FC ストレージとしてサポートされます。SPM または Matrix リカバリ管理はサポートされません。

推奨されるファイバーチャネルストレージおよびスイッチ

次のような、製品の HP ストレージソリューションポートフォリオをおすすめします。

- 3PAR StoreServ
- P6000 EVA
- P9000 XP

互換性があるファイバーチャネル SAN アレイとの接続を提供する必要があります。お客様が提供され、外部 SAN に接続するファイバーチャネルスイッチは、SAN から起動する機能と NPIV 機能をサポートする必要があります。

Virtual Connect ファイバーチャネルでサポートされるスイッチとストレージデバイスのリストを入手するには、以下の手順に従ってください。

1. ブラウザーを起動して、次の Web サイトにアクセスします。
<http://www.hpe.com/storage/spock> (英語)
2. 新規ユーザーで HP Passport のアカウントを持っていない場合は、登録してアカウントを入手します。アカウントを持っている場合は、サインインします。
3. **[Other Hardware]**→**[Virtual Connect]**→**[HP Virtual Connect 8Gb-24p FC Connectivity stream]** に移動します。

iSCSI SAN

iSCSI は、Matrix OE によって仮想バックイングストアとしてのみサポートされます (iSCSI からの物理サーバーのブートや、Raw iSCSI LUN に直接アクセスする仮想マシンとしてのサポートはありません)。

iSCSI を利用するには、互換性のある iSCSI SAN に接続する必要があります。ファイバーチャネルストレージと同様、iSCSI ストレージデバイスのエンドツーエンドのサポートは、一般には、ストレージベンダーが認定します。

VMware 社および Microsoft 社は、それぞれのオペレーティングシステム、ハイパーバイザー、および iSCSI イニシエーターを使用して、個別に他社製デバイスを認定しています。Insight Management 内でのサポートは、ハイパーバイザーベンダーによるデバイスサポートの確認が前提です。

注記: セキュリティ、信頼性、およびパフォーマンスのために、iSCSI LAN トラフィック用に独立した専用の iSCSI ネットワークをおすすめします。

VM ゲストの予備ストレージとしての iSCSI ターゲット

仮想マシンゲスト用の予備ストレージとして以下の iSCSI ターゲットをおすすめします。

表 30 VM ゲストの予備ストレージとしての iSCSI ターゲット

iSCSI ターゲット	参照
HP 3PAR StoreServ 10000、StoreServ 7000 iSCSI	http://www.hpe.com/jp/StoreServ
HP StoreVirtual ストレージ	http://www.hpe.com/info/storage/docs

ストレージベンダーと Microsoft Hyper-V および VMware ESXi によって認定され、サポートされているその他の iSCSI ターゲットについては、ストレージベンダードキュメントを参照してください。

iSCSI デバイスの参考情報

HP iSCSI デバイスのサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock>

Windows および VMware での iSCSI デバイスのサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

- Windows : <http://www.windowsservercatalog.com/>
- VMware : <http://www.vmware.com/resources/compatibility/search.php>

仮想化された SAN (FCoE および iSCSI) のスイッチ

FCoE 実装には、以下のスイッチをおすすめします。

- HP FlexFabric 5700 スイッチシリーズ
- HP FlexFabric 5900CP スイッチシリーズ
- HP FlexFabric 5930 スイッチシリーズ
- HP 5900 スイッチシリーズ
- HP 5920 スイッチシリーズ

専用 VLAN 上の iSCSI 実装には、以下のスイッチをおすすめします。

- HP 2920 スイッチシリーズ (10Gb オプション付き)
- HP 3800 スイッチシリーズ (10Gb オプション付き)
- HP 5400 zl スイッチシリーズ
- HP 5400R zl2 スイッチシリーズ
- HP 5800 スイッチシリーズ
- HP 5830 スイッチシリーズ
- HP 6600 スイッチシリーズ (10Gb オプション付き)
- HP 8200 zl スイッチシリーズ

仮想マシンゲストのストレージオプション

VMware 社および Microsoft 社は、それぞれのオペレーティングシステム、ハイパーバイザー、および iSCSI イニシエーターを使用して、個別に他社製デバイスを認定しています。Insight

Management内でのサポートは、ハイパーバイザーベンダーによるデバイスサポートの確認が前提です。

表 31 VM ゲストのストレージオプション

ストレージタイプ	VMware VM			Microsoft Hyper-V VM		Integrity VM ¹	
	VMFS	RDM	NFS	NTFS	Disk Pass-Through	ServiceGuardと結合されたSLVM	SAN ベース (または NPIV ベース) のストレージ ²
ファイバーチャネル	✓	✓ ^{3,4}		✓	✓ ^{3,8}	✓	✓ ³
iSCSI	✓ ^{5,6}	✓ ⁷	✓ ^{6,8}				
DAS	✓ ⁸			✓ ⁸			
SAS	✓ ⁸			✓ ⁸			
NAS			✓ ⁸				

¹ Integrity VM 仮想マシンゲストのオペレーティングシステムタイプは、HP-UX でなければなりません。Windows や Linux のゲストはサポートされません。HP-UX で稼動する Integrity VM ホストの要件と制限については、表 52 (66 ページ) を参照してください。

² Integrity VM は、HPVM バージョン B.06.30 から、Emulex の HBA およびコンバインドネットワークアダプターの NPIV をサポートしています。

³ Matrix OE は、共有データディスクについてはサポートしません。ブートまたはプライベートデータディスクについてはサポートされますが、Raw LUN (VMware RDM、Hyper-V Disk Pass-Through、あるいは Integrity VM SAN ベースまたは NPIV ベースディスク) を VM 間で共有することはできません。

⁴ Matrix インフラストラクチャオーケストレーションを使用して復旧可能サービスをプロビジョニングしているとき、Matrix リカバリ管理によってサポートされません。

⁵ Matrix リカバリ管理は、3PAR StoreServ iSCSI (表 29 (36 ページ)) を VM 予備ストアとしてのみサポートします。Matrix Operating Environment がサポートするその他の iSCSI ストレージシステムについては、Matrix リカバリ管理が、統合のためにユーザー定義のストレージアダプターインターフェイス仕様を提供します。詳しくは、『HP Matrix Operating Environment リカバリ管理ユーザーガイド』および「iSCSI SAN」(41 ページ) を参照してください。

⁶ 互換性がある iSCSI SAN への接続を、お客様の側で用意しておく必要があります。ハイパーバイザーによる iSCSI ストレージ使用のエンドツーエンドサポートは、一般には、ストレージベンダーが認定します。

⁷ Matrix インフラストラクチャオーケストレーションを使用して復旧可能サービスをプロビジョニングしているとき、Matrix インフラストラクチャオーケストレーションと Matrix リカバリ管理も含めて、Matrix OE によってサポートされません。

⁸ Matrix リカバリ管理ではサポートされません。

VMware VXLAN 環境での Matrix OE サポート

Matrix OE では VMware VXLAN がサポートされますが、固有の前提条件および考慮事項があります。Matrix OE を適切に構成して使用した場合、VMware VXLAN を使用して、環境内で VM のプロビジョニングとインポートができます。特に、Matrix OE では、vShield Manager から、dvSwitch 下に構成された仮想ネットワークを使用して、インフラストラクチャをプロビジョニングできます。ユーザーは、インフラストラクチャオーケストレーションを使って vCenter からネットワークを表示し、インフラストラクチャオーケストレーションでそのネットワークを構成し、ネットワークを組織に割り当て、サービステンプレートを使ってインフラストラクチャをプロビジョニングできます。

Microsoft System Center Virtual Machine Management (SCVMM) NVGRE 環境での Matrix OE のサポート

Matrix OE は、特定の前提条件および考慮事項の下で、Microsoft Hyper-V Network Virtualization using Generic Routing Encapsulation (NVGRE) 環境をサポートします。Matrix OE は、Hyper-V NVGRE で構成されている環境で仮想マシンをプロビジョニングできます。具体的には、Matrix OE は、Microsoft SCVMM で作成されて Hyper-V VM ホストに適用される仮想ネットワークを

使用して、HP Matrix インフラストラクチャオーケストレーションサービステンプレートをプロビジョニングできます。Microsoft SCVMM で作成された仮想サブネットは、Matrix インフラストラクチャオーケストレーションの [ネットワーク] タブに表示されます。これらのネットワークは、Matrix OE で組織の要件に基づいて構成でき、サービステンプレートを使用してサービスをプロビジョニングできます。

Flat SAN

Matrix Operating Environment は、FlexFabric モジュールから HP 3PAR StoreServ ストレージシステムに直接接続するための Flat SAN テクノロジーを複数のハイパーバイザーが使用することをサポートします。各ハイパーバイザーについて次の構成がサポートされています。

- VMware (スタンドアロンおよびクラスター) : Flat SAN により接続された 3PAR で、ファイルベースのボリュームまたは RDM ボリューム、あるいはその両方を使用する VM (ハイパーバイザーが Matrix の帯域外で Flat SAN を使用するように構成)。
- Hyper-V (スタンドアロンおよびクラスター化) : Flat SAN 接続された 3PAR で、ファイルベースのボリュームまたは Disk Pass-Through ボリューム、あるいはその両方を使用する VM (Matrix の帯域外で Flat SAN を使用するように構成されたハイパーバイザー)。
- Integrity VM : ファイルベースおよび SAN ベースの LUN を AVIO 経由で使用する VM (Matrix の帯域外で Flat SAN を使用するように構成されたハイパーバイザー、Matrix の帯域外に構成された AVIO SAN ベースの LUN、および NPIV ベースの LUN のみをプロビジョニングする Matrix)、Flat SAN では FlexFabric モジュールが必要です。Integrity VM は、コンバージドネットワークアダプターの NPIV をサポートしています。

Matrix OE は、直接接続された HP 3PAR StoreServ Storage System から物理サーバーのボリュームをプロビジョニングできません。

Matrix OE のストレージのサポート

Matrix OE は、仮想論理サーバーおよび物理論理サーバーの使用をサポートします。「[仮想マシンのストレージオプション](#)」(42 ページ) に仮想サーバーのストレージオプションを示します。物理論理サーバーは、柔軟な移動のために SAN から提供されるストレージを使用します。

(物理ブレードの配備のために) boot-from-SAN 機能を持つファイバーチャネルストレージエリアネットワーク (SAN) をおすすめします。Matrix OE は、Virtual Connect 環境 (ファブリックにまだ表示されていないイニシエーター WWN にストレージを表示する機能を含む)、N_Port ID Virtualization (NPIV)、および boot-from-SAN 機能をサポートするファイバーチャネルストレージソリューションをサポートします。Matrix OE は、Integrity VM 論理サーバーにおいて SAN ベースのストレージをサポートします。詳しくは、『HP Matrix Operating Environment 論理サーバー管理ユーザーガイド』を参照してください。

論理サーバーを移動する機能やアクティブでない論理サーバーに関連するサーバーブレードの用途を簡単に変更する機能など、Virtual Connect 論理サーバーの利点を実現するには、すべてのローカルディスクを削除するか、無効にする必要があります。

Matrix OE は、複数のデータストアの使用を含む、VMware vSphere Storage DRS の自動負荷分散をサポートしています。

Matrix OE プロビジョニングのストレージサポート

Matrix OE 論理サーバー管理のストレージ検証機能は、次の HP ディスクアレイでサポートされます。

- HP P2000 G3 MSA ストレージ、HP MSA 2040 ファイバーチャネル、MSA 1040 ファイバーチャネル
 - 明示的またはデフォルトのマッピングの使用
 - MSA SMI-S プロバイダーバージョン 1.1.2 以降

- EVA 4x00/6x00/8x00 および HP P6300/P6350/P6500/P6550

注記: パスワード保護された HP P6000 EVA Storage System アレイをサポートするには、（アレイ上に設定されているものと同じパスワードで）アレイにアクセスできるように HP P6000 Command View ソフトウェアを構成する必要があります。

ストレージ検証、および HP Storage Provisioning Manager (SPM) との統合を含む、Matrix OE 論理サーバー機能は、HP P6000 Command View ソフトウェアバージョン 10.3、10.3.1、10.3.2、10.3.3、10.3.4、10.3.5、10.3.6、10.3.7 をサポートします。

HP Matrix Operating Environment は、HP Storage Provisioning Manager との統合により、事前にプロビジョニングされたファイバーチャネルストレージおよびオンデマンドでプロビジョニングされたストレージをサポートします。SPM は、3PAR StoreServ、P6000/EVA、および HP P9000/XP ストレージシステムをサポートします。オンデマンドプロビジョニング（Brocade SAN 環境の自動ゾーニングなど）は、3PAR StoreServ および EVA でサポートされます。詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) から入手できる『HP Storage Provisioning Manager (SPM) User Guide』を参照してください。

オンデマンドプロビジョニングは、HP SPM アダプターを介して EMC Symmetrix VMAX ストレージアレイでもサポートされます。CMS に HP Matrix Operating Environment をインストールすると、システムに EMC Symmetrix VMAX 用の SPM アダプターがインストールされます（選択解除されない限り）。デフォルトでは、EMC Symmetrix VMAX 用 SPM アダプターは無効になっています。EMC Symmetrix VMAX 用の HP SPM アダプターを有効にする方法について詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual にある『HP Insight Management インストール/コンフィギュレーションガイド』を参照してください。

Matrix リカバリ管理のストレージサポート

Matrix リカバリ管理を使用するには、次のいずれかのストレージシステムと複製ソフトウェアが必要です。

- HP 3PAR StoreServ Storage
- HP P6000 EVA ストレージシステム
- HP P9000 XP ストレージシステム

Matrix リカバリ管理は、HP 3PAR Remote Copy 複製ソフトウェア、HP P6000 Continuous Access ソフトウェア、または HP 9000 Continuous Access ソフトウェアを使って、優先サイトとリカバリサイト間でデータを複製します。Matrix リカバリ管理でサポートされるのは 2 サイトのデータ複製（1-1）のみであり、1-N サイトの複製はサポートされる構成ではありません。サイトごとに、HP P6000 EVA アレイを管理するための HP P6000 Command View ソフトウェア、またはサイトに関連付けられている HP P9000 アレイを管理するための HP P9000 XP ストレージシステムのストレージ管理ステーションのインスタンスが必要です。

Matrix リカバリ管理は、次に示すように、Remote Copy 同期および非同期複製を搭載した HP 3PAR StoreServ をサポートします。

- CMS には、CLX/3PAR (v2.0 以上) および 3PAR OS CLI がインストールされている必要があります。
- CLI のバージョンは、3PAR OS 管理サーバーと同じでなければなりません。
- Matrix リカバリ管理は、CLX/3PAR がサポートするすべての HP 3PAR StoreServ Storage および 3PAR OS をサポートします。

Matrix リカバリ管理は、Continuous Access Synchronous と Asynchronous Replication での HP P9000 XP Storage System のアレイをサポートします。CLX/XP (v3.0.1 以降) は、サポート対象バージョンの Microsoft Windows を実行しているストレージ管理ステーションにインストールする必要があります。CLX について詳しくは、<http://www.hpe.com/info/clx>（英語）および <http://www.hpe.com/storage/spock>（英語）の Web サイトを参照してください。HP

Passport は必須であり、左下のソフトウェアのセクションには **[Array SW: XP]** リンクが含まれていて CLX の情報が表示されます。

注記: HP 3PAR StoreServ ストレージのサポートについて詳しくは、<http://www.hpe.com/storage/spock> (英語) の Web サイトを参照してください。HP Passport は必須であり、SAN Compatibility セクションでは、特定のモデル、3PAR OS、サーバー OS ごとの表示が可能です (推奨されるペルソナについての Host Mode 情報を含む)。

Matrix リカバリ管理は、Continuous Access 同期および非同期複製機能を備えた P6000/EVA ファミリストレージソリューションをサポートします。

注記: CLX EVA 5.01 は、Matrix リカバリ管理 7.5 Update 1、7.5、7.4 Update 1、7.4.0b、7.3 Update 4、7.2 Update 4 でバンドルされます。

サポートされるハードウェアネットワーク製品

ネットワークスイッチ

- HP 5920AF-24XG (JG296A)
- HP 5830AF-48G (JC691A)
- HP 5120-16G-SI (JE073A)
- HP 5820-24XG-SFP+ (JC102A)
- HP 5800-48G (JC105A)
- HP 6125G/XG ブレードスイッチ
- HP 6125G ブレードスイッチ
- Mellanox SX1018 HP Enet スイッチ
- HP 6127XLG Ethernet ブレードスイッチ
- H3C Switch

HP Virtual Connect Enterprise Manager ハードウェア

表 32 (46 ページ)に、Virtual Connect Enterprise Manager のハードウェア要件を示します。

表 32 Virtual Connect Enterprise Manager のハードウェアサポート

コンポーネント	サポートされる VC モジュール
Virtual Connect Ethernet モジュール	<ul style="list-style-type: none">• HP Virtual Connect Flex-10 10 Gb Ethernet モジュール• HP Virtual Connect Flex-10/10D モジュール for BladeSystem c-Class
ファイバーチャネルモジュール	<ul style="list-style-type: none">• HP Virtual Connect 4 Gb ファイバーチャネルモジュール• HP Virtual Connect 8 Gb 20 ポートファイバーチャネルモジュール• HP Virtual Connect 8 Gb 24 ポートファイバーチャネルモジュール• HP Virtual Connect 16 Gb 24 ポートファイバーチャネルモジュール
FlexFabric	<ul style="list-style-type: none">• HP FlexFabric 10 Gb/24 ポートモジュール for c-Class BladeSystem• HP FlexFabric 20/40 F8 モジュール

サポートされるその他のハードウェア

Insight Management は、原則として、以下のすべてのデバイスおよびそれと同等のプラグインデバイスを、それらが最新のファームウェアおよびドライバーとともに取り付けられていることを前提にしてサポートします。

- 外部 Ethernet スイッチ
- 内蔵ネットワークインターフェイスカード (NIC)
- Smart アレイコントローラー、ホストバスアダプター (HBA)
- HP BladeSystem メザニンカード
- HP IO アクセラレータ

Insight Control サーバー移行がサポートするストレージコントローラー、コンバージドネットワークアダプター (CNA)、およびネットワークインターフェイスカード (NIC) については、「[Insight Control サーバー移行のハードウェア要件および注意事項](#)」(88 ページ) を参照してください。

Insight Control サーバープロビジョニングがサポートするストレージコントローラー、コンバージドネットワークアダプター (CNA)、およびネットワークインターフェイスカード (NIC) については、「[Insight Control サーバープロビジョニングのハードウェア要件および注意事項](#)」(97 ページ) を参照してください。

HP IO アクセラレータについて詳しくは、<http://www.hpe.com/info/io-accelerator-cClassBL> (英語) を参照してください。HP IO アクセラレータを使用するためのセットアップとシナリオについて説明するホワイトペーパーを <http://www.hpe.com/info/insightmanagement/docs> でオンラインで入手できます。

5 管理対象システムのファームウェア

この章では、Insight Managementによるライセンスの付与および管理が可能なサーバーおよびデバイスのファームウェアに関する推奨事項について説明します。

Service Pack for ProLiant

HP Service Pack for ProLiant (SPP) は、個々のシステムのソフトウェアおよびファームウェアを1つにまとめたものであり、すべての Gen8 サーバーおよび Gen9 サーバーを含む、次に示すすべての HP ProLiant サーバー用のソリューションとして提供されます。

- BladeSystem サーバー —HP ProLiant BL200c シリーズ、HP ProLiant BL2x220c シリーズ、HP ProLiant BL460c シリーズ、HP ProLiant BL400c シリーズ、および HP ProLiant BL600c シリーズ
- ワークステーションブレード —HP ProLiant WS460c シリーズ
- ラックマウント型サーバー —HP ProLiant DL20 Gen9、HP ProLiant DL60、HP ProLiant DL80、HP ProLiant DL100 シリーズ、HP ProLiant DL300 シリーズ、HP ProLiant DL500 シリーズ、HP ProLiant DL700 シリーズ、および HP ProLiant DL900 シリーズ
- タワー型サーバー —HP ProLiant ML10 v2、HP ProLiant ML30 Gen9、HP ProLiant ML100 シリーズ、および HP ProLiant ML300 シリーズ
- スケーラブルシステムサーバー —HP ProLiant SL100 シリーズ、HP ProLiant SL200 シリーズ、HP ProLiant SL300 シリーズ、HP ProLiant SL2500、HP ProLiant SL4000 シリーズ、HP ProLiant XL220a、HP ProLiant XL230a、HP ProLiant XL250a、HP ProLiant XL170r、HP ProLiant XL190r、HP ProLiant XL420 Gen9、および HP ProLiant XL450 Gen9。

HP Smart Update Manager (HP SUM) を含む SPP を使用してサーバー、BladeSystem、および BladeSystem エンクロージャーを更新すると、必要なコンポーネントだけが事前にロードされるため、作業を短時間で効率的に行えます。

SPP は ISO イメージとして配付されます。また、同じく ISO として配付される、4 つのサブセットも用意されています。これらのサブセットは、オペレーティングシステムおよび ProLiant サーバーのタイプごとに最適化されています。各サブセット版には、そのサブセットの対象者にとって必要なソフトウェアとファームウェアの Smart コンポーネントが含まれるため、ソリューションがカスタマイズされダウンロードにかかる時間が短縮されます。以下の ISO を入手できます。

- HP Service Pack for ProLiant
- BladeSystem Red Hat Enterprise Linux Pack
- BladeSystem Microsoft Windows Server Pack
- ProLiant ML/DL/SL Red Hat Enterprise Linux Pack
- ProLiant ML/DL/SL Microsoft Windows Server Pack

表 33 Service Pack for ProLiant

サービスパック名	バージョン	ダウンロードサイト
HP Service Pack for ProLiant (SPP) このサービスパックの内容については、Web サイト http://www.hpe.com/jp/spp を参照してください。	2016.04.0	http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl OS およびサーバータイプごとに最適化された、統合ダウンロードと4つのサブセットがあります。 バージョン列の SPP ダウンロードから、指定したバージョンのダウンロードを選択します。

Integrity Support Pack

表 34 Integrity Support Pack

サポートパックの名前	バージョン	ダウンロードサイト
HP Integrity Support Pack for Windows servers	7.2.2.0	HPの「サポート & ドライバー」のWebサイトから、ご使用のサーバーモデルおよび OS 用の Integrity Support Pack とシステムファームウェアバンドルをダウンロードします。 http://www.hpe.com/jp/support
HP Integrity Essentials Foundation Pack for Linux サポートパック	4.23	
HP Integrity Superdome 2 サーバー、HP rx2800 i2 サーバー、HP rx2800 i4 および rx2900 i4 サーバー用のシステムファームウェアバンドルを入手できません。	N/A	

Insight Management のファームウェアに関する推奨事項

HP Insight Management ソフトウェアは、表 33 (48 ページ) で指定されている SPP バージョンを使用してテストされました。次の表に、Insight Management のテストで使用されたファームウェアの主な項目とそのバージョンを示します。別に指定がある場合を除き、表に示されている項目は SPP に含まれています。このリストの目的は、サポートされる Insight Management 用ファームウェアの完全なリストを示すことではありません。以前のファームウェアバージョンとの互換性とそのサポートについては、Insight Management のドキュメントを参照してください。

表 35 Insight Management に推奨されるファームウェア要件

項目	推奨されるファームウェアバージョン
Intelligent Provisioning	2.40 (Gen9)
	1.62 (b) (Gen8)
次の HP BladeSystem エンクロージャー上の Onboard Administrator (OA) :	4.50
	4.40
	• c3000
	• c3000 タワー型エンクロージャー
	• c7000
Virtual Connect for BladeSystem c-Class	4.45
	4.41
注記: Virtual Connect ファームウェアだけをダウンロードするには、次の Web サイトにアクセスしてください。 http://www.hpe.com/info/vc-interconnects (英語)	
Virtual Connect Enterprise Manager と互換性のある Virtual Connect ファームウェアについては、 Hewlett Packard Enterprise Information Library から入手できる『HP Virtual Connect Enterprise Manager ユーザーガイド』を参照してください。	
HP iLO 2 for ProLiant BladeSystem	2.29
HP iLO 2 Advanced for Integrity	3.18
HP iLO 3 Advanced for ProLiant BladeSystem	1.87
HP iLO 3 Advanced for Integrity	1.57.07 (i2)
	1.70.01 (i4)
HP iLO 4 Advanced for ProLiant BladeSystem ¹	2.40
	2.30
	2.20

表 35 Insight Management に推奨されるファームウェア要件 (続き)

項目	推奨されるファームウェアバージョン
Baseboard Management Controller (BMC) ファームウェア	5.38
HP Smart Update Manager (HP SUM)	7.5.1 ²

¹ HP Insight Control 電力管理を使用する iLO4 v2.20 では、パワーレギュレーターを低電力モードに設定することはサポートされていません。

² HP SIM 7.5 Update 1 は、HP SUM 7.5 Update 2 のみをサポートします。

6 管理対象システムのソフトウェア

この章では、HP 付属ソフトウェアとの統合、オペレーティングシステム、およびハイパーバイザーを含む、管理対象システムでサポートされるソフトウェアの一覧を示します。

HP ソフトウェア統合

表 36 (51 ページ)には、HP ソフトウェアとこのリリースの Insight Management を統合するための要件が記載されています。

表 36 HP ソフトウェア統合要件

HP ソフトウェア製品とバージョン	Systems Insight Manager	Insight Control	Matrix OE
HP Cloud Service Automation 3.2、4.0、4.1、4.2			✓
HP Server Automation (HP SA) 9.05、9.06、9.10、9.11、9.12、9.13、9.14、9.1 Satellite、9.15、9.16、10.0、10.10 ¹ 、10.20 ¹ 、および 10.21			✓
HP Operations Orchestration 9.07 および 10.21			✓
HP SiteScope 11.10			✓

¹ Server Automation 10.10 および 10.20 は、SLES 12 をサポートしていません。

サポートされているオペレーティングシステム

この項では、管理対象システムでサポートされるオペレーティングシステムを示します。

Insight Control サーバードロビジョニングは、Windows および Linux をサポートします。サーバーごとの具体的な OS サポートを確認するには、認証とサポートの Web サイト <http://www.hpe.com/info/server-supportmatrix> (英語)を参照してください。

VCEMは、Virtual Connectがサポートするすべてのオペレーティングシステムをサポートしません。BladeSystem エンクロージャーに挿入している各サーバードロブが特定の OS をサポートしているかどうかを確認するには、そのサーバードロブの QuickSpecs を参照してください。QuickSpecs は、次の Web サイトにアクセスしてリンクをたどることで入手できます。

<http://www.hpe.com/info/blades-ja>

Microsoft Windows

表 37 Microsoft Windows Server 2012

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr ¹	perf	pwr	svr prov ²	virt ³	
Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard Edition ⁴	✓	✓ ⁵	✓	✓	✓		✓
Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition ⁴	✓	✓	✓	✓	✓		✓
Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter Edition ⁴	✓	✓ ⁵	✓	✓	✓		✓
Microsoft Windows Server 2012 Datacenter Edition ⁴	✓	✓	✓	✓	✓		✓
Microsoft Windows Server 2012 Essentials	✓						
Microsoft Windows Server 2012 Foundation	✓						
Storage Server							

表 37 Microsoft Windows Server 2012 (続き)

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr ¹	perf	pwr	svr prov ²	virt ³	
Microsoft Windows Storage Server 2012 R2	✓						
Microsoft Windows Storage Server 2012 Standard	✓						

¹ Portable Images Network Tool (PINT) は、Windows 2012 R2 オペレーティングシステムではサポートされません。

² Microsoft は、マルチパス機能が有効な場合、Windows の展開をサポートしません。そのため、Insight Control サーバープロビジョニングで Windows OS Build Plan を展開する前に、マルチパス機能を無効にする必要があります。展開の完了後にマルチパス機能を有効にすることができます。

³ Insight Control 仮想マシン管理のサポートは、このオペレーティングシステムには適用されません。

⁴ これらすべてのエディションの Server Core インストールのサポートは、HP SIM および IC サーバープロビジョニングに限定されています。

⁵ CMS に Windows ADK をインストールして、IC Migration Application で DISM 6.3 をアクティブ化することによって、Windows 2008 x64/ Windows 2008 R2/ Windows 2012 の CMS でサポートされます。

表 38 Microsoft Windows Server 2008

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr	svr prov ¹	virt ²	
Standard エディション³							
Microsoft Windows Server 2008, Standard Edition、x86	✓	✓	✓	✓			
Microsoft Windows Server 2008, Standard Edition、x64	✓	✓	✓	✓			
Microsoft Windows Server 2008, Standard Edition SP2、x86	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2008, Standard Edition SP2、x64	✓	✓	✓	✓	✓		✓
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard Edition x64 のみ	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1 x64 のみ	✓	✓	✓	✓	✓		✓
Datacenter エディション³							
Microsoft Windows Server 2008, Datacenter Edition、x86	✓	✓	✓	✓			
Microsoft Windows Server 2008, Datacenter Edition、x64	✓	✓		✓			
Microsoft Windows Server 2008, Datacenter Edition SP2、x86	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2008, Datacenter Edition SP2、x64	✓	✓	✓	✓	✓		✓
Microsoft Windows Server 2008 R2 Datacenter Edition x64 のみ	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2008 R2 Datacenter Edition SP1 x64 のみ	✓	✓	✓	✓	✓		✓
Enterprise エディション³							
Microsoft Windows Server 2008, Enterprise Edition、x86	✓	✓	✓	✓			
Microsoft Windows Server 2008, Enterprise Edition、x64	✓	✓	✓	✓			

表 38 Microsoft Windows Server 2008 (続き)

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr	svr prov ¹	virt ²	
Microsoft Windows Server 2008, Enterprise Edition SP2、x86	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2008, Enterprise Edition SP2、x64	✓	✓	✓	✓	✓		✓
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition x64のみ	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition SP1 x64のみ	✓	✓	✓	✓	✓		✓
HPC サーバー							
Microsoft Windows HPC Server 2008 R2	✓		✓	✓			
Windows Server for Itanium ベースシステム							
Microsoft Windows Server 2008 for Itanium ベースシステム	✓			✓			
Microsoft Windows Server 2008 for Itanium ベースシステム SP2	✓			✓			✓ ⁴
Microsoft Windows Server 2008 R2 for Itanium ベースシステム	✓			✓			✓ ⁴
Storage Server							
Microsoft Windows Storage Server 2008	✓						
Microsoft Windows Storage Server 2008 R2	✓						
Microsoft Windows Storage Server 2008 R2 SP1	✓						
Web Server							
Microsoft Windows Web Server 2008、x86	✓	✓					
Microsoft Windows Web Server 2008、x64	✓	✓					
Microsoft Windows Web Server 2008 SP2、x86	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Web Server 2008 SP2、x64	✓	✓	✓	✓	✓		✓
Microsoft Windows Server 2008 R2 Web Server (初回リリース)	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2008 R2 Web Server SP1	✓	✓	✓	✓	✓		✓

¹ Microsoft は、マルチバス機能が有効な場合、Windows の展開をサポートしません。そのため、Insight Control サーバードプロビジョニングで Windows OS Build Plan を展開する前に、マルチバス機能を無効にする必要があります。展開の完了後にマルチバス機能を有効にすることができます。

² Insight Control 仮想マシン管理のサポートは、これらのオペレーティングシステムには適用されません。

³ これらすべてのエディションの Server Core インストールのサポートは、HP SIM に限定されています。

⁴ Matrix リカバリ管理および Matrix インフラストラクチャオーケストレーションでは、Integrity ベースシステム上で動作している Microsoft Windows をサポートしません。

表 39 Microsoft Windows Server 2003

OS バージョン	SIM ¹	Insight Control					Matrix OE
		migr ²	perf	pwr	svr prov	virt ³	
Standard エディション							
Microsoft Windows Server 2003, Standard Edition SP2、x86	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2003, Standard Edition SP2、x64	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard Edition、x86	✓	✓	✓	✓			
Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard Edition、x64	✓	✓	✓	✓			
Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard Edition SP2、x86	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard Edition SP2、x64	✓	✓	✓	✓			✓
Datacenter エディション							
Microsoft Windows Server 2003, Datacenter Edition SP2、x86	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2003, Datacenter Edition SP2、x64	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2003, Datacenter Edition SP2 for Itanium ベースシステム	✓			✓			✓ ⁶
Microsoft Windows Server 2003 R2, Datacenter Edition、x86	✓	✓					
Microsoft Windows Server 2003 R2, Datacenter Edition、x64	✓	✓					
Microsoft Windows Server 2003 R2, Datacenter Edition SP2、x86	✓	✓		✓			✓ ⁴
Microsoft Windows Server 2003 R2, Datacenter Edition SP2、x64	✓	✓		✓			✓ ^{4, 5}
Enterprise エディション							
Microsoft Windows Server 2003, Enterprise Edition SP2、x86	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2003, Enterprise Edition SP2、x64	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2003, Enterprise Edition SP2 for Itanium ベースシステム	✓			✓			✓ ⁶
Microsoft Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition、x86	✓	✓	✓	✓			
Microsoft Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition、x64	✓	✓	✓	✓			
Microsoft Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition SP2、x86	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition SP2、x64	✓	✓	✓	✓			✓
Web エディション							
Microsoft Windows Server 2003, Web Edition SP2、x86	✓	✓	✓	✓			✓
Microsoft Windows Server 2003 R2, Web Edition、x86	✓	✓					
Microsoft Windows Server 2003 R2, Web Edition、x64	✓	✓					
Microsoft Windows Server 2003 R2, Web Edition SP2、x86	✓	✓		✓			✓
Microsoft Windows Server 2003 R2, Web Edition SP2、x64	✓	✓		✓			✓

- ¹ IPv4 でのみサポートされます。詳しくは、ホワイトペーパー『IPv6 Support in Insight Management』を参照してください。
- ² 移行前に、Windows Server 2003 上に SMP エージェントを手動で展開する必要があります。
- ³ Insight Control 仮想マシン管理のサポートは、これらのオペレーティングシステムには適用されません。
- ⁴ VMware ゲスト OS として Matrix OE によってサポートされていません。
- ⁵ Matrix インフラストラクチャオーケストレーションは、テンプレートベースの VMware ESX プロビジョニング用にこの OS をサポートしていません。
- ⁶ Matrix リカバリ管理および Matrix インフラストラクチャオーケストレーションでは、Integrity ベースシステム上で動作している Microsoft Windows をサポートしません。

表 40 Microsoft Windows Small Business Server オペレーティングシステム

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr	svr prov	virt ¹	
Microsoft Windows Small Business Server 2011							
Microsoft Windows Small Business Server 2011 Standard (初回リリース)	✓		✓				
Microsoft Windows Small Business Server 2011 Essentials (初回リリース)	✓		✓				
Microsoft Windows Small Business Server 2008							
Microsoft Windows Small Business Server 2008 Standard Edition (初回リリース)	✓						
Microsoft Windows Small Business Server 2008 Premium Edition	✓						
Microsoft Windows Small Business Server 2003							
Microsoft Windows Small Business Server 2003 R2, Standard Edition	✓						
Microsoft Windows Small Business Server 2003 R2, Premium Edition	✓						

¹ Insight Control 仮想マシン管理のサポートは、これらのオペレーティングシステムには適用されません。

表 41 Microsoft Windows Vista

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf ¹	pwr	svr prov	virt ²	
Microsoft Windows Vista Business SP2、x86	✓						
Microsoft Windows Vista Business SP2、x64	✓						
Microsoft Windows Vista Enterprise SP2、x86	✓						
Microsoft Windows Vista Enterprise SP2、x64	✓						

¹ Insight Control パフォーマンス管理は、ProLiant WS460c G6 ワークステーションブレードのみで x86 および x64 バージョンの Microsoft Windows Vista Business および Microsoft Windows Vista Enterprise をサポートします。

² Insight Control 仮想マシン管理のサポートは、これらのオペレーティングシステムには適用されません。

表 42 Microsoft Windows 7

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr	srvr prov ¹	virt ²	
Microsoft Windows 7 SP1、Professional および Enterprise、x86	✓						
Microsoft Windows 7 SP1、Professional および Enterprise、x64	✓				✓ ³		

¹ Microsoft は、マルチパス機能が有効な場合、Windows の展開をサポートしません。そのため、Insight Control サーバープロビジョニングで Windows OS Build Plan を展開する前に、マルチパス機能を無効にする必要があります。展開の完了後にマルチパス機能を有効にすることができます。

² Insight Control 仮想マシン管理のサポートは、これらのオペレーティングシステムには適用されません。

³ Microsoft Windows 7 SP1 Professional および Enterprise x64 の展開は、PXE または HP Intelligent Provisioning 1.50 以前で WinPE 3.x Service OS を使用することによってサポートされます。また、ProLiant WS460c Gen8 および Gen9 上でのみサポートされます。Windows 7 Build Plan はデフォルトで PXE ブートします。

表 43 Microsoft Windows 8.1

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr	srvr prov	virt	
Microsoft Windows 8.1、Professional および Enterprise、x64					✓ ¹		

¹ ProLiant WS460c Gen9 Graphics Server Blade でのみサポートされます。

Linux

表 44 Red Hat Enterprise Linux (RHEL)

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr ¹	perf	pwr	srvr prov	virt ²	
Red Hat Enterprise Linux 5							
RHEL 5.3 for x86	✓		✓	✓			✓
RHEL 5.3 for AMD64 および Intel x86-64	✓		✓	✓			✓
RHEL 5.3 for Intel Itanium ³	✓			✓			✓ ⁴
RHEL 5.4 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.4 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.4 for Intel Itanium ³	✓			✓			✓ ⁴
RHEL 5.5 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.5 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.5 for Intel Itanium ³	✓			✓			✓ ⁴
RHEL 5.6 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.6 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.6 for Intel Itanium	✓			✓			✓ ⁴
RHEL 5.7 for x86	✓	✓	✓	✓			✓

表 44 Red Hat Enterprise Linux (RHEL) (続き)

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr ¹	perf	pwr	svr prov	virt ²	
RHEL 5.7 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.7 for Intel Itanium	✓			✓			✓ ⁴
RHEL 5.8 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.8 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.8 for Intel Itanium	✓			✓			✓ ⁴
RHEL 5.9 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.9 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓	✓ ⁵		✓
RHEL 5.9 for Intel Itanium	✓			✓			✓ ⁴
RHEL 5.10 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.10 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓	✓ ⁵		✓
RHEL 5.10 for Intel Itanium	✓			✓			✓ ⁴
RHEL 5.11 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 5.11 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓	✓		✓
Red Hat Enterprise Linux 6							
RHEL 6.0 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 6.0 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 6.1 for x86 ⁶	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 6.1 for AMD64 および Intel x86-64 ⁶	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 6.2 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 6.2 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 6.3 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 6.3 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓	✓ ⁷		✓
RHEL 6.4 for x86	✓	✓	✓	✓			✓ ⁸
RHEL 6.4 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓	✓		✓ ⁸
RHEL 6.5 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 6.5 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓	✓		✓
RHEL 6.6 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 6.6 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓	✓		✓
RHEL 6.7 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
RHEL 6.7 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓	✓		✓
Red Hat Enterprise Linux 7							
RHEL 7 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓	✓		✓

表 44 Red Hat Enterprise Linux (RHEL) (続き)

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr ¹	perf	pwr	svr prov	virt ²	
RHEL 7.1	✓	✓	✓	✓	✓		✓ ⁸
RHEL 7.2	✓	✓	✓	✓	✓		✓

¹ Linux サーバーの移行に関する注意事項については、「[Insight Control サーバー移行のハードウェア要件および注意事項](#)」(88 ページ)を参照してください。

² Insight Control 仮想マシン管理のサポートは、これらのオペレーティングシステムには適用されません。

³ Integrity Linux SMX Provider 3.0 は、Integrity Linux オペレーティングシステムの必須 WBEM Provider です。SMX 3.0 には、RHEL 5 以降が必要です。

⁴ Matrix インフラストラクチャオーケストレーションおよび Matrix リカバリ管理では、Integrity システム上で実行されている任意の Linux オペレーティングシステムはサポートしません。

⁵ SAN マルチバスデバイスを構成するには、kernel_arguments カスタム属性で、**mpath** が必要です。

⁶ EVA ストレージデバイス上のシンプロビジョニングされたブート LUN に Red Hat Linux 6.1 をデプロイメントすることは、Insight Management ではサポートされていません。シンプロビジョニングされたデータ LUN はサポートされます。

⁷ HP ProLiant ML10、SL2500 Gen8、または Intel EP v2 Xeon プロセッサで構成された Gen8 サーバーでは、Insight Control サーバープロビジョニングは RHEL 6.3 をサポートしません。

⁸ Matrix インフラストラクチャオーケストレーション、Matrix リカバリ管理、Matrix OE 論理サーバー管理、および Capacity Advisor のみによってサポートされます。

注記: RHEL を移行する場合、HP Intelligent Provisioning 2.40 を使用して Gen9 ターゲットサーバーへの Linux 移行を開始する前に、次の RPM パッケージをインストールします。

- glibc (32 ビット)
- ncurses-libs (32 ビット)

表 45 SUSE Linux Enterprise Server (SLES)

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr ^{1,2}	perf	pwr	svr prov	virt ³	
SUSE Linux Enterprise Server 10							
SLES 10 SP3 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
SLES 10 SP3 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓			✓
SLES 10 SP3 for Intel Itanium ⁴	✓			✓			✓ ⁵
SLES 10 SP4 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
SLES 10 SP4 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓			✓
SLES 10 SP4 for Intel Itanium ⁴	✓			✓			✓ ⁵
SUSE Linux Enterprise Server 11							
SLES 11 SP1 for x86 ⁶	✓	✓	✓	✓			✓
SLES 11 SP1 for AMD64 および Intel x86-64 ⁶	✓	✓	✓	✓			✓
SLES 11 SP1 for Intel Itanium ^{4,6}	✓			✓			✓ ⁵
SLES 11 SP2 for x86	✓	✓ ⁷	✓	✓			✓
SLES 11 SP2 for AMD64 および Intel x86-64 ⁸	✓	✓ ⁷	✓	✓	✓ ^{7,9}		✓
SLES 11 SP2 for Intel Itanium ⁴	✓			✓			✓ ⁵

表 45 SUSE Linux Enterprise Server (SLES) (続き)

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr ^{1, 2}	perf	pwr	svr prov	virt ³	
SLES 11 SP3 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
SLES 11 SP3 for AMD64 および Intel x86-64 ⁶	✓	✓ ¹⁰	✓	✓	✓ ^{9, 11}		✓
SLES 11 SP3 for Intel Itanium ⁴	✓			✓			✓ ⁵
SLES 11 SP4 for x86	✓	✓	✓	✓			✓
SLES 11 SP4 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓	✓		✓
SLES 12 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓ ¹²	✓	✓	✓		✓ ¹³
SLES 12 SP1 for AMD64 および Intel x86-64	✓	✓	✓	✓	✓		✓

¹ Linux サーバーの移行に関する注意事項については、「[Insight Control サーバー移行のハードウェア要件および注意事項](#)」(88 ページ)を参照してください。

² Microsoft Windows Server 2012 Hyper-V では、SLES 11 SP1 以前はサポートされません。

³ Insight Control 仮想マシン管理のサポートは、これらのオペレーティングシステムには適用されません。

⁴ Integrity Linux SMX Provider 3.0 は、Integrity Linux オペレーティングシステムの必須 WBEM Provider です。SMX 3.0 には、SLES 10 または 11 が必要です。

⁵ Matrix リカバリ管理は、Integrity システム上で稼動する Linux オペレーティングシステムではサポートされません。

⁶ SLES 11 SP1、SP2、および SP3 で G7 (AMD Opteron 6200 シリーズ搭載モデル) および Gen8 サーバーをサポートするには、errata が必要です。

⁷ SLES 11 SP2 が ML310e Gen8 v2 および DL320e Gen8 サーバーをサポートするには、KISO errata が必要です。詳しくは、『HP Insight Control リリースノート』を参照してください。

⁸ SLES 11 SP2 は、複数のバスを持つサーバーの重複ドライブを表示します。

⁹ SAN マルチバスデバイスを構成するには、『HPE Insight Control サーバープロビジョニングオンラインヘルプ』の特別な考慮事項のセクションを参照してください。

¹⁰ iSCSI ディスクで構成されているターゲットサーバーに SLES 11 SP3 x64 を移行する前に、ソースサーバー上でオープン iSCSI パッケージをインストールする必要があります。

¹¹ SLES 11 SP3 では、Gen9 サーバーに展開するときに KISO errata が必要です。

¹² EFI モードでターゲットサーバーに SLES 12 を移行する前に、ソースサーバー上で grub2-efi パッケージをインストールする必要があります。

¹³ SLES 12 は、HP Server Automation 10.10、10.20、10.21、または Insight Control サーバープロビジョニングを使用してプロビジョニングすることはできません。OS プロビジョニングは手動で実行できます。

注記: SLES を移行する場合、HP Intelligent Provisioning 2.40 を使用して Gen9 ターゲットサーバーへの Linux 移行を開始する前に、次の RPM パッケージをインストールします。

- glibc (32 ビット)
- libncurses (32 ビット)

表 46 Linux の他のディストリビューション

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr	svr prov	virt	
Debian							
Debian 7.2	✓						
Ubuntu							
Ubuntu 10.04 LTS	✓						

表 46 Linux の他のディストリビューション (続き)

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr	svr prov	virt	
Ubuntu 12.04 LTS	✓						
Ubuntu 12.04.3	✓						
Ubuntu 13.10	✓						
Ubuntu 14.04	✓				✓ ¹		
Oracle Enterprise Linux							
Oracle Enterprise Linux 5.6、x86	✓						
Oracle Enterprise Linux 5.6 for AMD64 および Intel、x86-64	✓						
Oracle Enterprise Linux 5.7、x86	✓						
Oracle Enterprise Linux 5.7 for AMD64 および Intel、x86-64	✓						
Oracle Enterprise Linux 5.8、x86	✓						
Oracle Enterprise Linux 5.8 for AMD64 および Intel、x86-64	✓						
Oracle Enterprise Linux 6.2	✓						

¹ Ubuntu 14.04 展開のコントローラーに関する制限事項については、[HPE Servers Support and Certification Matrices](#) (英語) を参照してください

HP-UX、HP NonStop、および HP OpenVMS

表 47 (60 ページ) では、HP Integrity サーバー、HP 9000 サーバー、および HP NonStop サーバーをサポートする Insight Management 製品ごとに、管理対象システムでサポートされる HP オペレーティングシステムを示します。

表 47 HP オペレーティングシステム : HP-UX、NonStop、および OpenVMS

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr ¹	svr prov	virt	
HP-UX							
HP-UX 11i v2 (11.23 IA のみ)	✓			✓			✓ ²
HP-UX 11i v2 Update 2 (11.23 IA/PA)	✓			✓			✓ ²
HP-UX 11i v3 (11.31) ³	✓			✓			✓ ⁴
HP-UX 11i v3 (11.31) 1209 ³	✓			✓			✓ ⁴
HP-UX 11i v3 (11.31) 1303	✓			✓			✓ ⁴
HP-UX 11i v3 (11.31) 1403 ³	✓			✓			✓ ⁴
HP-UX 11i v3 (11.31) 1503 ³	✓			✓			✓ ⁴
HP-UX 11i v3 (11.31) 1603	✓			✓			✓ ⁴
HP NonStop							
HP NonStop G シリーズ、G06.15 以降	✓						
HP NonStop H シリーズ、H06.04 以降	✓			✓			

表 47 HP オペレーティングシステム : HP-UX、NonStop、および OpenVMS (続き)

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr ¹	svr prov	virt	
HP NonStop J シリーズ、J06.03 以降	✓			✓ ⁵			
HP OpenVMS							
HP OpenVMS 8.3 1H1 ⁶	✓			✓			✓ ⁷
HP OpenVMS 8.4	✓			✓			✓ ⁷

¹ Insight Control 電力管理用のライセンスは、Integrity サーバー専用の OpenVMS バージョン 8.4 ベースオペレーティング環境 (BOE) を介して提供されます。

² Matrix リカバリ管理およびインフラストラクチャオーケストレーションは、この HP-UX オペレーティングシステムではサポートされません。

³ Capacity Advisor は VSP 6.1 および 6.2 でこの OS を制限付きでサポートします (『HP Matrix Operating Environment リリースノート』を参照)。

⁴ Matrix リカバリ管理は、HP-UX オペレーティングシステムではサポートされません。

⁵ パワーレギュレーターは、J06.14 以降でサポートされます。

⁶ Integrity VM Manager については、HP OpenVMS 8.3 でのテストは行われていません。

⁷ Matrix OE ビジュアル化ソフトウェア、Capacity Advisor Consolidation ソフトウェア、および Global Workload Manager ソフトウェアのみが OpenVMS をサポートします。

Superdome 2 は、P2V または V2V 移行の仮想マシンホスト/移行先としてサポートされます。さらに、V2P および V2V 移行は、Superdome 2 からサポートされます。

物理サーバーと仮想サーバー間のワークロードを移行する方法については、<http://www.hpe.com/info/hpux-hpvm-docs> にあるホワイトペーパー『How to migrate HP-UX workloads between physical and virtual servers easily』を参照してください。HP-UX Portable Image Tool for Integrity fluid cross-technology moves の使用方法については、<http://www.hpe.com/info/proliantgen9eufi-wp> (英語) を参照してください。

AIX、Solaris、および NetWare

表 48 IBM AIX

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr	svr prov	virt	
IBM AIX バージョン 5.3	✓						
IBM AIX バージョン 6.1	✓						

表 49 Oracle Solaris

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr	svr prov	virt	
Oracle Solaris 8 Intel Platform	✓						
Oracle Solaris 9 Sparc	✓						
Oracle Solaris 9 Intel Platform	✓						
Oracle Solaris 10 Sparc	✓						

表 49 Oracle Solaris (続き)

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr	svr prov	virt	
Oracle Solaris 10 Intel Platform	✓						
Oracle Solaris 11 Intel Platform	✓						

表 50 Novell NetWare

OS バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf	pwr	svr prov	virt	
Novell NetWare 6.5	✓						

サポートされるハイパーバイザーホストおよび VM ゲスト

表 51 (63 ページ) に、管理対象システムでサポートされるハイパーバイザーホストおよび VM ゲストを示します。列にある h (ホスト) の記号は、VM ホストとして実行されるこのハイパーバイザーを、対応するアプリケーションが管理していることを示しています。同様に、g (ゲスト) の記号は、このハイパーバイザーの下で実行されている VM ゲストを、対応するアプリケーションがサポートしていることを示しています。

Insight Control サーバープロビジョニングの場合、h (ホスト) の記号はサーバープロビジョニングでそのハイパーバイザーを配備できることを示し、g (ゲスト) の記号はサーバープロビジョニングでその特定のハイパーバイザー上の VM ゲストに配備できることを示しています。サーバーごとの具体的なハイパーバイザーサポートを確認するには、認証とサポートの Web サイト <http://www.hpe.com/info/server-supportmatrix> (英語) を参照してください。任意のターゲットサーバーの最小メモリ要件は 2 GB です。

Integrity VM Manager は、表 51 (63 ページ) で示されている Integrity VM ハイパーバイザーをサポートします。

Matrix リカバリ管理による DR 保護では、ハイパーバイザーホストはサポートされません。

Insight Control 仮想マシン管理では、VMware ESX または ESXi のダウンロード版や有効なライセンスがない VMware ESX/ESXi サーバーはサポートされません。

注記: Matrix 7.5 は、KVM クラウドを管理する ProLiant のお客様に対し、CloudSystem 8.0、8.1、8.1.2 のリソースプールから KVM 仮想マシンを作成して管理することができます (HP CloudSystem Foundation または次世代の HP CloudSystem Enterprise のいずれかを使用)。Matrix 7.5 は、HP Matrix KVM Private Cloud リソースプールの使用による KVM 仮想マシンの作成もサポートしています。ハイパーバイザーホストと、その環境に必要な VM ゲストの詳細は、個別に説明があります。

- HP CloudSystem Foundation または次世代の HP CloudSystem Enterprise については、<http://www.hpe.com/info/CloudSystem/docs> または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual にあるドキュメントを参照してください。
- HP Matrix KVM Private Cloud については、<http://www.hpe.com/info/matrixoe/docs> または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual にある『HP Insight Management 7.3 サポートマトリックス』を参照してください。

表 51 ハイパーバイザーホストおよび VM ゲスト

ハイパーバイザー	SIM	Insight Control					Matrix OE ³
		migr	perf	pwr ¹	svr prov ²	virt	
Microsoft							
Microsoft Windows Server 2012 R2 Hyper-V	h/g	g	h/g	h/g	h/g ⁶	h/g ⁶	h/g ^{4,6}
Microsoft Windows Server 2012 Hyper-V	h/g	g	h/g	h/g	h/g ⁶	h/g	h/g ⁴
Microsoft Windows Server 2008 SP2 Hyper-V ⁵	h/g	g	g	h/g	h/g	h/g	h/g ⁴
Microsoft Windows Server 2008 R2 Hyper-V ⁵	h/g	g	h/g	h/g		h/g	h/g ⁴
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Hyper-V ⁵	h/g	g	h/g	h/g	h/g	h/g	h/g ⁴
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Server Core Hyper-V	h/g	g				h/g	
Microsoft Hyper-V Server 2012 R2	h/g	g ⁶	h/g	h/g	g ⁶	h/g ⁶	h/g ^{4,6}
Microsoft Hyper-V Server 2012	h/g	g	h/g	h/g	g ⁶	h/g	h/g ⁴
Microsoft Hyper-V Server 2008 R2 ⁵	h/g	g	h/g	h/g		h/g	⁴ h/g
Microsoft Hyper-V Server 2008 R2 SP1 ⁵	h/g	g	h/g	h/g		h/g	h/g ⁴
Microsoft Hyper-V Server 2008 SP2 ⁵	h/g	g	g	h/g		h/g	h/g ⁴
VMware⁷							
VMware ESX 4.0 Update 4	h/g	g	h/g	h/g		h/g	h/g
VMware ESX 4.1 Update 2	h/g	g	h/g	h/g		h/g	h/g
VMware ESX 4.1 Update 3	h/g	g	h/g	h/g		h/g	h/g
VMware ESXi 4.0 Update 3	h/g	g	h/g			h/g	h/g
VMware ESXi 4.0 Update 4	h/g	g	h/g			h/g	h/g
VMware ESXi 4.1 Update 2	h/g	g	h/g			h/g	h/g
VMware ESXi 4.1 Update 3	h/g	g	h/g			h/g	h/g
VMware ESXi 5.0 Update 2	h/g	g	h/g		h/g	h/g	h ⁸ /g
VMware ESXi 5.0 Update 3	h/g	g	h/g		h/g	h/g	h ⁸ /g
VMware vSphere (ESXi) 5.1 Update 1	h/g	g	h/g		h/g	h/g	h ⁸ /g
VMware vSphere (ESXi) 5.1 Update 2	h/g	g	h/g		h/g	h/g	h ⁸ /g
VMware vSphere (ESXi) 5.1 Update 3	h/g	h/g	h/g		h/g	h/g	h ⁸ /g
VMware vSphere (ESXi) 5.5	h/g	g	h/g		h/g	h/g	h ⁸ /g
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 1	h/g	g	h/g		h/g	h/g	h ⁸ /g
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 2	h/g	h/g	h/g		h/g	h/g	h ⁸ /g
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 3a	h/g	h/g	h/g	h/g	h/g	h/g	h ⁸ /g ⁹
VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 3b	h/g	h/g	h/g	h/g	h/g	h/g	h ⁸ /g ⁹
VMware vSphere (ESXi) 6.0	h/g	h/g	h/g		h/g	h/g	h ¹⁰ /g ¹¹

表 51 ハイパーバイザーホストおよび VM ゲスト (続き)

ハイパーバイザー	SIM	Insight Control					Matrix OE ³
		migr	perf	pwr ¹	svr prov ²	virt	
VMware vSphere (ESXi) 6.0 Update 1a	h/g	h/g	h/g	h/g	h/g	h/g	h ¹⁰ /g ⁹
VMware vSphere (ESXi) 6.0 Update 1b	h/g	h/g	h/g	h/g	h/g	h/g	h ¹⁰ /g ⁹
VMware vSphere (ESXi) 6.0 Update 2	h/g	h/g	h/g	h/g	h/g	h/g	h ¹⁰ /g ₉
Integrity VM							
Integrity VM (ゲストはサポートされる Integrity Microsoft Windows (Itanium) OS を実行)	h/g			h/g			
Integrity VM (ゲストはサポートされる Integrity Linux (Itanium) OS を実行)	h/g			h/g			
Integrity VM (ゲストはサポートされる HP-UX OS を実行) ¹²	h/g			h/g			h/g ¹³
Xen							
RHEL 5.4、x86 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
RHEL 5.4、x64 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
RHEL 5.5、x86 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
RHEL 5.5、x64 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
RHEL 5.6、x86 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
RHEL 5.6、x64 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
RHEL 5.7、x86 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
RHEL 5.7、x64 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
RHEL 5.8、x86 上の Xen	h/g					h/g	
RHEL 5.8、x64 上の Xen	h/g					h/g	
SLES 10 SP3、x86 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
SLES 10 SP3、x64 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
SLES 10 SP4、x86 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
SLES 10 SP4、x64 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
SLES 11 SP1、x86 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
SLES 11 SP1、x64 上の Xen	h/g			h/g		h/g	
SLES 11 SP2、x86 上の Xen	h/g					h/g	
SLES 11 SP2、x64 上の Xen	h/g					h/g	
KVM							
RHEL 5.5 上の KVM ¹⁴	h/g						
RHEL 5.6 上の KVM ¹⁴	h/g						
RHEL 5.7 上の KVM ¹⁴	h/g						
RHEL 5.8 上の KVM	h/g						

表 51 ハイパーバイザーホストおよび VM ゲスト (続き)

ハイパーバイザー	SIM	Insight Control					Matrix OE ³
		migr	perf	pwr ¹	svr prov ²	virt	
RHEL 5.9 上の KVM	h/g			h/g			
RHEL 5.10 上の KVM	h/g			h/g			
RHEL 6.1 上の KVM ¹⁴	h/g						
RHEL 6.2 上の KVM	h/g						
RHEL 6.3 上の KVM	h/g						
RHEL 6.4 上の KVM	h/g			h/g	h/g		
RHEL 6.5 上の KVM	h/g			h/g	h/g		
RHEL 6.6 上の KVM	h/g			h/g	h/g		
RHEL 6.7 上の KVM	h/g			h/g	h/g		
RHEL 7 上の KVM	h/g			h/g	h/g		
RHEL 7.1 上の KVM	h/g			h/g	h/g		
RHEL 7.2 上の KVM	h/g			h/g	h/g		
SLES 11 SP2 上の KVM	h/g						

¹ この列のサポートについての記載は、DCPC のシャットダウン動作にのみ適用されます。

² Insight Control サーバープロビジョニングでは、Linux および Windows OS に対応した VM ゲスト配備がサポートされます。ただし、Hyper-V VM ホストへの Linux VM ゲストの配備はサポートされません。

³ Matrix リカバリ管理は、ハイパーバイザーホストのフェイルオーバーをサポートしていません。

Matrix リカバリ管理は、CSV 上で、VMware ESX VM ゲスト、スタンドアロンの Hyper-V VM ゲスト、およびクラスター化された Microsoft Hyper-V VM ゲストのみをサポートします。Hyper-V 2008 SP2 はサポートしません。

⁴ Matrix インフラストラクチャオーケストレーションは、Hyper-V への Linux VM のプロビジョニングをサポートしますが、VM を個別設定することはありません。プロビジョニングの後で、Linux VM を個別設定する必要があります。**Hyper-V での Linux VM の Matrix インフラストラクチャオーケストレーションプロビジョニングサポートの有効化、およびスキッピング自動化 OS カスタマイズ**については、『HP Matrix Operating Environment 7.5リリースノート』を参照してください。

⁵ このハイパーバイザーは、Microsoft 社の Web サイト <http://support.microsoft.com/kb/2744129> からダウンロードしたパッチを適用することを条件として、Windows 2012 Standard Edition および Datacenter Edition をゲストとしてサポートします。

⁶ 論理サーバー管理、Matrix OE リカバリ管理、および Insight Control 仮想マシン管理での Insight Control サーバープロビジョニング、Insight Control サーバー移行、SIM、Matrix インフラストラクチャオーケストレーション、Matrix OE ビジュアル化では、第 1 世代および第 2 世代の VM がサポートされます。

⁷ UEFI モードでの任意のバージョンの ESXi をインストールするには、最適化モードを有効にする必要があります。最適化モードを無効にした状態でのインストールはサポートされていません。

⁸ Matrix インフラストラクチャオーケストレーションの場合は、Insight Control サーバープロビジョニングおよび Operations Orchestration ワークフローのステートレスの自動展開方法または 7.3 Update 2 サポートで、完全な自動化が可能です。お客様は、手動でハイパーバイザーをインストールおよび構成（または、Insight Control サーバープロビジョニングと、7.3 Update 1 で追加された拡張サーバーカスタマイズ機能を使用）して、vCenter および Insight Control の仮想マシン管理にハイパーバイザーを登録することもできます。

⁹ Capacity Advisor、Matrix リカバリ管理、Matrix OE 論理サーバー管理、および Matrix インフラストラクチャオーケストレーションのみによってサポートされます。

¹⁰ Matrix インフラストラクチャオーケストレーションでは、ステートレスの自動展開方法で完全な自動化が可能です。ハイパーバイザーを手動でインストールして構成することもできます。

¹¹ vSphere 6.0 は 5.5 と同じ機能セットでサポートされます。新しく 6.0 で導入された機能は、明示的にリストされている場合にのみサポートされます。vSphere 6.0 は、バージョン 10 以降の VM を必要とする、次の新しいゲストオペレーティングシステムをサポートします。

- Microsoft Windows Server 2016 (64 ビット)

- Microsoft Windows 10 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット)

¹² Integrity/HP-UX のさまざまなテクノロジーを使った論理サーバーの操作をサポートするには、Integrity HP VM B.06.30.05 が必要です。

- 詳細は、<http://www.hpe.com/info/hpux-hpvm-docs> にある HP-UX vPars and Integrity VM V6.3.5 リリースノートを参照してください。
- HP Integrity VM バージョン 6.3 共有ゲストを含む Matrix インフラストラクチャオーケストレーションサービスを展開するには、パッチ PHSS_43888 が必要です。

以上のパッチは、<http://www.hpe.com/info/hpesc> で入手できます。

¹³ ソフトウェアの要件と制限事項については、表 52 (66 ページ) を参照してください。

¹⁴ CMS のみにあるホストまたはゲストの検出または関連付けに使用します。

HP Matrix インフラストラクチャオーケストレーションによって、ESX データセンターの VMware vDS (vNetwork Distributed Switch) 仮想スイッチを制限なしで使用できます。詳しくは、『HP Matrix Operating Environment インフラストラクチャオーケストレーションユーザーガイド』を参照してください。

表 52 (66 ページ) に、サポートされる HP-UX OS を実行する Integrity 仮想マシン (VM) ホストの Matrix OE ソフトウェア要件と制限を示します。詳しくは、次の HP Integrity Virtual Machines のドキュメントを参照してください。

<http://www.hpe.com/info/virtualization-manuals>

表 52 HP-UX で稼動する Integrity VM ホストの Matrix OE ソフトウェア要件と制限

ソフトウェア要件
HP-UX 11i v3 1603、HPVM 6.3.5 を含む
HP-UX 11i v3 1503、HPVM 6.3.5 を含む
HP-UX 11i v3 1403、HPVM 6.3 を含む
11i v3 VM ホスト :
• PHSS_44272 1.0 HPVM B.06.30 CORE パッチ
• PHSS_44273 1.0 HPVM B.06.30 AVIO-HVSD パッチ
• PHSS_44274 1.0 HPVM B.06.30 AVIO-HSSN パッチ
11i v3 VM ゲスト :
• PHSS_43884 1.0 HPVM B.06.30 AVIO-IGSSN パッチ
注記: このパッチは、HPVM 6.3 バージョンのお客様に必要です。 このパッチは、HPVM B.06.2 のお客様には不要です。
• PHSS_44117 1.0 HPVM B.06.30 vmGuestLib パッチ
• PHSS_44275 1.0 HPVM B.06.30 AVIO-GVSD パッチ
HP-UX 11i v3 1303、HPVM 6.2 を含む

注記: 表 52 (66 ページ) に記載されているすべてのソフトウェアの要件には、以下の制限事項が適用されます。

- Matrix リカバリ管理は Integrity Virtual Machines をサポートしません。
- Matrix OE 論理サーバー機能は、HP-UX OS のみで実行する Integrity VM ゲストでサポートされています。
- Matrix インフラストラクチャオーケストレーションは、HP-UX 11v3 ゲストのみをサポートします。

HPは、ハイパーバイザーを提供する他社が用意するサポートマトリックスを参照して、サポートされるオペレーティングシステムの最新のリストを確認することをおすすめします。

表 53 (67 ページ) は、管理対象システムでサポートされる Microsoft System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) および VMware vCenter Server のバージョンです。SCVMM によって Hyper-V 仮想マシンを移行できます。また、VMware vCenter によって VMware 仮想マシンを移行できます。

Insight Control 仮想マシン管理では、ESX ホストおよび Hyper-V ホストを管理する際に完全に機能するようにするために、それぞれ vCenter Server および SCVMM サーバーに登録する必要があります。同様に、Matrix OE では、ホストおよびゲストを全面的に管理し、新しいゲストを展開するために、ホストを Insight Control 仮想マシン管理（および、さらには vCenter Server / SCVMM）に登録する必要があります。展開/管理に使用する Insight Control 仮想マシン管理ベースの Hyper-V テンプレートの場合、SCVMM 登録は必要ありません。

表 53 Virtualization Management Environment ソフトウェア

バージョン	SIM	Insight Control					Matrix OE
		migr	perf ¹	pwr	svr prov	virt	
Microsoft							
Microsoft System Center Virtual Machine Manager 2008 R2 SP1	✓					✓ ²	✓ ³
Microsoft System Center Virtual Machine Manager 2012	✓					✓ ²	✓ ³
Microsoft System Center Virtual Machine Manager 2012 SP1	✓					✓ ²	✓ ³
Microsoft System Center Virtual Machine Manager 2012 R2	✓					✓ ²	✓ ³
VMware							
VMware vCenter Server v4.1 Update 2	✓	✓				✓	✓
VMware vCenter Server v4.1 Update 3	✓	✓				✓	✓
VMware vCenter Server 5.0 Update 1b	✓	✓				✓	✓
VMware vCenter Server 5.0 Update 2	✓	✓				✓	✓
VMware vCenter Server 5.0 Update 3	✓	✓				✓	✓
VMware vCenter Server 5.1b	✓	✓			✓	✓	✓
VMware vCenter Server 5.1 Update 1	✓	✓			✓	✓	✓
VMware vCenter Server 5.1 Update 2	✓	✓			✓	✓	✓
VMware vCenter Server 5.1 Update 3	✓	✓			✓	✓	
VMware vCenter Server 5.5	✓	✓		✓	✓	✓	✓
VMware vCenter Server 5.5 Update 1	✓	✓			✓	✓	✓
VMware vCenter Server 5.5 Update 2	✓	✓			✓	✓	✓
VMware vCenter Server 5.5 Update 3a	✓	✓			✓	✓	✓ ⁴
VMware vCenter Server 5.5 Update 3b	✓	✓			✓	✓	✓ ⁴
VMware vCenter Server 6.0	✓	✓			✓	✓	✓ ⁵
VMware vCenter Server 6.0 Update 1a	✓	✓			✓	✓	✓ ⁴
VMware vCenter Server 6.0 Update 1b	✓	✓			✓	✓	✓ ⁴
VMware vCenter Server 6.0 Update 2	✓	✓			✓	✓	✓ ⁴

- ¹ IC perf サポートは、このソフトウェアには適用されません。
- ² Insight Control 仮想マシン管理では、Microsoft System Center Virtual Machine Manager を通じてテンプレートの展開のみをサポートしています。
- ³ Matrix Operating Environment は、Microsoft System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) Hyper-V VM テンプレートを使用した VM プロビジョニングをサポートします。詳しくは、『HP Matrix Operating Environment インフラストラクチャオーケストレーションユーザーガイド』を参照してください。
- ⁴ Capacity Advisor、Matrix リカバリ管理、Matrix OE 論理サーバー管理、および Matrix インフラストラクチャオーケストレーションのみによってサポートされます。
- ⁵ vSphere 6.0 は 5.5 と同じ機能セットでサポートされます。新しく 6.0 で導入された機能は、明示的にリストされている場合のみサポートされます。vSphere 6.0 は、バージョン 10 以降の VM を必要とする、次の新しいゲストオペレーティングシステムをサポートします。
- Microsoft Windows Server 2016 (64 ビット)
 - Microsoft Windows 10 (64 ビット)
 - Microsoft Windows 10 (32 ビット)

メモリ/CPU ホットプラグ機能の情報

一部の仮想化テクノロジーは、VM を再起動することなくメモリおよび CPU の属性を変更する機能をサポートします。たとえば、仮想マシン上で HotAddMemory および HotPlugCPU プロパティを有効化できます。仮想化テクノロジーによってサポートされる場合、これらの機能は Matrix インフラストラクチャオーケストレーションまたは Matrix OE ビジュアル化によって作成される VM でデフォルトで有効になります。このような変更をゲスト OS に認識させるために必要な手順は、使用するオペレーティングシステムとハイパーバイザーによって異なります。この操作の GUI、CLI、および API 形式は、ハイパーバイザーが再起動を要求する場合に要求をキャンセルするオプションを提供します。GUI では、再起動を回避するためのチェックボックスがデフォルトで選択されています。これを解除すると再起動を許可できます。API および CLI は、デフォルトで再起動を引き続き実行します。ただし、管理者は、再起動を防止する新しいオプションを指定できます。詳しくは、<http://www.hpe.com/info/matrixoe/docs> にある『HP Matrix Operating Environment インフラストラクチャオーケストレーションユーザーガイド』を参照してください。

メモリ/CPU のホットプラグ機能に関する VMware vCenter の制限事項

VMware vCenter GUI では、ユーザーは、電源オンの状態にある ESXi VM に対して、メモリ/CPU のホットプラグ機能を有効にすることができません。ただし、Insight Control 仮想マシン管理では、VM の電源状態に関係なく、メモリ/CPU のホットプラグ機能を有効または無効にできます。

http://partnerweb.vmware.com/comp_guide2/pdf/VMware_GOS_Compatibility_Guide.pdf で入手できる VMware ドキュメント **Guest OS Compatibility Guide** で、さまざまな VM ゲストオペレーティングシステムの Hot Add Memory と Hot Add vCPU のサポートについて詳しく説明しています。

7 管理対象システムのエージェントおよびプロバイダー

Matrix OE にバンドルされているエージェントおよびプロバイダー

表 54 (69 ページ)に、Matrix OE とバンドルされているエージェントおよびプロバイダーを示します。

注:

- OpenVMS 8.3-1H1 用のエージェントとプロバイダーは、Web リリースで入手できます。OpenVMS 8.4 用のエージェントとプロバイダーは、OpenVMS V8.4 Operating Environment DVD の一環として提供されます。詳しくは、「[OpenVMS 管理対象システム用のエージェントおよびプロバイダー](#)」(70 ページ)を参照してください。
- Integrity Superdome 2 システムを正しく検出するには、仮想パーティションバンドルをインストールする必要があります。

表 54 Matrix OE にバンドルされているエージェントおよびプロバイダー

エージェント	オペレーティングシステム	アーキテクチャー	Matrix OE 7.5.x バージョン
HP-UX エージェントおよびプロバイダー			
Application Discovery エージェント	HP-UX	HP-UX 11i v2 および v3	7.5.1
gWLM エージェント	HP-UX	HP-UX 11i v2 および v3	7.5.1
HPVM Guest Lib and Provider 6.2	HP-UX	HP-UX 11i v3	B.06.20
HPVM Guest Lib and Provider 6.3	HP-UX	HP-UX 11i v3	B.06.30
JRE	HP-UX	HP-UX 11i v2 および v3	1.7
nPartition Provider	HP-UX	HP-UX 11i v1	B.12.02.07.03
nPartition Provider	HP-UX	HP-UX 11i v2	B.23.01.07.05
nPartition Provider	HP-UX	HP-UX 11i v3	B.31.02.04
Utilization Provider	HP-UX	HP-UX 11i v2 および v3	A.01.08.10.00
vPar Provider	HP-UX	HP-UX 11i v1	B.11.11.01.06
vPar Provider	HP-UX	HP-UX 11i v2	B.11.23.01.07
vPar Provider	HP-UX	HP-UX 11i v3	B.11.31.01.06
vseassist	HP-UX	HP-UX 11i v2 および v3	7.5.1
WBEM Services	HP-UX	HP-UX 11i v1	A.02.07.06
WBEM Services	HP-UX	HP-UX 11i v2	A.02.09.14
WBEM Services	HP-UX	HP-UX 11i 3	A.02.13.03
Microsoft Windows エージェントおよびプロバイダー			
HPVM Provider	Microsoft Windows	HP Integrity	4.1.0.2

表 54 Matrix OE にバンドルされているエージェントおよびプロバイダー (続き)

エージェント	オペレーティングシステム	アーキテクチャー	Matrix OE 7.5.x バージョン
nPartition Commands	Microsoft Windows	HP Integrity	2.1.3.1
nPartition Provider	Microsoft Windows	HP Integrity	2.1.3.2
Utilization Provider ¹	Microsoft Windows	HP Integrity	1.8.5.2
vseassist	Microsoft Windows	HP ProLiant および非 HP x86 HP Integrity	7.5.1
WMI Mapper	Microsoft Windows	HP Integrity	7.5.1
Linux エージェントおよびプロバイダー			
Application Discovery プロバイダー	Linux	Red Hat Enterprise Linux 5 (HP Integrity)	7.1.0
Application Discovery プロバイダー	Linux	SUSE Linux Enterprise Server 10 (HP Integrity)	7.1.0
HPVM Guest kit and Provider	Linux	Red Hat Enterprise Linux 5 (HP Integrity)	4.0.1-2
HPVM Guest kit and Provider	Linux	SUSE Linux Enterprise Server 10 (HP Integrity)	4.1.0-1
nPartition Commands	Linux	Red Hat Enterprise Linux 5 (HP Integrity)	1.03.00-1
nPartition Commands	Linux	SUSE Linux Enterprise Server 10 (HP Integrity)	1.03.00-1
nPartition Provider	Linux	Red Hat Enterprise Linux 5 (HP Integrity)	1.07.01-1
nPartition Provider	Linux	SUSE Linux Enterprise Server 10 (HP Integrity)	1.07.01-1
vseassist	Linux	Red Hat Enterprise Linux 5 (HP ProLiant および非 HP x86) Red Hat Enterprise Linux 6 (HP ProLiant および非 HP x86) SUSE Linux Enterprise Server 10 (HP ProLiant および非 HP x86) SUSE Linux Enterprise Server 11 (HP ProLiant および非 HP x86)	7.5.1

¹ Microsoft Windows 用の Utilization Provider は、HP-UX CMS から管理する Integrity Windows 管理対象システムにのみインストールされます。Windows CMS 上での Windows 管理対象システムのデータ収集は、すべてエージェントレス方式で行われます。

OpenVMS 管理対象システム用のエージェントおよびプロバイダー

Matrix OE は、Microsoft Windows CMS から管理される HP OpenVMS 8.3-1H1 および 8.4 システムでの Insight Virtualization Manager、Capacity Advisor、および Global Workload Manager の使用をサポートします。操作には、次のエージェントとプロバイダーが必要です。HP の Web サイトからダウンロードできます。

注記: OpenVMS エージェントとプロバイダーは Matrix Operating Environment とはバンドルされていません。また、エージェントのディストリビューターが管理対象システムにインストールすることはありません。Matrix Operating Environment を使用して Microsoft Windows CMS から OpenVMS システムを管理する場合は、これらのエージェントとプロバイダーをダウンロードしてインストールする必要があります。

- **OpenVMS WBEM Services と WBEM Provider**

Virtualization Manager および Capacity Advisor を使用するには、HP WBEM Services および HP WBEM Provider をインストールして、OpenVMS システムからデータを収集する必要があります。

HP WBEM Services および HP WBEM Provider のサポートされるバージョンについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/info/integrity-sowtware> (英語)

これらの WBEM キットと関連ドキュメントは、次の Web サイトにある **[HP Web-Based Enterprise Management (WBEM) services]** リンクからダウンロードできます。

<http://www.hp.com/products/openvms/systemmanagement>

サポートされる HP Integrity サーバーの一覧は、**OpenVMS WBEM Provider リリースノート**に掲載されています。

- **OpenVMS gWLM エージェント**

Global Workload Manager を使用するには、OpenVMS gWLM エージェント 4.1 を OpenVMS 8.3-1H1 および 8.4 管理対象システムにインストールする必要があります。OpenVMS gWLM エージェント 4.1 キットおよびドキュメントは、次の Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.hpe.com/info/integrity-gwlm> (英語)

8 サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトを訪問してください。
<http://www.hpe.com/assistance>
- ドキュメントやサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトを訪問してください。
<http://www.hpe.com/support/hpesc>

収集する情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当している場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、およびシリアル番号
- オペレーティングシステムの名前およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートとログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品には、製品インターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムがあります。ご使用の製品のドキュメントを確認して推奨されるソフトウェアのアップデート方法を確認してください。
 - 製品アップデートをダウンロードするには、次のいずれかにアクセスします。
 - Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[Get connected with updates]** ページ：
<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>
 - Software Depot の Web サイト：
<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>
 - お客様の利用権限を確認および更新して、契約および保証をプロファイルにリンクするには、次に示す Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[More Information on Access to Support Materials]** ページにアクセスします：
<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>
-
- ① **重要:** Hewlett Packard Enterprise サポートセンターを経由して一部のアップデートにアクセスするときに、製品資格が必要となる場合があります。関連する資格を使って HP パスポートをセットアップしておいてください。
-

Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	http://www.hpe.com/info/enterprise/docs
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	http://www.hpe.com/support/hpesc
Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide	http://www.hpe.com/assistance
サブスクリプションサービス/サポートアラート	http://www.hpe.com/support/e-updates-ja
Software Depot	http://www.hpe.com/support/softwaredepot
カスタマーセルフリペア	http://www.hpe.com/support/selfrepair
Insight Remote Support	http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs
Matrix Operating Environment	http://www.hpe.com/info/matrixoe/docs
Serviceguard Solutions for HP-UX	http://www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス	http://www.hpe.com/storage/spock (英語)
ストレージに関するホワイトペーパーおよび分析レポート	http://www.hpe.com/storage/whitepapers

カスタマーセルフリペア

Hewlett Packard Enterprise のカスタマーセルフリペア (CSR) プログラムは、お客様自身が製品の修理を行えるようサポートするサービスです。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。ただし、一部の部品は、CSR が適用されません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

デバイスサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

Hewlett Packard Enterprise が所有していないソフトウェアコンポーネントについてのセキュリティ報告およびアラートポリシー

Hewlett Packard Enterprise 製品には、オープンソースソフトウェア (OpenSSL など) や他社製ソフトウェア (Java など) が含まれることがあります。Hewlett Packard Enterprise では、Insight Management のエンドユーザー使用許諾契約書 (EULA) にリストされている Hewlett Packard Enterprise が所有していないソフトウェアコンポーネントが Insight Management とともに収録されていることを明らかにしています。EULA は Insight Management パッチフレームワークに含まれます。

Hewlett Packard Enterprise では、EULA でリストされているソフトウェアコンポーネントのセキュリティ報告について、Hewlett Packard Enterprise 製品に対するサポートと同レベルのサポートで対応しています。また、セキュリティ上の問題の削減に取り組み、そのような問題が発生してもユーザーがそのリスクを軽減できるよう支援しています。

Hewlett Packard Enterprise は、セキュリティ上の問題が発見された場合に備え十分定義されたプロセスを用意しており、その成果がセキュリティ報告の公開です。セキュリティ報告には、問題に関する高レベルでの説明とセキュリティ上の問題を軽減するための方法の解説が掲載されています。

サブスクリプションサービス

以下の「Subscriber's Choice for Business」Web サイトでご使用の製品を登録することをおすすめします。<http://www.hpe.com/info/wwalerts>

登録を済ませると、製品のアップグレード、ドライバーの新しいバージョン、ファームウェアアップデートなどの製品リソースに関する通知を電子メールで受け取ることができます。

ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録

Insight Management には、1 年間、24 時間年中無休の HPE ソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービスが含まれています。このサービスは、ソフトウェアの実装および操作に関する問題を解決するための支援情報についての Hewlett Packard Enterprise テクニカルリソースへのアクセスを提供します。

このサービスはさらにソフトウェアアップデートおよびリファレンスマニュアルへのアクセスを提供します。Hewlett Packard Enterprise から、電子形式のデータとして入手することができます。

このサービスで、Insight Management のお客様は、効率の良い問題解決およびソフトウェアアップデートの通知と入手を受けることができます。このサービスについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/services/insight-ja>

ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法

登録後、サービスの窓口の電話番号と SAID (Service Agreement Identifier) を含むサービス契約書がメールで送付されます。テクニカルサポートに問い合わせる際やソフトウェアアップデートおよびライセンスのポータルにアクセスする際は、SAID が必要です。

ソフトウェアのアップデートがリリースされると、最新バージョンのソフトウェアとドキュメントが入手できるようになります。ソフトウェアアップデートおよびライセンスのポータルは、Hewlett Packard Enterprise ソフトウェアサポート契約に基づく製品のソフトウェア、ドキュメントライセンスアップデートへのアクセスを提供します。

このポータルには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスできます。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

プロファイルを作成し、サポート契約をプロファイルにリンクした後で、<http://www.hpe.com/info/hpesoftwareupdatesupport> (英語) にあるソフトウェアアップデートおよびライセンスのポータルを参照し、ソフトウェア、ドキュメントおよびライセンスのアップデートを取得してください。

Hewlett Packard Enterprise 製品販売店

最寄りの Hewlett Packard Enterprise 製品販売店は、次の方法で調べることができます。

- 米国内の場合は、「Hewlett Packard Enterprise U.S. Service Locator」の Web サイトを参照してください。

http://www.hpe.com/support/service_locator

- 他の地域では、「Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide」の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/info/assistance>

関連情報

- 他の関連する HP 製品のハードウェアおよびソフトウェア要件：
 - サポート情報については、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** で入手できる Management Pack の個別のユーザーガイドを参照してください。
 - 『HP OneView for VMware vCenter User Guide』には、ハードウェアとソフトウェアの要件が掲載されています。ガイドは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** で入手できます。
 - 『HP iLO QuickSpecs』には、サポート情報が掲載されています。次に示す iLO 製品の Web サイトで入手できます。
<http://www.hpe.com/info/qs/>（英語）
- HP ProLiant サーバー：
 - ProLiant BL BladeSystem サーバー：
<http://www.hpe.com/info/blades>
 - ProLiant DL シリーズラックマウント型サーバー：
<http://www.hpe.com/servers/dl-ja>
 - ProLiant ML シリーズタワー型サーバー：
<http://www.hpe.com/servers/ml-ja>
 - ProLiant SL シリーズスケーラブルシステムサーバー：
<http://www.hpe.com/info/proliant-BigDataServer-ja>
- HP Integrity サーバー：**<http://www.hpe.com/info/integrity-ja>**
- HP NonStop サーバー：**<http://www.hpe.com/info/nonstop-ja>**

A Insight Control 電力管理のハードウェア要件およびサポートされている機能

この付録では、Insight Control 電力管理のサポート要件について説明します。この付録の一覧で示されるファームウェアの最小バージョンは、電力管理のみに適用されます。Insight Management スタック全体に適用されるファームウェア要件については、「[管理対象システムのファームウェア](#)」(48 ページ)を参照してください。

Insight Control 用のライセンス取得プロセスでは、電力管理を含むすべての Insight Control 機能のために別のライセンスキーが生成され、HP iLO Advanced および iLO Advanced for BladeSystem 用のライセンスキーが生成されます。Insight Control 電力管理を使用するには、サーバーに iLO Advanced のライセンスを適用する必要があります。

電力管理の機能

Insight Control 電力管理は、次の電力管理機能を提供します。

- **パワーレギュレーター**は、CPU のパフォーマンス状態と電力状態を動的または静的に変更できます。動的モードでは、サーバーのプロセッサの消費電力とパフォーマンスが、CPU のアプリケーション活動に合わせて自動的に調整されます。そのため、必要なときにはアプリケーション用の全電力が CPU に提供され、アプリケーション活動が少ないときにはパフォーマンスを低下させずに電力を節減できるので、サーバーのエネルギー効率が向上します。詳しくは、次に示すパワーレギュレーターの Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

- **動的消費電力上限**は、サーバーのピーク時の消費電力を安全に制限して、トラップされている電力と冷却容量を再利用します。
- **データセンターの温度分布**は、サーバー内の温度センサーからデータを収集し、室内の温度分布を図示します。
- **電力メータリング**は、非効率な部分を見つけて修正できるように、実際の消費電力をリアルタイムに測定します。
- **調整済最大電力**は、予測でなく、正確に測定された各デバイスの潜在的なピーク電力に基づく電力プランニングのために、調整済最大電力を提供します。
- **データセンター電力制御**は、冷却システムの故障時にクリティカルでないサーバーの電力を減らしてクリティカルな負荷を保護します。ハードウェアで使用できるデータセンター電力制御の機能は、[表 51 \(63 ページ\)](#)に記載されているオペレーティングシステムの機能によって変化します。
- **インテリジェントな電力検出**は、サーバーが接続されている PDU およびコンセントを自動的に検出します。

Insight Control 電力管理のサーバー要件およびサポートされている機能

この項では、電力管理を利用できるサーバーと、電力管理要件およびサポートされる電力管理機能の一覧を示します。特定の電力管理機能のサポートは、サーバーモデルごとに異なります。

表 55 HP ProLiant BL サーバーでの要件と機能

サーバーモデル	iLO または OA の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンターの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	データセンター電力制御 ^{1,2}	インテリジェントな電力検出 ³
ProLiant BL2x220c G7	任意のバージョン	I29 3/8/2010	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL260c	iLO 2 バージョン 1.30 以降	2/14/2008	✓	✓ ⁴	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL280c G6	iLO 2 バージョン 1.79 以降	I22 1/27/2009	✓	✓ ⁴	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL420c Gen8	iLO 4 バージョン 1.01 以降		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL460c G5	✓ ⁵	8/5/2008	✓	✓ ⁴	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL460c G7	iLO 3	I27 5/10/2010	✓	✓ ⁴	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL460c Gen8	iLO 4 1.01 以上および OA 3.50		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL460c Gen8 (Intel EP v2 Xeon プロセッサ搭載)	iLO 4 1.30 以上	I31 08/26/2013	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL460c Gen9	iLO 4 2.40 以上	I36 2015/07/24	✓	✓	✓ ⁶	✓	✓	✓	
ProLiant BL465c G7 (AMD Opteron 6100)	iLO 3 1.05	なし	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL465c G7 (AMD Opteron 6200)	iLO 3 1.05	なし	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL465c Gen8	iLO 4 1.01 以上		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL490c G7			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant BL620c G7	iLO 3	I25 7/9/2010	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL660c Gen8	iLO 4 1.10 以上	I32 05/02/2012	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

表 55 HP ProLiant BL サーバーでの要件と機能 (続き)

サーバーモデル	iLO または OA の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンターの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	データセンター電力制御 ^{1,2}	インテリジェントな電力検出 ³
ProLiant BL660c Gen9	iLO 4 2.40 以上	I38 1.50 07/20/2015	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL680c G7	任意のバージョン	I25 6/4/2010	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL685 G5	iLO 2 1.30 以上	1/29/09	✓	✓ ⁴	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL685c G7 (AMD Opteron 6100)	iLO 3 1.05 および OA 3.10	なし	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL685c G7 (AMD Opteron 6200)	iLO 3 1.05 および OA 3.10	なし	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant BL685c G7 (AMD Opteron 6300)	iLO 3 1.05 および OA 3.10	なし	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

¹ データセンター電力制御は、システムのプライマリアドレスでのみ動作し、プライマリアドレス以外のシステムを検出できません。システムにプライマリアドレスとして IPv4 があり、IPv6 がプライマリアドレス以外のアドレスとしてある場合、データセンター電力制御は IPv4 アドレスでのみ動作します。

² IPv6 アドレスのみを持つ VM ホストの場合、データセンター電力制御は、ゲストのシャットダウンを正常に実行できません。ホストのみがシャットダウンされます。

³ iPDU が IPv6 アドレスのみで構成されている場合、インテリジェントな電力検出機能はサポートされません。

⁴ HP BladeSystem に消費電力上限を実装する場合は、Onboard Administrator または Insight Control 電力管理ユーザーインターフェイスを介したエンクロージャー動的消費電力上限設定を使用することをおすすめします。エンクロージャー消費電力上限を使用するには、iLO 2 ファームウェアをバージョン 1.70 以上にアップグレードし、iLO 3 ファームウェアをバージョン 1.0 以上にアップグレードする必要があります。G7 サーバーについては、iLO 2 の場合はシステム ROM をバージョン 10/1/2008 以上に更新し、iLO 3 の場合は 2010 年 5 月以降に更新することをおすすめします。旧式の BL460c サーバーの場合、iLO 2 ファームウェアは動的消費電力上限ハードウェア回路を自動的に更新できないことがあります。この場合、Onboard Administrator は、内部ハードウェア回路の欠落を修正し、引き続き回路の保護を保証します。

⁵ エンクロージャー動的消費電力上限の場合、iLO 2 バージョン 1.70 以降。その他の場合、iLO 2 バージョン 2.1.30 以降。エンクロージャー動的消費電力上限の場合、OA 2.30 以降。その他の場合、OA 1.30 以降。

⁶ 温度に関連する情報またはこの機能は、iLO4 v2.02 以降のバージョンでサポートされています。

表 56 HP ProLiant ワークステーションブレードでの要件と機能

サーバーモデル	iLO または OA の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンターの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	データセンター電力制御 ^{1,2}	インテリジェントな電力検出 ³
ProLiant WS460c G6	iLO 2 1.30 以上	7/31/2007	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant WS460c Gen8	iLO 4 1.10 以上	I31 23.05.12	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

表 56 HP ProLiant ワークステーションブレードでの要件と機能 (続き)

サーバーモデル	iLO または OA の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンターの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	データセンター電力制御 ^{1,2}	インテリジェントな電力検出 ³
ProLiant WS460c Gen8 (Intel EP v2 Xeon プロセッサ搭載)	iLO 4 1.30 以上	I31 08/26/2013	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant WS460c Gen9 Graphics Server Blade	iLO 4 2.40 以上	I36 2015/08/28	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant WS460c Gen9 Graphics Expansion Blade	iLO 4 2.02 以上	I36 08/05/2014	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

¹ データセンター電力制御は、システムのプライマリアドレスでのみ動作し、プライマリアドレス以外のシステムを検出できません。システムにプライマリアドレスとして IPv4 があり、IPv6 がプライマリアドレス以外のアドレスとしてある場合、データセンター電力制御は IPv4 アドレスでのみ動作します。

² IPv6 アドレスのみを持つ VM ホストの場合、データセンター電力制御は、ゲストのシャットダウンを正常に実行できません。ホストのみがシャットダウンされます。

³ iPDU が IPv6 アドレスのみで構成されている場合、インテリジェントな電力検出機能はサポートされません。

表 57 HP ProLiant DL サーバーでの要件と機能

サーバーモデル	iLO の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン	電力トポロジ	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンターの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	データセンター電力制御 ^{1,2}	インテリジェントな電力検出 ³
ProLiant DL60 Gen9 ⁴	iLO 4 2.40 以上	U15 2015/08/12	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL80 Gen9 ⁴	iLO 4 2.40 以上	U15 2015/08/12	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL120 Gen9 ⁴	iLO 4 2.50 以上	P86 2015/11/20	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL160 Gen9 ⁴	iLO 4 2.40 以上	U20 2015/10/22	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL180 Gen9 ⁴	iLO 4 2.40 以上	U20 2015/12/27	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL320 G6 ⁵	なし	なし		✓	✓	✓	✓	✓	✓	

表 57 HP ProLiant DL サーバーでの要件と機能 (続き)

サーバー モデル	iLO の最 小ファーム ウェア バージョ ン	最小のシステ ム BIOS バ ージョン	電力トポロジ	パワーレ ギュレー ター	動的消 費電力 上限	データセ ンターの 温度分布	電力 メータ リング	調整済 最大電 力	データ セン ター電 力制御 ^{1,2}	インテ リジェ ントな 電力検 出 ³
ProLiant DL360 G7	iLO 3 1.0 以上	4/1/2010		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL360 Gen8 (Intel EP v2 Xeon プロセッ サー搭 載)	iLO 4 1.30 以上	P71 08/28/2013		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL360e Gen8	iLO 4 1.01 以上			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL360p Gen8	iLO 4 1.01 以上			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL360p Gen8 SE	iLO 4 1.30 以上	P71 08/26/2013		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant DL360 Gen9	iLO 4 2.40 以上	P89 2015/08/12	✓	✓	✓	✓ ⁶	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL20 Gen9 ⁷	iLO 4 2.30 以上	U22 2015/11/05		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL370 G6	iLO 2 1.75	P63 1/27/2009		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL380 G7	iLO 3 1.0 以上	4/1/2010		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL380e Gen8	iLO 4 1.01 以上			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL380p Gen8	iLO 4 1.0 以上			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL380p Gen8 (Intel EP v2 Xeon プロセッ サー搭 載)	iLO 4 1.30 以上	P70 08/28/2013		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL380 Gen9	iLO 4 2.40 以上	P89 2015/08/12	✓	✓	✓	✓ ⁶	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL380z	iLO4 1.0 以上			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

表 57 HP ProLiant DL サーバーでの要件と機能 (続き)

サーバーモデル	iLO の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン	電力トポロジ	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンターの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	データセンター電力制御 ^{1,2}	インテリジェントな電力検出 ³
ProLiant DL385 G7 (AMD Opteron 6100)	iLO 3 1.0 以上	4/1/2010		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL385 G7 (AMD Opteron 6200)	iLO 3 1.0 以上	4/1/2010		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL385p Gen8	iLO 4 1.01 以上			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL560 Gen8	iLO 4 1.10 以上	P77 03/29/2012		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL560 Gen9	iLO 4 2.40 以上	P85 1.50 07/20/2015	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL580 G7	iLO 3 1.07 以上	A16 4/16/2010		✓		✓	✓	✓		
ProLiant DL580 Gen8 ⁸	iLO 4 1.40	P79 2013/11/01		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL580 Gen9	iLO 4 2.40 以上	U17 1.30 07/20/2015	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL585 G7 (AMD Opteron 6100)	iLO 3 1.0 以上	A16 4/1/2010		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL585 G7 (AMD Opteron 6200)	iLO 3 1.0 以上	A16 4/1/2010		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL585 G7 (AMD Opteron 6300)	iLO 3 1.50 以上	A16 6/12/2012		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant DL980 G7	iLO 3 1.50 以上			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

¹ データセンター電力制御は、システムのプライマリアドレスでのみ動作し、プライマリアドレス以外のシステムを検出できません。システムにプライマリアドレスとして IPv4 があり、IPv6 がプライマリアドレス以外のアドレスとしてある場合、データセンター電力制御は IPv4 アドレスでのみ動作します。

² IPv6 アドレスのみを持つ VM ホストの場合、データセンター電力制御は、ゲストのシャットダウンを正常に実行できません。ホストのみがシャットダウンされます。

- ³ iPDU が IPv6 アドレスのみで構成されている場合、インテリジェントな電力検出機能はサポートされません。
- ⁴ 一覧表示される電力機能は、Broadwell プロセッサの場合にのみサポートされます。
- ⁵ このサーバーは、特定の電源装置オプションで電力/温度の監視と消費電力上限のみをサポートします。詳しい要件については、サーバーの QuickSpecs を参照してください。
- ⁶ 温度に関連する情報またはこの機能は、iLO4 v2.02 以降のバージョンでサポートされています。
- ⁷ サーバーは HPE 900W AC 240VDC 冗長電源装置キットを持つ Insight Control 電力管理でのみサポートされます。
- ⁸ DL580 Gen8 が特定の OS をサポートすることを確認するには、次の Web サイトを参照してください。
- <http://www.hpe.com/support/DL580Gen8> のサポート情報
 - <http://www.hpe.com/info/proliantgen9eu-fi-wp> の UEFI およびテクニカルホワイトペーパー（英語）

表 58 HP ProLiant ML サーバーでの要件と機能

サーバーモデル	iLO の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン	電力トポロジ	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンタの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	データセンタ電力制御 ^{1,2}	インテリジェントな電力検出 ³
ProLiant ML110 G7	なし	なし		✓	⁴	✓	✓	✓	✓	
ProLiant ML150 Gen9 ⁵	iLO 4 2.40 以上	P95 2015/12/27	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant ML310e Gen8	iLO 4 1.10 以上	J04 05/26/2012								✓
ProLiant ML330 G6 ⁶	なし	なし		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ProLiant ML350 G6	iLO 2 1.79 以上	D22 2/23/2009		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant ML350e Gen8	iLO 4 1.01 以上			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant ML350e Gen8 V2	iLO 4 1.30	07/04/2013		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant ML350p Gen8	iLO 4 1.01 以上			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant ML350p Gen8 (Intel EP v2 Xeon プロセッサ搭載)	iLO 4 1.30 以上	P72 08/26/2013		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ProLiant ML350 Gen9	iLO 4 2.40 以上	P92 2015/08/12	✓	✓	✓	✓ ⁷	✓	✓	✓	✓
ProLiant ML370 G6	iLO 2 1.79 以上	P63 6/20/2009		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

- 1 データセンター電力制御は、システムのプライマリアドレスでのみ動作し、プライマリアドレス以外のシステムを検出できません。システムにプライマリアドレスとして IPv4 があり、IPv6 がプライマリアドレス以外のアドレスとしてある場合、データセンター電力制御は IPv4 アドレスでのみ動作します。
- 2 IPv6 アドレスのみを持つ VM ホストの場合、データセンター電力制御は、ゲストのシャットダウンを正常に実行できません。ホストのみがシャットダウンされます。
- 3 iPDU が IPv6 アドレスのみで構成されている場合、インテリジェントな電力検出機能はサポートされません。
- 4 このサーバーで動的消費電力上限を有効にするには、RPS オプションを購入します。
- 5 一覧表示される電力機能は、Broadwell プロセッサの場合にのみサポートされます。
- 6 このサーバーは、特定の電源装置オプションで電力/温度の監視と消費電力上限のみをサポートします。詳しい要件については、サーバーの QuickSpecs を参照してください。
- 7 温度に関連する情報またはこの機能は、iLO4 v2.02 以降のバージョンでサポートされています。

表 59 HP ProLiant SL サーバーでの要件と機能

サーバーモデル ¹	iLO の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン	電力トポロジ	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンターの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	データセンター電力制御 ^{2,3}	インテリジェントな電力検出 ⁴
ProLiant SL230s	iLO 4 1.30 以上	P75 08/28/2013	✓							
ProLiant SL230s Gen8	iLO 4 1.01		✓							
ProLiant SL250s	iLO 4 1.30 以上	P75 08/28/2013	✓							
ProLiant SL250s Gen8	iLO 4 1.01		✓							
ProLiant SL270 Gen8	iLO 4 1.10 以上	P75 05/11/2012	✓							
ProLiant SL270s	iLO 4 1.30 以上	P75 08/26/2013	✓							
ProLiant SL2500 Gen8 Plus 2U マルチノード	iLO 4 1.30 以上	P83 08/28/2013	✓				✓			
ProLiant SL4540 Gen8	iLO4 1.30 以上	P74 2013/01/20	✓	✓		✓	✓	✓	✓	
ProLiant SL4540 Gen8 HyperStorage System	iLO 4 1.10 以上	P74 08/12/2012	✓				✓			
ProLiant SL4545 G7 HyperStorage System ⁵	iLO 3 1.50	A31 06/15/2012	✓							

- 1 SL シリーズサーバーのシャーシノードの関連付けはサポートされていません。
- 2 データセンター電力制御は、システムのプライマリアドレスでのみ動作し、プライマリアドレス以外のシステムを検出できません。システムにプライマリアドレスとして IPv4 があり、IPv6 がプライマリアドレス以外のアドレスとしてある場合、データセンター電力制御は IPv4 アドレスでのみ動作します。
- 3 IPv6 アドレスのみを持つ VM ホストの場合、データセンター電力制御は、ゲストのシャットダウンを正常に実行できません。ホストのみがシャットダウンされます。

⁴ iPDU が IPv6 アドレスのみで構成されている場合、インテリジェントな電力検出機能はサポートされません。

⁵ このサーバーは、コア機能をサポートしません。

表 60 HP ProLiant XL サーバーでの要件と機能

サーバーモデル	iLO の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン	電力トポロジ	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンターの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	Data Center Power Control データセンター電力制御 ^{1,2}	インテリジェントな電力検出 ³
ProLiant XL230a Gen9	iLO 4 2.40 以上	U13 2015/07/09	✓	✓		✓ ⁴	✓	✓	✓	
ProLiant XL220a Gen8 v2	iLO4 1.40 以上	P94 10/25/2013	✓							
ProLiant XL250a Gen9	iLO 4 2.40 以上	U13 2015/07/09	✓	✓		✓	✓	✓	✓	
ProLiant XL170r Gen9 ⁵	iLO 4 2.40 以上	U14 2015/07/24	✓	✓		✓	✓	✓	✓	
HP ProLiant XL190r Gen9	iLO 4 2.40 以上	U14 2015/10/22	✓	✓		✓	✓	✓	✓	
ProLiant XL450 Gen9	iLO 4 2.40 以上	U21 2015/10/10	✓	✓		✓	✓	✓	✓	
ProLiant XL420 Gen9	iLO 4 2.40 以上	U19 2015/07/24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

¹ データセンター電力制御は、システムのプライマリアドレスでのみ動作し、プライマリアドレス以外のシステムを検出できません。システムにプライマリアドレスとして IPv4 があり、IPv6 がプライマリアドレス以外のアドレスとしてある場合、データセンター電力制御は IPv4 アドレスでのみ動作します。

² IPv6 アドレスのみを持つ VM ホストの場合、データセンター電力制御は、ゲストのシャットダウンを正常に実行できません。ホストのみがシャットダウンされます。

³ iPDU が IPv6 アドレスのみで構成されている場合、インテリジェントな電力検出機能はサポートされません。

⁴ 温度に関連する情報またはこの機能は、iLO4 v2.02 以降のバージョンでサポートされています。

⁵ 一覧表示される電力機能は、Broadwell プロセッサの場合にのみサポートされます。

表 61 HP Integrity サーバーでの要件と機能

サーバーモデル	iLO または OA の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン ¹	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンターの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	データセンター電力制御 ^{2,3}	インテリジェントな電力検出 ⁴
Integrity BL860c	iLO 2 T 02.05 以上	N/A	✓ ⁵		✓	✓		✓	
Integrity BL860c i2	なし	なし	✓ ⁶	✓ ⁶	✓	✓	✓	✓ ⁷	

表 61 HP Integrity サーバーでの要件と機能 (続き)

サーバーモデル	iLO または OA の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン ¹	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンターの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	データセンター電力制御 ^{2,3}	インテリジェントな電力検出 ⁴
Integrity BL860c i4	なし	なし	✓ ⁸	✓ ⁶	✓	✓	✓	✓ ⁷	
Integrity BL870c	iLO 2 T 02.05 以上	N/A	✓ ⁵		✓	✓		✓	
Integrity BL870c i2	なし	なし	✓ ⁶	✓ ⁶	✓	✓	✓	✓ ⁷	
Integrity BL870c i4	なし	なし	✓ ⁸	✓ ⁶	✓	✓	✓	✓ ⁷	
Integrity BL890c i2	なし	なし	✓ ⁶	✓ ⁶	✓	✓	✓	✓ ⁷	
Integrity BL890c i4	なし	なし	✓ ⁸	✓ ⁶	✓	✓	✓	✓ ⁷	
Integrity rx2660	iLO 2 F 02.05 以上	N/A	✓ ⁵		✓	✓		✓	
Integrity rx2800 i2	なし	なし	✓ ⁶	✓ ⁶	✓	✓	✓	✓ ⁷	
Integrity rx2800 i4	iLO 3 53.30.32	N/A	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
Integrity rx2900 i4	iLO 3 53.30.32	N/A	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
Integrity rx3600	iLO 2 F 02.05 以上	N/A	✓ ⁵		✓	✓		✓	
Integrity rx6600	iLO 2 F 02.05 以上	N/A	✓ ⁵		✓	✓		✓	
Integrity Superdome 2	iLO 2 F 03.29 以上		✓		✓	✓	✓	✓ ⁹	
Integrity Superdome	iLO 2 F 03.29 以上		✓		✓	✓	✓	✓ ⁹	

¹ BIOS バージョンは、これらのサーバーには適用されません。

² データセンター電力制御は、システムのプライマリアドレスでのみ動作し、プライマリアドレス以外のシステムを検出できません。システムにプライマリアドレスとして IPv4 があり、IPv6 がプライマリアドレス以外のアドレスとしてある場合、データセンター電力制御は IPv4 アドレスでのみ動作します。

³ IPv6 アドレスのみを持つ VM ホストの場合、データセンター電力制御は、ゲストのシャットダウンを正常に実行できません。ホストのみがシャットダウンされます。

⁴ iPDU が IPv6 アドレスのみで構成されている場合、インテリジェントな電力検出機能はサポートされません。

⁵ HP Power Regulator for Integrity サーバーには、インテル Itanium プロセッサ 9100 シリーズデュアルコア 1.6 GHz、18/24 MB 部品が必要です。また、パッチ PHKL_36654、PHKL_37031、PHKL_37032、PHKL_36477、および PHKL_36478 を適用した HP-UX 11.31、または「HP platform-controlled Power management」ドライバーを適用した Microsoft Windows Server 2008 が必要です（その他のオペレーティングシステムについては別途発表予定）。Microsoft Windows Server 2008 が工場出荷時にインストールされた場合、ドライバーはインストール済みです。Microsoft Windows Server 2008 をインストールした場合は、HP Smart Setup CD を入手して、この Smart コンポーネントを手動でインストールする必要があります。Smart Setup CD は、HP Integrity Essentials Foundation Pack for Microsoft Windows (T2369AA) の一部として、または HP の Web サイト <http://www.hpe.com> のご使用のプラットフォーム用の「ソフトウェアおよびドライバーダウンロード」から入手できます。

⁶ iLO ファームウェアバージョン 01.40.42 以降が必要。

⁷ DCPC の電源オン/オフ操作は、このサーバーではサポートされていません。

⁸ iLO ファームウェアバージョン 53.70.02 以降が必要。

⁹ nPar についてのみサポート。

表 62 HP Integrity NonStop サーバーでの要件と機能

サーバーモデル	iLO の最小ファームウェアバージョン	最小のシステム BIOS バージョン ¹	パワーレギュレーター	動的消費電力上限	データセンターの温度分布	電力メータリング	調整済最大電力	データセンター電力制御 ^{2,3}	インテリジェントな電力検出 ⁴
Integrity NonStop NB50000c	なし	N/A			✓	✓		✓	
Integrity NonStop NB50000c-cg	なし	N/A			✓	✓		✓	
Integrity NonStop NB54000c	なし ⁵	N/A	✓		✓	✓		✓	
Integrity NonStop NB54000c-cg	なし ⁵	N/A	✓		✓	✓		✓	
Integrity NonStop NS16x00	なし	N/A						✓	
Integrity NonStop NX160000CG	なし	N/A						✓	
Integrity NonStop NS14x00	なし	N/A						✓	
Integrity NonStop NS2000	なし	N/A						✓	
Integrity NonStop NS2000T	なし	N/A						✓	

¹ BIOS バージョンは、これらのサーバーには適用されません。

² データセンター電力制御は、システムのプライマリアドレスでのみ動作し、プライマリアドレス以外のシステムを検出できません。システムにプライマリアドレスとして IPv4 があり、IPv6 がプライマリアドレス以外のアドレスとしてある場合、データセンター電力制御は IPv4 アドレスでのみ動作します。

³ IPv6 アドレスのみを持つ VM ホストの場合、データセンター電力制御は、ゲストのシャットダウンを正常に実行できません。ホストのみがシャットダウンされます。

⁴ iPDU が IPv6 アドレスのみで構成されている場合、インテリジェントな電力検出機能はサポートされません。

⁵ パワーレギュレーター機能の iLO 最小ファームウェアバージョンは 1.40.42 です。このバージョンは、システムファームウェアバンドルバージョン 26.05 に含まれています。

Insight Control 電力管理のサポート対象の電力供給デバイス

表 63 サポートされる電力供給デバイス

デバイス	最小ファームウェアバージョン
Eaton Power Xpert Meter 8000	12.1.6
HP インテリジェントパワーディストリビューションユニット	v1.4
HP PDR マネジメントモジュール	P 1.00.10
HP PDU マネジメントモジュール	1.00.14
Raritan Dominion PX (DPCS20A 30L6)	01.03.05
Raritan Dominion PX (PX-5532)	01.02.07
APC rPDU	v3.3.3

表 63 サポートされる電力供給デバイス (続き)

デバイス	最小ファームウェアバージョン
Liebert EM PDU コントローラー	2.rA
Eaton Powerware Switch ePDU	2.0.H
ServerTech Sentry Switch CDU	6.0g
IBM DPI PDU+	V0208001
HP UPS マネジメントモジュール	2.0.05

B Insight Control サーバー移行のハードウェア要件および注意事項

この付録では、Insight Control サーバー移行のハードウェア要件および関連する注意事項を示します。

Insight Control サーバー移行をサポートするストレージコントローラー

Insight Control サーバー移行では、表 64 (88 ページ) に示すストレージコントローラーデバイスがサポートされます。AHCI モードでは、ストレージコントローラーへの移行はサポートされません。

表 64 Insight Control サーバー移行をサポートするストレージコントローラー

ストレージコントローラー	表末尾の脚注を参照
HP SN1000E 16Gb シングルポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP SN1000E 16Gb デュアルポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP StoreFabric SN1000Q 16Gb 2-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP StoreFabric SN1000Q 16Gb 1-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP SN1100E 16Gb 2-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP 41B 4Gb PCIe からファイバーチャネルシングルポートホストバスアダプター	1
HP 42B 4Gb PCIe から FC デュアルポートホストバスアダプター	1
HP 81B PCIe 8Gb ファイバーチャネルシングルポートホストバスアダプター	1
HP 81E 8Gb シングルポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP 81Q PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP 82B PCIe 8Gb ファイバーチャネルデュアルポートホストバスアダプター	1
HP 82E 8Gb デュアルポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP 82Q 8Gb デュアルポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP FC1142SR 4Gb PCIe ホストバスアダプター	
HP FC1242SR 4Gb PCIe DC ホストバスアダプター	
HP FC2142SR 4Gb PCIe ホストバスアダプター	
HP FC2242SR 4Gb PCIe DC ホストバスアダプター	
HP H210i 6GB SAS/SATA ホストバスアダプター (2×4 内部、ドーターカード)	
HP H220i 6Gb SAS/SATA ホストバスアダプター (2×4、内部)	
HP H221 6Gb SAS/SATA ホストバスアダプター (2×4、外部)	
HP H222 6Gb SAS/SATA ホストバスアダプター (1×4 内部、1×4 外部)	
HP QMH2672 16Gb FC ホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
HP SC08Ge デュアルポート PCIe x8 SAS 拡張ホストバスアダプター	2, 3
HP Smart アレイ B110i SATA RAID コントローラー	4, 5, 6
HP Smart アレイ B120i RAID コントローラー	4
HP Smart アレイ B320i RAID コントローラー	4

表 64 Insight Control サーバー移行をサポートするストレージコントローラー (続き)

ストレージコントローラー	表末尾の脚注を参照
HP Smart アレイ E200 コントローラー	
HP Smart アレイ E200i コントローラー	
HP Smart アレイ P212 コントローラー (内部 4、外部 4)	
HP Smart アレイ P220i コントローラー	
HP Smart アレイ P222 コントローラー	
HP Smart アレイ P246br コントローラー	7
HP Smart アレイ P400 コントローラー	
HP Smart アレイ P400i コントローラー	
HP Smart アレイ P410 コントローラー (内部 8、外部 0)	
HP Smart アレイ P410i コントローラー	
HP Smart アレイ P411 コントローラー (内部 0、外部 8)	
HP Smart アレイ P420 コントローラー	
HP Smart アレイ P420i コントローラー	
HP Smart アレイ P421 コントローラー	
HP Smart アレイ P430 2GB SAS コントローラー	
HP Smart アレイ P431 2GB SAS コントローラー	
HP Smart アレイ P731m 2GB SAS コントローラー	
HP Smart アレイ P700m コントローラー	
HP Smart アレイ P711m コントローラー	
HP Smart アレイ P712m コントローラー	
HP Smart アレイ P721m コントローラー	
HP Smart アレイ P800 コントローラー	
HP Smart アレイ P812 コントローラー	
HP Smart アレイ P822 コントローラー	
HP Smart アレイ P840ar コントローラー	7
HP Smart アレイ P830 4GB SAS コントローラー	
HP Smart アレイ P230i SAS コントローラー	7
HP Smart アレイ P731m 512MB SAS コントローラー	7
HP Smart アレイ P430 4GB SAS コントローラー	7
HP Smart アレイ P431 4GB SAS コントローラー	7, 8
HP Smart アレイ B120i (006C) RAID コントローラー	
HP Smart アレイ B120i (0084) コントローラー	9
HP Smart アレイ P741m コントローラー	7
HP Smart アレイ P841 コントローラー	7

表 64 Insight Control サーバー移行をサポートするストレージコントローラー (続き)

ストレージコントローラー	表末尾の脚注を参照
Brocade 804 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	1
Emulex LPe1105-HP 4Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
Emulex LPe1205-HP 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
Emulex LPe1205A-HP 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
HP ファイバーチャネル LPe1605 16Gb ホストバスアダプター、BladeSystem c-Class 用	
QLogic QMH2462 4Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
HP ファイバーチャネル 8Gb QMH2572 ホストバスアダプター	

¹ SLES オペレーティングシステムでは、この Brocade FC HBA は SLES 11 SP2 および SLES 11 SP3 のみをサポートします。

² SLES 11 SP2 OS 移行はサポートされません。

³ RHEL 5.5 x64 移行はサポートされません。

⁴ RAID モードのみがサポートされます。

⁵ RHEL 7.x はサポートされません。

⁶ SLES 12.x OS 移行はサポートされません。

⁷ HP SIM はこの Smart アレイをサポートしています。

⁸ SLES 10 SP4 32 ビットはサポートされません。

⁹ RHEL 5.9、5.10、6.4、6.5、6.6、SLES 11 SP3、および SLES 12 のみがサポートされます。

Insight Control サーバー移行がサポートするコンバインドネットワークアダプター

表 65 Insight Control サーバー移行がサポートするコンバインドネットワークアダプター

コンバインドネットワークアダプター	表末尾の脚注を参照 ¹
HP FlexFabric10Gb 2 ポート 554FLB アダプター FCoE	
HP FlexFabric10Gb 2 ポート 554FLB アダプター iSCSI	2
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 554FLR-SFP+ アダプター FCoE	
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 554FLR-SFP+ アダプター iSCSI	2
HP FlexFabric10Gb 2 ポート 554M アダプター FCoE	
HP FlexFabric10Gb 2 ポート 554M アダプター iSCSI	2
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 526FLR-SFP+ アダプター FCoE	
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 526FLR-SFP+ アダプター iSCSI	2
HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 650M アダプター FCoE	3
HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 650M アダプター iSCSI	4
HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 650FLB アダプター FCoE	3, 5
HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 650FLB アダプター iSCSI	5
HP FlexFabric 10 Gb 2 ポート 556FLR-T アダプター FCoE	3

表 65 Insight Control サーバー移行がサポートするコンバインドネットワークアダプター (続き)

コンバインドネットワークアダプター		表末尾の脚注を参照 ¹
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-SFP+ アダプター	FCoE	3
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-SFP+ アダプター	iSCSI	
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLB アダプター	FCoE	
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLB アダプター	iSCSI	
HP CN1000E Dual Port Converged Network Adapter	FCoE	6, 7
HP CN1000E Dual Port Converged Network Adapter	iSCSI	2, 6, 7
HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter	FCoE	
HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter	iSCSI	8
HP CN1100E Dual Port Converged Network Adapter	FCoE	
HP CN1100E Dual Port Converged Network Adapter	iSCSI	2
HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバインドネットワークアダプター	FCoE	9, 10
HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバインドネットワークアダプター	iSCSI	2
HP NC551m デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバインドネットワークアダプター	FCoE	11
HP NC551m デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバインドネットワークアダプター	iSCSI	2, 10
HP NC553i 10Gb 2 ポート FlexFabric コンバインドネットワークアダプター	FCoE	
HP NC553i 10Gb 2 ポート FlexFabric コンバインドネットワークアダプター	iSCSI	2, 10
HP NC553m 10Gb 2 ポート FlexFabric コンバインドネットワークアダプター	FCoE	
HP NC553m 10Gb 2 ポート FlexFabric コンバインドネットワークアダプター	iSCSI	2, 10
HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter	FCoE	3
HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter	iSCSI	

¹ 移行は Windows と Linux の両方をサポートします。

² 次のオペレーティングシステムのみでサポートされます (32 ビットおよび 64 ビット)。RHEL 5.8、5.9、5.10、6.2、6.3、6.4、6.5 SLES11 SP2 および SP3、SLES 12。

³ HP SIM でサポートされます。

⁴ SLES 11 SP3 64 ビット移行ではサポートされていません。

⁵ このアダプターでは、iSCSI または FCoE 構成での SLES11 SP3 以降および SLES12 の展開はサポートされません。

⁶ RHEL 5.11x64 ではサポートされません。

⁷ HP ProLiant Gen8 以降ではサポートされません。

⁸ Linux オペレーティングシステムは、32 ビットと 64 ビットの RHEL 5.8、5.9、5.10、5.11、6.2、6.3、6.4、6.5、6.6、7.0、SLES11 SP2 および SP3、SLES 12 をサポートします。

⁹ W2K3 SP2x32 は正常な移行後、HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバインドネットワークアダプターで iSCSI モードで起動しません。

¹⁰ Windows 2003 ではサポートされません。

¹¹ NC551m FCoE カードを装備したサーバーの場合は、RBSU の下で[システムオプション]→[プロセッサオプション]の順に選択します。AMD ベースのプロセッサの[No_Executeページ保護]と[AMD Virtualization]、および Intel ベースのプロセッサの[Intel Hyper-Threading] を無効にします。

Insight Control サーバー移行がサポートするネットワークインターフェイスカード

Insight Control サーバー移行では、次の NIC デバイスがサポートされます。

表 66 Insight Control サーバー移行がサポートするネットワークインターフェイスカード

ネットワークインターフェイスカード	表末尾の脚注を参照
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 331FLR アダプター	
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 331i アダプター	
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 331T アダプター	
HP Ethernet 1Gb 2 ポート 332T アダプター (BCM5720)	
HP Ethernet 1Gb 2 ポート 361FLB アダプター	
HP Ethernet 1Gb 2 ポート 361T アダプター	
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 366FLR アダプター	
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 366M アダプター	
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 366T アダプター	8
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 530FLR-SFP+ アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 530T アダプター	
HP Flex-10 10Gb 2 ポート 530M アダプター	
HP Flex-10 10Gb 2 ポート 530FLB アダプター	1
HP Flex-10 10Gb 2 ポート 562SFP+ アダプター	8
HP Flex-10 10Gb 2 ポート 562FLR-SFP+ アダプター	8
HP FlexFabric10Gb 2 ポート 554FLB アダプター	
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 554FLR-SFP+ アダプター	1
HP FlexFabric10Gb 2 ポート 554M アダプター	1
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 536FLB アダプター	2
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 560FLB アダプター (BLOM)	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 560FLR SFP+ アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 560M アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 560SFP+ アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 561FLR-T アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 561T アダプター	
HP Ethernet 10Gb 1 ポート P560FLR-SFP+ アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 557SFP+ アダプター	2, 8
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 533FLR-T アダプター	3, 8
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 534FLR-SFP+ アダプター	3
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 534FLB アダプター	3
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 534M アダプター	3

表 66 Insight Control サーバー移行がサポートするネットワークインターフェイスカード (続き)

ネットワークインターフェイスカード	表末尾の脚注を参照
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 526FLR-SFP + アダプター	1
HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 650M アダプター	4
HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 650FLB アダプター	4, 5
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-SFP+ アダプター	4
HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 630FLB アダプター	
HP Flex-20 20Gb 2 ポート 630M アダプター	
HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter	1, 6
HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter	1, 8
ストレージおよびネットワークへの HP サーバー接続用 HP デュアルポート 10G コンバージドネットワークアダプター	3
HP CN1000E Dual Port Converged Network Adapter	1, 7
HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter	1
HP CN1100E Dual Port Converged Network Adapter	1
HP Infiniband QDR/Ethernet 10Gb 2 ポート 544+M アダプター	8
HP Infiniband FDR 544+FLR アダプター	8
HP NC112i 1 ポートサーバーアダプター	
HP NC112T PCI-E Gigabit サーバーアダプター	
HP NC325m PCI Express 4 ポート Gigabit サーバーアダプター	
HP NC332i Ethernet 1Gb デュアルポートアダプター (BCM5709)	
HP NC360m デュアルポート 1GbE BL-c アダプター	
HP NC360T デュアルポート PCI Express Gigabit サーバーアダプター	
HP NC362i 内蔵 2 ポート BL-c Gigabit サーバーアダプター	
HP NC364m 4 ポート 1GbE BL-c アダプター	
HP NC364T PCI-E 4 ポート Gigabit サーバーアダプター	
HP NC365T 4 ポート Ethernet サーバーアダプター	
HP NC366i 4 ポートアダプター	
HP NC371i 内蔵 PCI-X マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター	
HP NC373F PCI-E マルチファンクション 1000SX Gigabit サーバーアダプター	
HP NC373i 内蔵マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター	
HP NC373T PCI-E マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター	
HP NC375i 4 ポート Gigabit サーバーアダプター	
HP NC375T PCI Express 4 ポート Gigabit サーバーアダプター	
HP NC382i 内蔵デュアルポート PCI Express Gigabit サーバーアダプター	
HP NC382m PCI Express 2 ポートマルチファンクション Gigabit サーバーアダプター	

表 66 Insight Control サーバー移行がサポートするネットワークインターフェイスカード (続き)

ネットワークインターフェイスカード	表末尾の脚注を参照
HP NC382T PCI Express 2 ポートマルチファンクション Gigabit サーバーアダプター	
HP NC522SFP デュアルポート 10GbE Gigabit サーバーアダプター	
HP NC523SFP 10Gb 2 ポートサーバーアダプター	
HP NC524SFP デュアルポート 10GbE モジュール	
HP NC532i デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-c アダプター	
HP NC532m デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-c アダプター	
HP NC542m デュアルポート Flex-10 10 GbE BL-c アダプター	
HP NC543i デュアルポート 4x QDR IB/10Gb アダプター	
HP NC550m 10Gb デュアルポート PCIe x8 Flex-10 Ethernet アダプター	
HP NC550SFP 10 Gb 2 ポート PCIe x8 Ethernet アダプター	
HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージドネットワークアダプター	1
HP NC551m デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージドネットワークアダプター	1
HP NC552m 10 Gb 2 ポート Flex-10 Ethernet アダプター	
HP NC552SFP 10Gb デュアルポート Ethernet サーバーアダプター	
HP NC552m 10Gb デュアルポート Flex-10 限定 Ethernet 10GbE メザニンカード、BL シリーズ Gen8 サーバー用	
HP NC553i 10Gb 2 ポート FlexFabric コンバージドネットワークアダプター	1
HP NC553m 10Gb 2 ポート FlexFabric コンバージドネットワークアダプター	1
Broadcom 5719 クアッドポート	

- ¹ コンバージドネットワークアダプターでもあります。
- ² NIC モードのみでサーバー移行によってサポートされます。
- ³ FCoE または iSCSI 構成ではサポートされていません。
- ⁴ iSCSI モードでの SLES 11 SP3 64 ビット移行ではサポートされていません。
- ⁵ このアダプターでは、iSCSI または FCoE 構成での SLES11 SP3 以降および SLES12 の展開はサポートされません。
- ⁶ Insight Control サーバー移行用の iSCSI および FCoE 構成では、CN1100R デュアルポート CNA はサポートされません。
- ⁷ HP ProLiant Gen8 以降ではサポートされません。
- ⁸ HP SIM はこのアダプターもサポートします。

Insight Control サーバー移行がサポートするファイルシステムタイプ

表 67 Insight Control サーバー移行がサポートするファイルシステムタイプ

サーバー移行タイプ	ファイルシステムタイプ
Microsoft Windows サーバー	<ul style="list-style-type: none">• NTFS• FAT 16/32 <p>注記: このパーティションのサイズを変更することはできません。</p>
Linux サーバー	<ul style="list-style-type: none">• Ext2• Ext3• Ext4• ReiserFS• Linux Swap• LVM

Linux サーバーの移行についての注意事項

以下の注意事項は、Linux サーバーの移行に適用されます。

- GRUB ブートローダーを備えるサーバーの移行はサポートされています。
- Citrix への移行はサポートされていません。
- 以下の移行はサポートされていません。
 - Xen カーネル。
 - 準仮想化されたカーネル。
 - ソフトウェア RAID — OS に必須のファイルシステムが、ソフトウェア RAID で構成したディスクに存在しないことを確認してください。
 - 暗号化ファイルシステム。
 - デュアルモード Microsoft Windows および Linux。
 - スナップショット論理ボリューム。

ターゲット仮想マシンの手動ブート用にサポートされるストレージアダプター

表 68 ターゲット仮想マシンの手動ブート用にサポートされるストレージアダプター

OS	LSI ストレージアダプター	LSI SAS ストレージアダプター	Bus Logic ストレージアダプター
Microsoft Windows Server 2012		✓	
Microsoft Windows Server 2008	✓	✓	
Microsoft Windows Server 2003	✓		

表 68 ターゲット仮想マシンの手動ブート用にサポートされるストレージアダプター (続き)

OS	LSI ストレージアダプター	LSI SAS ストレージアダプター	Bus Logic ストレージアダプター
Red Hat Enterprise Linux (RHEL)	✓		
SUSE Linux Enterprise Server (SLES)	✓		✓

Insight Control サーバー移行の追加情報

サポートされる Intelligent Provisioning のバージョン

表 69 Insight Control サーバー移行でサポートされる Intelligent Provisioning のバージョン

Insight Control サーバー移行のバージョン	Intelligent Provisioning 1.60	Intelligent Provisioning 1.61	Intelligent Provisioning 1.62 (b)	Intelligent Provisioning 2.0	Intelligent Provisioning 2.10	Intelligent Provisioning 2.20	Intelligent Provisioning 2.30	Intelligent Provisioning 2.40
サーバー移行 7.2.1								
サーバー移行 7.2.2	✓ ¹							
サーバー移行 7.3	✓ ¹							
サーバー移行 7.3.1/7.3.2	✓ ²							
サーバー移行 7.4	✓			✓				
サーバー移行 7.4.2		✓		✓ ³	✓			
サーバー移行 7.5			✓ ⁴		✓	✓	✓	
サーバー移行 7.5.1			✓					✓

¹ Windows 2008 SP2 を SN1000Q コントローラーに移行すると、青色の画面になります。

² SLES 10 SP4 x64 ビットはサポートされません。

³ SLES 12、RHEL 6.6、RHEL 5.11 などのオペレーティングシステム用のドライバーはサポートされません。

⁴ Gen8 サーバーのみを対象にしています。

Linux および Windows のマルチパス I/O サポート

Linux：Insight Control サーバー移行は、ソースシステムがマルチパス上で構成されていて、ターゲットシステムがシングルパス上で構成されている場合に、Linux でマルチパス I/O をサポートします。

Windows：Insight Control サーバー移行では、シングルまたはマルチパスで構成された移行元と移行先の両方でマルチパス I/O をサポートします。

C Insight Control サーバードプロビジョニングのハードウェア要件および注意事項

Insight Control サーバードプロビジョニングがサポートするアダプター、コントローラー、ネットワークカード、およびメモリカード

Insight Control サーバードプロビジョニングは、メモリカード、ネットワークアダプター、ストレージコントローラーなど、ターゲットサーバーで使用されるオプションをサポートします。ただし、ファームウェアとドライバーの制限により、一部の例外があります。サポートされるオプションに関する情報を [表 70 \(97 ページ\)](#)、[表 71 \(97 ページ\)](#)、および [表 72 \(101 ページ\)](#) に示します。

一部のアダプターおよびコントローラーは、PXE ブートを介してのみサポートされます。Insight Control サーバードプロビジョニングの HP 提供のビルドプランは、デフォルトで、Gen8 以降のすべての ProLiant サーバー上の Intelligent Provisioning にブートします。PXE にブートするようにビルドプランを変更するには、ビルドプラン内のすべてのブートスクリプト手順パラメーターに「--method=network」および「--force」を追加します。Matrix 環境の場合は、グローバルレベルまたは特定のサーバーで HP Intelligent Provisioning を使用して PXE なしのブートを無効にする方法については、<http://www.hpe.com/info/matrixoe/docs> の『Matrix Operating Environment リリースノート』を参照してください。

- ① **重要:** SAN を使用してオペレーティングシステムをターゲットサーバーに展開する方法については、<http://www.hpe.com/info/SAN-manuals> にある [General Reference] リンクをクリックして、『HP SAN Design Reference Guide』（英語）を参照してください。オープンゾーン構成は、HP SAN 設計ガイドのベストプラクティス規則の一部に違反します。また、その違反がサーバークラッシュの原因になることがあります。『HP SAN Design Reference Guide』の、「Common server, common HBA」、「Common server, different HBAs」、および、「Server zoning rules」の項を参照して、案内に従ってください。

重要: HP Emulex アダプターについては、<http://www.hpe.com/info/hpesc> の『HP Emulex Adapters Release Notes』を参照してください。

注記: Emulex と QLogic の両方のカードを装備したサーバーでは、OS の配備時にターゲットサーバーでどちらか 1 つのみを有効にできます。

表 70 Insight Control サーバードプロビジョニング用のメモリカード

メモリカード	脚注を参照
HP デュアル 8GB MicroSD Enterprise Midline USB キット	
HP 8GB SD Enterprise Mainstream Flash Media Kit	
HP 8GB USB Enterprise Mainstream Flash Media Drive Key Kit	
HP 32GB microSD Enterprise Mainstream Flash Media Kit	1

¹ このカードは Windows ではサポートされていません。

表 71 Insight Control サーバードプロビジョニング用のネットワークアダプター

ネットワークアダプター	表末尾の脚注を参照
HP Ethernet 1Gb 2 ポート 330i アダプター	
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 331FLR アダプター	
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 331i アダプター	1
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 331T アダプター	

表 71 Insight Control サーバードプロビジョニング用のネットワークアダプター (続き)

ネットワークアダプター	表末尾の脚注を参照
HP Ethernet 1Gb 2 ポート 332i アダプター	
HP Ethernet 1Gb 2 ポート 332T アダプター	
HP Ethernet 1Gb 2 ポート 361i アダプター	1
HP Ethernet 1Gb 2 ポート 361FLB アダプター	
HP Ethernet 1Gb 2 ポート 361T アダプター	
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 366i アダプター	
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 366FLR アダプター	
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 366FLR アダプターおよび PCA ALOM 1GbE 4 ポート Intel i350	2
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 366M アダプター	
HP Ethernet 1Gb 4 ポート 366T アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 530T アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 530T アダプターおよび 2p 10GbaseT NIC 直立型	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 530FLR-SFP アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 530SFP アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 546FLR-SFP+ アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 546SFP+ アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 560FLB アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 560SFP+ アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 560FLR SFP+ アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 560FLR SFP+ アダプターおよび PCA Mezz 10GbE デュアルポート Intel 82599	3
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 560M アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 560M アダプターおよび PCA ALOM 10GbE デュアルポート Intel 82599	2
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 561FLR-T アダプター	4
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 561T アダプター	4
HP Ethernet 10Gb 1 ポート P560FLR-SFP+ アダプター	
HP Ethernet 10Gb 2 ポート 557SFP+ アダプター	17
ストレージおよびネットワークへの HP サーバード接続用 HP デュアルポート 10G コンバージドネットワークアダプター	5
HP Flex-10 10Gb 2 ポート 530FLB アダプター	
HP Flex-10 10Gb 2 ポート 530M アダプター	
HP Flex-10 10Gb 2 ポート 562SFP+ アダプター	6, 17
HP Flex-10 10Gb 2 ポート 562FLR-SFP+ アダプター	6, 17
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 533FLR-T アダプター	5, 7

表 71 Insight Control サーバードビジョニング用のネットワークアダプター (続き)

ネットワークアダプター	表末尾の脚注を参照
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 534FLR-SFP+ アダプター	5, 7
HP FlexFabric 10 Gb 2 ポート 556FLR-T アダプター	
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 534FLB アダプター	5, 7, 11
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 534M アダプター	5, 7, 11
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 536FLB アダプター	8, 9, 10, 11, 15
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 536FLR-SFP+ アダプター	7, 11
HP FlexFabric 10GB 2 ポート 551M アダプター	
HP FlexFabric 10GB 2 ポート 554M アダプター	
HP FlexFabric 10GB 2 ポート 554FLB アダプター	
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 554FLR-SFP アダプター	
HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-SFP+ アダプター	17, 22
HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 630FLB アダプター	11, 12, 13, 14, 15
HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 630M アダプター	11, 12, 13, 14, 15
HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 650M アダプター	13, 16, 17
HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 650FLB/650FLB FIO アダプター	1, 13, 16, 17, 18
HP H210i ホストバスアダプター	
HP H220 ホストバスアダプター	
HP H222 ホストバスアダプター	
HP StoreFabric デュアルポートコンバージドネットワークアダプター	3
HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter	9, 11, 15, 19, 20
HP StoreFabric CN1200E 10Gb コンバージドネットワークアダプター	13, 16, 17
HP StoreFabric SN1000E 16Gb 1P ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP StoreFabric SN1000E 16Gb 2P ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP StoreFabric SN1100E 16Gb 2-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター	
HP StoreFabric SN1100Q 16Gb 2-port FC ホストバスアダプター	
HP StoreFabric SN1000Q 16Gb 1-port PCIe FC ホストバスアダプター	21, 22
HP StoreFabric SN1000Q 16Gb 2-port PCIe FC ホストバスアダプター	21, 22
HP StoreFabric 84Q 4P 8Gb FC ホストバスアダプター	
Brocade 804 8Gb FC ホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
HP LPe 1205-HP 8Gb FC ホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
HP LPe 1205A-HP 8Gb FC ホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
HP LPe1605 16Gb FC ホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
QLogic QMH2562 8Gb FC ホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
HP Infiniband QDR/Ethernet 10Gb 2 ポート 544+M アダプター	23

表 71 Insight Control サーバードプロビジョニング用のネットワークアダプター (続き)

ネットワークアダプター	表末尾の脚注を参照
HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb デュアルポート 544FLR-QSFP アダプター	23
HP Infiniband FDR/EN 10/40Gb デュアルポート 544M アダプター	23
HP InfiniBand FDR/Ethernet 10/40Gb 2P 544+FLR-QSFP アダプター	23
HP InfiniBand FDR/Ethernet 10/40Gb 2P 544+m アダプター	23
HP InfiniBand FDR/Ethernet 10/40Gb 2P 544+QSFP アダプター	23
HP QMH2572 8Gb FC ホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
HP QMH2672 16Gb FC ホストバスアダプター、HP BladeSystem c-Class 用	
HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージドネットワークアダプター	
HP NC553i デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージドネットワークアダプター	
HP NC553m デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージドネットワークアダプター	
HP NC552SFP 10Gb デュアルポート Ethernet サーバーアダプター	

¹ Ubuntu 14.04 展開がサポートされているのは、HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター、HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター、HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650FLB のアダプターのみです。

² HP ProLiant DL および SL サーバーの場合。

³ HP ProLiant BL サーバーの場合。

⁴ HP Insight Control サーバードプロビジョニングでは、ProLiantGen8 サーバーの HP Intelligent Provisioning 経由での Windows 展開がサポートされません。PXE による Windows 配備はサポートされます。

⁵ FC、FCoE、または iSCSI 構成ではサポートされていません。

⁶ RHEL 7.0 の展開はサポートされていません。

⁷ RHEL 6.6、RHEL 7.0、および SLES 12 を使用した FCoE の展開はサポートされていません。

⁸ Intelligent Provisioning を介してブートする場合：

- NIC サポートのみ。

PXE を介して起動する場合：

- すべてのブートモードがサポートされますが、UEFI ブートモードでは最低でも FlexFabric アダプターファームウェア v2.13.8 が必要です。
- FCoE および iSCSI がサポートされますが、RHEL 7.x、SLES 11、および SLES 12 を使用する場合を除きます。
- RHEL6.5 および RHEL 6.5 KVM で FCoE がサポートされるのはレガシモードのみです。
- NIC は RHEL 7.x のみサポートします。

⁹ FCoE モードでは、ESXi 5.1 Update 3 の展開はサポートされていません。

¹⁰ RHEL 6.7 および SLES 11 SP4 ではサポートされません。

¹¹ iSCSI モードでは、VMware vSphere (ESXi) 5.x および 6.x Update 2 の展開はサポートされていません。

¹² FCoE および iSCSI 構成の Windows および Linux の展開は、Gen8 サーバー上の HP Intelligent Provisioning ではサポートされますが、最低でもバージョン 1.62(b) が必要です。PXE 経由での展開はサポートされます。

¹³ このアダプターでは、iSCSI または FCoE 構成での SLES 11 SP3 および SLES 12 の展開はサポートされません。

¹⁴ FCoE 構成の RedHat 6.x および Red Hat 7.x を展開するには、FCoE ディレクティブを Kickstart ファイルに追加する必要があります。Kickstart ファイルの FCoE ディレクティブは、SAN に接続されている NIC の指定を要求します。

--nic=(mandatory value)

アクティブ化するデバイスの名前。

--dcb=(optional value)

DCB (Data Center Bridging) 設定を確立します。

--autovlan

VLAN を自動的に検出します。

注記: 少なくとも、--nic= フラグを指定する必要があります。例: fcoe --nic=eth0。Red Hat 7.x で、Ethernet デバイス名が変更されました。詳しくは、https://access.redhat.com/documentation/en-US/Red_Hat_Enterprise_Linux/7/html/Networking_Guide/ch-Introduction_to_RHEL_Networking.html にある Red Hat Enterprise Linux 7 のドキュメントを参照してください。

- ¹⁵ これらの Broadcom コンバージドネットワークアダプターカードの追加情報については、<http://www.hpe.com/storage/spock>（英語）から SPOCK にアクセスし、[View by Converged Network Adapter] リンクを選択してください。
- ¹⁶ Intelligent Provisioning を介してブートする場合：
- すべてのアダプター機能がサポートされますが、Windows FCoE の必須最低バージョンは 2.10 です。
- PXE を介して起動する場合：
- FCoE と iSCSI がサポートされます。
 - NIC は UEFI ブートモードではサポートされません。
- ¹⁷ SLES 11 SP4 ではサポートされません。
- ¹⁸ FCoE モードでは、VMware vSphere (ESXi) 5.5 Update 3 の展開はサポートされていません。
- ¹⁹ Intelligent Provisioning を介してブートする場合：
- NIC サポートのみ。
- PXE を介して起動する場合：
- すべてのブートモードがサポートされますが、UEFI ブートモードでは最低でも FlexFabric アダプターファームウェア v2.13.8 が必要です。
 - FCoE および iSCSI は Windows の展開でサポートされます。
 - iSCSI は Linux の展開でサポートされます。
 - FCoE は iSCSI は Linux の展開でサポートされません。
- ²⁰ NPAR 構成での Windows の展開はサポートされません。
- ²¹ RHEL 5.9、SLES 11.2、または ESXi 5.x の展開はサポートされません。
- ²² Microsoft Windows を展開するには、最低でもターゲットサーバーで HP Intelligent Provisioning 2.10 以降が実行されているか、WinPE 4.0 PXE Service OS が使用されている必要があります。
- ²³ イーサネットモードでのみサポートされます。Red Hat Linux および SUSE Linux の展開でのみサポートされます。

表 72 Insight Control サーバードプロビジョニングのストレージコントローラー

ストレージコントローラー	表末尾の脚注を参照
HP H240 Smart ホストバスアダプター	
HP H240ar Smart ホストバスアダプター	
HP H241 Smart ホストバスアダプター	
HP H244br Smart ホストバスアダプター	
HP Smart アレイ P220i コントローラー	
HP Smart アレイ P222 コントローラー	
HP Smart アレイ P244br コントローラー	
HP Smart アレイ P246br コントローラー	
HP Smart アレイ P420 コントローラー	
HP Smart アレイ P420i コントローラー	
HP Smart アレイ P421 コントローラー	
HP Smart アレイ P440 コントローラー	
HP Smart アレイ P440ar コントローラー	
HP Smart アレイ P441 コントローラー	
HP Smart アレイ P840 コントローラー	
HP Smart アレイ P840ar コントローラー	
HP Smart アレイ P430 2GB SAS コントローラー	

表 72 Insight Control サーバードプロビジョニングのストレージコントローラー (続き)

ストレージコントローラー	表末尾の脚注を参照
HP Smart アレイ P431 2GB SAS コントローラー	
HP Smart アレイ P731m 2GB SAS コントローラー	
HP Smart アレイ P822	
HP Smart アレイ B120i SATA コントローラー	1
HP Smart アレイ B140i SATA コントローラー	2
HP Smart アレイ B320i SATA コントローラー	1
HP Smart アレイ B320i SAS RAID コントローラー	
HP Smart アレイ P410i コントローラー	3
HP Smart アレイ P430 4GB SAS コントローラー	
HP Smart アレイ P431 4GB SAS コントローラー	
HP Smart アレイ P731m 512MB SAS コントローラー	
HP Smart アレイ P741m コントローラー	
HP Smart アレイ P230i SAS コントローラー	
HP Smart アレイ P830 4GB SAS コントローラー	
HP Smart アレイ P841 コントローラー	

¹ カスタム属性の `kernel_arguments` を、Red Hat のインストールでは `blacklist=ahci`、SLES のインストールでは `broken modules=ahci` に設定する必要があります。

² RH7 のインストールでは、カスタム属性 `kernel_arguments` を `blacklist=ahci` に設定する必要があります。

³ SLES11 SP2 のインストールの場合、カスタム属性 `kernel_arguments` を `brokenmodules=hpsa` に設定する必要があります。

D HP-UX CMS の要件

この付録では、HP-UX を実行する CMS のハードウェアとソフトウェアの要件について説明します。

HP-UX CMS の要件

この項では、HP-UX CMS に関する次の要件を表で示します。

- HP-UX CMS のハードウェア要件：表 73 (103 ページ)
- HP-UX CMS のソフトウェア要件：表 74 (104 ページ)
- 管理対象システムの要件 HP-UX CMS からの管理：表 75 (105 ページ)

表 73 HP-UX CMS のハードウェア要件

サポートされるサーバー	HP Integrity サーバー c-Class Integrity ブレード
プロセッサ	<ul style="list-style-type: none">• HP-UX 11i v2 : 1.1 GHz 以上 (1.3 GHz 以上を推奨) 2 個以上のプロセッシングコアが必要 (4 コアを推奨)• HP-UX 11i v3 : 1.1 GHz 以上 (1.6 GHz 以上を推奨) 2 個以上のプロセッシングコアが必要 (8 コアを推奨)
メモリ	HP-UX 11i v2 : 5 GB RAM (ハードウェアの最大構成では、8 GB RAM を推奨) HP-UX 11i v3 : 5 GB RAM (ハードウェアの最大構成では、12 GB RAM を推奨)
ディスク容量の要件 : /	Systems Insight Manager 用に 20 MB 以上
ディスク容量の要件 : /opt	Systems Insight Manager が、600 MB を必要とします。 Matrix Operating Environment には、さらに 200 MB が必要です。
ディスク容量の要件 : /var/opt	ログファイルは、/var/opt/amgr、/var/opt/gwlm、および /var/opt/vse/logs ディレクトリに配置されます。これらのログは自動的に削除されません。 Capacity Advisor で 4 年分の履歴データを維持するには、100 ワークロードごとに最大 4 GB が必要です。このデータは、/var/opt/vse ディレクトリに保存されます。 PROFILE_RETAIN_DAYS 変数を変更すると、データ収集で保持されるデータ量を変更できます。詳しくは、『HP Capacity Advisor ユーザーガイド』を参照してください。
ディスク容量の要件 : データベースストレージ	Global Workload Manager では最低でも 1 GB が必要です。履歴データを保存する場合は、gWLM が管理する 100 ワークロードごとに 4 GB を確保することをおすすめします。履歴データを保存しない場合は、次のコマンドを使用して履歴データベースを削除できます。 <pre>gwlm history --truncate</pre> デフォルトの Systems Insight Manager PostgreSQL データベースを使用する場合、この容量は /var/opt に割り当てられます。Oracle を使用する場合は、この容量は Oracle データベースサーバー上で割り当てられます。 詳しくは、『HP Global Workload Manager ユーザーガイド』を参照してください。

表 73 HP-UX CMS のハードウェア要件 (続き)

ディスク容量の要件：スワップスペース	HP Integrity システムでは、5 GB の総スワップスペース
エンクロージャー	BladeSystem c3000 BladeSystem c3000、タワー型 BladeSystem c7000 BladeSystem c7000 Platinum
NIC	c-Class 内蔵 GbE NIC およびメザニンカード
HBA	c-Class メザニン FC HBA (QLogic および Emulex)
ブレードインターコネク	Virtual Connect - Ethernet および Virtual Connect - ファイバーチャンネル Cisco Ethernet スイッチ、エンクロージャー外部 (65xx、29xx、37xx) およびエンクロージャー内部
共有ブートストレージ：ブート LUN とデータ LUN	MSA 2040 FC MSA P2000 G3 MSA 1040 (GL105 搭載) ファイバーチャンネル MSA 1040 ファイバーチャンネル/iSCSI (GL200 ファームウェア搭載) MSA 1040 ファイバーチャンネル/iSCSI (GL210 ファームウェア搭載) MSA 1040 ファイバーチャンネル/iSCSI (GL220 ファームウェア搭載) HP EVA 4/6/8000。HP P6300/P6350 および P6500/P6550 HP 3PAR StoreServ 20000、8000、7000c ストレージシリーズ

表 74 HP-UX CMS のソフトウェア要件

オペレーティングシステム	HP-UX 11i v2 : OE/AR0409 以降 (英語、日本語) HP-UX 11i v3 : OE/AR0709 以降 (英語、日本語)
仮想化プラットフォーム	HP-UX 11i v2 または 11i v3 の動作する Integrity VM ゲスト。 Integrity VM ゲストで動作する HP-UX CMS は、Integrity VM バージョン 4.x および 6.x をサポートします。
データベース	PostgreSQL 8.2.1 Oracle 11g R2
Systems Insight Manager	Systems Insight Manager v7.5.1
クライアントブラウザ	IE タブ拡張付き Google Chrome バージョン 47 IE タブ拡張付き Google Chrome バージョン 43 Mozilla Firefox 38 ESR Microsoft Internet Explorer 11 Microsoft Internet Explorer 10 Microsoft Internet Explorer 9.x
Java	Java Out-of-Box (JOOB) バージョン 2.03 以降が必要です。JOOB は、選択可能なオプションソフトウェアとして HP-UX に付属します。JOOB をインストールする場合は、再起動が必要です。
Perl	v5.8.2 以降
OpenView Performance Agent からの gWLM データへのアクセス	OpenView Performance Agent から gWLM データにアクセスできるようにするには、MeasureWare.PERFDSI ファイルセット (バージョン C.03.85 以降) をインストールする必要があります。システムにファイルセットがインストールされている場合、次のコマンドを実行すると表示されます。

表 74 HP-UX CMS のソフトウェア要件 (続き)

	<p>/usr/sbin/swlist MeasureWare.PERFDSI</p> <p>このファイルセットがインストールされていない場合は、HP GlancePlus/UX Pak バージョン C.03.85.00 以降の一部としてインストールできます。</p>
管理対象システムとしての CMS	<p>CMS が管理対象システムにもなっている場合は、CMS の要件にはないが管理対象システムの要件にはある項目がすべて CMS にも適用されます。これらの要件については、表 75 (105 ページ)を参照してください。</p>

注記:

- HP Matrix OE 論理サーバー管理、Matrix インフラストラクチャオーケストレーション、および Storage Provisioning Manager は、HP-UX CMS ではサポートされません。
- Matrix Operating Environment HP-UX CMS は、x86 システムの管理をサポートしません。[表 75 \(105 ページ\)](#)は、HP-UX CMS から管理する場合の管理対象システムの要件を示しています。

表 75 管理対象システムの要件 - HP-UX CMS からの管理

サポートされるサーバー	<p>c-Class Integrity ブレード</p> <p>HP Integrity サーバー (ブレード以外)</p> <p>HP 9000 (PA-RISC 2.0) サーバー</p>
エンクロージャー	<p>BladeSystem c3000</p> <p>BladeSystem c3000、タワー型</p> <p>BladeSystem c7000</p> <p>BladeSystem c7000 Platinum</p>
NIC	<p>c-Class 内蔵 GbE NIC およびメザニンカード</p>
HBA	<p>c-Class メザニン FC HBA (QLogic および Emulex)</p>
ブレードインターコネクト	<p>Virtual Connect Ethernet および Virtual Connect ファイバーチャネル</p> <p>Cisco Ethernet スイッチ、エンクロージャー外部 (65xx、29xx、37xx) およびエンクロージャー内部</p>
共有ブートストレージ: ブート LUN とデータ LUN	<p>MSA 2040 FC</p> <p>MSA P2000 G3</p> <p>MSA 1040</p> <p>HP EVA 4/6/8000。HP P6300/P6350 および P6500/P6550</p> <p>HP 3PAR StoreServ 20000、8000、7000c ストレージシリーズ</p>
オペレーティングシステム	<p>Microsoft Windows Server 2008 for Itanium ベースシステム SP2</p> <p>Microsoft Windows Server 2008 R2 for Itanium ベースシステム SP2</p> <p>RHEL 5.2 for Intel Itanium</p> <p>RHEL 5.3 for Intel Itanium</p> <p>RHEL 5.11</p> <p>RHEL 6.6</p> <p>RHEL 6.7</p> <p>RHEL 7.0</p> <p>RHEL 7.1</p> <p>RHEL 7.2</p>

表 75 管理対象システムの要件 - HP-UX CMS からの管理 (続き)

	<p>SLES 10 SP2 for Intel Itanium SLES 10 SP3 for Intel Itanium SLES 11 SP3 for Intel Itanium SLES 11 SP4 SLES 12 SLES 12 SP1 HP-UX 11i v2 Update 2 (11.23 IA/PA) HP-UX 11i v3</p>
仮想化プラットフォーム	サポートされるオペレーティングシステム (HP-UX、Integrity Windows、Integrity Linux) を実行する Integrity VM ゲスト
その他の要件	<p>Virtual Connect 4.41 および 4.45 iLO 2.3.15、iLO 2.2.29、iLO 2.2.27、iLO 3 1.85、iLO 3 1.87、iLO 4 2.20、2.30、および 2.40 Onboard Administrator 4.40 および 4.50 HP WBEM Services for HP-UX : A.02.00 以上が必要、セキュリティの強化とパフォーマンス向上のために A.02.09.04 以上を推奨 Linux では、OpenPegasus 2.5 が必要 Integrity Windows 管理対象システムでは、WMI Mapper for Integrity Windows v2.7.0.0 が必要</p>
<p>この表の残りの部分に示される各プロバイダーおよびエージェントについては、特に指定されていなければ、このリリースで提供される最新バージョンへの更新をおすすめします。詳しくは、表 54 (69 ページ)を参照してください。</p>	
Utilization Provider	<p>スタンドアロンの Linux を除くすべての Matrix Operating Environment 管理対象システムで Utilization Provider が必要です。Utilization Provider は、Virtualization Manager および Capacity Advisor に使用率データを提供します。</p> <p>表 54 (69 ページ)に、Matrix Operating Environment の今回のリリースで提供される Utilization Provider の最新バージョンを示します。</p>
Application Discovery WBEM Provider	<p>Application Discovery で管理するすべてのシステムで、Application Discovery WBEM Provider バージョン A.04.01 以降が必要です。最新バージョンについては、表 54 (69 ページ)を参照してください。</p>
gWLM エージェント	<p>gWLM で管理するすべてのシステムで gWLM エージェントが必要です。</p> <p>gWLM の適切なバージョンについての詳細は、『HP Global Workload Manager ユーザーガイド』を参照してください。</p> <p>gWLM エージェントの最新バージョンへのアップグレードをおすすめします。最新バージョンについては、表 54 (69 ページ)を参照してください。</p>
nPartition Provider	<p>HP-UX 管理対象システムが nPartition を使用しない場合でも、このソフトウェアをインストールしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> HP 9000 上の HP-UX 11i v2 ではバージョン B.23.01.07.05 以降が必要です。 HP Integrity 上の HP-UX 11i v2 ではバージョン B.23.01.07.05 以降が必要です。 HP-UX 11i v3 では、バージョン B.31.02.01 以降が必要です。 <p>最新バージョンについては、表 54 (69 ページ)を参照してください。</p>

表 75 管理対象システムの要件 - HP-UX CMS からの管理 (続き)

VM Provider	<p>HP Integrity VM ホストシステムに、VM Provider バージョン 1.20 以降をインストールする必要があります。個々の仮想マシンでは、VM Provider の以前のバージョンを使用できます。インストールされている HP Integrity Virtual Machines、VM Provider、および VMGuestLib のバージョンの互換性を確保する必要があります。同じシステムで、これらのコンポーネントの異なるバージョンを混在させないようにしてください。</p> <p>VM Provider の最新バージョンについては、表 54 (69 ページ) を参照してください。</p> <p>重要: HP-UX 11i v3 (B.11.31) を実行するシステムに VM Provider をインストールすることはできません。</p>
vPar Provider	<p>最新バージョンの HP UX vPar Provider をすべての管理対象ノードにインストールします。vPar Provider の最新バージョンについては、表 54 (69 ページ) を参照してください。</p>

Matrix Operating Environment にバンドルされているエージェントおよびプロバイダー

Matrix Operating Environment にバンドルされているエージェントとプロバイダーのリストについては、[表 54 \(69 ページ\)](#) を参照してください。

頭字語と略語

AHCI	Intel SATA Advanced Host Controller Interface。インテル SATA アドバンスドホストコントローラーインターフェイス
AVIO	Accelerated Virtual I/O
CMS	中央管理サーバー（CMS）で、HP Insight Management がインストールされているサーバー
CNA	Converged Network Adapter。コンバージドネットワークアダプター
CSV	Cluster Shared Volume。クラスター共有ボリューム
DAS	Direct Attached Storage。直接接続ストレージ
DCPC	Data Center Power Control。データセンター電力制御
DNS	Domain Name System。ドメインネームシステム
EFI	Extensible Firmware Interface。拡張ファームウェアインターフェイス
ePDU	Enclosure PDU。エンクロージャー PDU
FAT	File Allocation Table。ファイルアロケーションテーブル
FC	Fibre Channel。ファイバーチャネル
FCoE	Fibre Channel over Ethernet
Gbe	Gigabit Ethernet
GRUB	GNU GRand Unified Bootloader
HBA	Host Bus Adapter。ホストバスアダプター
IDE	Integrated Drive Electronics
iLO	HP Integrated Lights Out
iSCSI	Internet Small Computer System Interface
ISO	International Organization for Standardization
JRE	Java Runtime Environment
KVM	Kernel based virtual machine。カーネルベース仮想マシン
LUN	Logical unit number。論理ユニット番号
LVM	Logical Volume Manager。論理ボリュームマネージャー
Matrix OE	HP Matrix Operating Environment。Application Discovery、リカバリ管理、インフラストラクチャオーケストレーション、ビジュアル化機能、HP Global Workload Manager（gWLM）と HP Capacity Advisor ソフトウェアが含まれる
migr	HP Insight Control サーバー移行
NAS	Network Attached Storage。ネットワーク接続ストレージ
NFS	Network File System。ネットワークファイルシステム
NPIV	N_Port ID Virtualization
NTFS	New Technology File System
PCIe	Peripheral Component Interface Express
PDR	Power distribution rack。パワーディストリビューションラック。複数の近接ラックに冗長入力電源を分配するラックモジュール。
PDU	Power distribution unit。パワーディストリビューションユニット。詳しくは、 Hewlett Packard Enterprise Information Library から入手できる『HP Insight Control 電力管理ユーザーガイド』を参照してください。
perf	HP Insight Control パフォーマンス管理
pwr	HP Insight Control 電力管理
PXE	Preboot Execution Environment
RDM	Raw Disk Mapping。Raw ディスクマッピング
RHEL	Red Hat Enterprise Linux。Red Hat, Inc.が配布する Linux OS

rPDU	ラックマウント型PDU
SAS	Serial Attached SCSI
SIM	HP Systems Insight Manager
SLES	SUSE Linux Enterprise Server。Novell, Inc.が配布する Linux OS
SLVM	Shared Logical Volume Manager。共有論理ボリュームマネージャー
SMI-S	Storage Management Initiative Specification
SPM	HP Storage Provisioning Manager
srvr prov	HP Insight Control サーバープロビジョニング
SSL	Secure Sockets Layer
VCEM	HP Virtual Connect Enterprise Manager
virt	HP Insight Control 仮想マシン管理
VM	Virtual machine。仮想マシン
VMFS	VMware Virtual Machine File System
VXLAN	Virtual eXtensible LAN
WAIK	Windows Automation Installation Kit。Windows 自動インストールキット
WinPE	Windows Preinstallation Environment
WWN	World Wide Name
インストーラー	HP Insight Management インストーラー
仮想マシンホスト	ホスト仮想マシンにハイパーバイザーがインストールされているシステム。ホストマシンは、複数の仮想マシンをホストすることができます。
統合インストーラー	HP Insight Management インストーラー

索引

B

BladeSystem

- エンクロージャー, 28
- メザニンカード, 47

C

CMS

- 新しい OS とハイパーバイザーのサポート, 6
 - 頭字語, 108
 - クラスターでの構成, 25
 - サポートされない構成, 21
 - サポートされる Microsoft Windows オペレーティングシステム, 15
 - サポートされる構成, 21
 - サポートされるハイパーバイザー, 18
 - ディスク容量の要件, 9
 - データベース, 20
 - ハードウェア要件, 8
 - ファームウェア要件, 12
 - ブラウザ, 23
 - メモリ要件, 9
- CMS のソフトウェア要件
- HP-UX 用, 103
- CMS のハードウェア要件
- HP-UX 用, 103

D

Debian Linux, 60

depl

- 略語, 108

E

EMC, 45

EVA アレイ

- Matrix リカバリ管理によるサポート, 46

H

Hewlett Packard Enterprise への問い合わせ, 72

HP 3PAR StoreServ

- ストレージ, 36

HP Integrity サーバー

- 管理対象システムとしてサポート, 28

HP OneView for Microsoft System Center

- ハードウェアおよびソフトウェア要件, 75

HP OneView for VMware vCenter

- ハードウェアおよびソフトウェア要件, 75

HP P2000 G3 MSA

- ストレージ用, 36

HP P9000 XP

- ストレージ, 36

HP ProLiant サーバー

- 管理対象システムとしてサポート, 28

HP StoreAll

- ストレージ用, 36

HP StoreEasy

- ストレージ用, 36

HP StoreVirtual

- ストレージ用, 36

HP-UX

- CMS のソフトウェア要件, 103
- CMS のハードウェア要件, 103
- 管理対象システムの要件, 103

HP-UX の要件

- Integrity VM ホスト用, 66

I

iLO

QuickSpecs, 75

- ハードウェアおよびソフトウェア要件, 75

Insight Control サーバー移行

- サポートされるストレージアレイコントローラー, 88
- サポートされるファイルシステムタイプ, 95

Insight Control サーバープロビジョニング

- 管理サーバーの要件, 8
- サポートされるサーバー, 28
- スケーラビリティ, 14
- ソフトウェア要件, 15, 22
- ソリューションの制限事項, 14
- ハードウェア要件, 13, 97
- ブラウザ, 23
- メディアサーバー, 14

Insight Control サーバープロビジョニングのメモリカードサポート, 97

Insight Control 電力管理

- ハードウェア要件, 76

Integrated Lights Out

- iLO を参照

Integrity Essentials Foundation Pack for Linux サポートパック, 49

Integrity Support Pack for Windows servers, 49

Integrity VM ホスト

- HP-UX で実行, 66

Integrity サーバー

- 管理対象システムとしてサポート, 28

IO アクセラレータ, 47

iSCSI

- storage, 41

M

Matrix KVM Admin Console

- ソフトウェア要件, 22

Matrix KVM Admin Console アプライアンス

- 管理サーバーの要件, 8

Matrix KVM Private Cloud

- 管理サーバーの要件, 8
- ソフトウェア要件, 22
- ブラウザ, 23

Matrix Operating Environment

- バンドルされているエージェントおよびプロバイダー, 69

Matrix リカバリ管理

- ストレージアレイのサポート, 45

Microsoft Windows OS

CMS でサポートされる, 15
Microsoft Windows ドメイン, 21
Microsoft Windows ワークグループ, 21
Microsoft フェイルオーバークラスタリング, 25
migr
略語, 108

N

NIC
サーバー移行によりサポートされる, 92
サポート, 47
NVGRE
サポート, 43

O

Oracle Linux, 60
OS
CMS でサポートされる, 15
管理対象システムでサポートされる, 51
このリリースで導入されたサポート, 6
サポートされる言語, 15

P

perf
略語, 108
ProLiant サーバー
管理対象システムとしてサポート, 28
pwr
略語, 108

Q

QuickSpecs
iLO, 75

S

Service Pack for ProLiant, 48
SIM
略語, 108
Smart アレイコントローラー
サポート, 47
SPM
サポートされるソリューション, 45
SPM アダプター
EMC, 45
SPP, 48
svr prov
略語, 108
Storage Provisioning Manager
SPM を参照

U

Ubuntu Linux, 60

V

VCEM
ハードウェア要件, 46
略語, 108
virt
略語, 108

Virtualization Management Environment ソフトウェア,
67
VMware vCenter Server ソフトウェア, 67
VMware VXLAN
サポート, 43
VM ゲスト
管理対象システムでサポートされる, 65
ストレージ, 42

W

Web サイト, 73
カスタマーセルフリペア, 73

あ

アクセス
アップデート, 72
アップデート
アクセス, 72

い

インストーラー
略語, 108

え

エンクロージャー
サポート, 28

お

オペレーティングシステム
OS を参照
オンデマンドプロビジョニング, 45

か

カスタマーセルフリペア, 73
画面
推奨されるディスプレイ解像度, 24
管理対象システム
新しい OS とハイパーバイザーのサポート, 6
サポートされる VM ゲスト, 65
サポートされるエンクロージャー, 28
サポートされるオペレーティングシステム, 51
サポートされるサーバー, 28
サポートされるハードウェア, 47
サポートされるハイパーバイザーホスト, 65
推奨ファームウェア, 49
ソフトウェア要件, 51
ハードウェア要件, 28
管理対象システムでの OS サポート
Debian, 60
HP-UX, 61
IBM AIX, 61
Microsoft Windows 7, 56
Microsoft Windows 8.1, 56
Microsoft Windows Server 2003, 54
Microsoft Windows Server 2008, 53
Microsoft Windows Server 2012, 52
Microsoft Windows Small Business Server 2003, 55
Microsoft Windows Small Business Server 2008, 55
Microsoft Windows Small Business Server 2011, 55

- Microsoft Windows Vista, 55
- Novell NetWare, 62
- Open VMS, 61
- Oracle Solaris, 62
- Red Hat Enterprise Linux, 58
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES), 59
- Ubuntu, 60
- 管理対象システムの要件
 - HP-UX 用, 103

- く
- クラスター
 - CMS の構成, 25

- け
- 言語サポート, 15, 17

- こ
- 高可用性環境
 - CMS の構成, 25
- このドキュメントで使用される略語と頭字語, 108

- さ
- サーバー
 - 管理対象システムとしてサポート, 28
- サーバー移行
 - サポートされる NIC, 92
- サーバーブレード
 - 管理対象システムとしてサポート, 28
- サーバー要件
 - Insight Control 電力管理, 76
- サービスパック, 48
- サポート
 - HewlettPackard Enterprise, 72
- サポートマトリックス
 - 関連製品用, 75

- す
- 推奨される
 - ディスプレイ解像度, 24
- 推奨スイッチ, 41
- 推奨ファームウェア
 - 管理対象システム用, 49
- スケーラビリティ
 - Insight Control サーバープロビジョニング, 14
- ストレージ
 - HP 3PAR StoreServ, 36
 - HP P2000 G3 MSA, 36
 - HP P9000 XP, 36
 - HP StoreAll, 36
 - HP StoreEasy, 36
 - HP StoreVirtual, 36
 - VM ゲスト, 42
 - サポート, 36
- ストレージアレイ
 - サポート, 47
- ストレージアレイコントローラー
 - Insight Control サーバー移行でのサポート, 88

- そ
- ソフトウェアサポート
 - 新規, 6
- ソフトウェアテクニカルサポート, 74
- ソフトウェア要件
 - 管理対象システム用, 51
 - 追加要件, 23
- ソリューションの制限事項
 - Insight Control サーバープロビジョニング, 14

- て
- ディスク容量
 - CMS, 9
- ディスプレイ
 - 推奨される画面解像度, 24
- データベース
 - CMS でサポートされる, 20

- と
- ドメイン, 21

- ね
- ネットワークインターフェイスカード
 - NIC を参照

- は
- ハードウェアサポート
 - 新しい, 7
- ハードウェア要件
 - CMS, 8
 - Insight Control サーバープロビジョニング用, 13, 97
 - Insight Control 電力管理, 76
 - VCEM 用, 46
 - 管理対象システム用, 28
- ハイパーバイザー
 - CMS でサポートされる, 18
 - このリリースで導入されたサポート, 6
- ハイパーバイザーゲスト
 - サポートされる OS, 67
- ハイパーバイザーホスト
 - 管理対象システムでサポートされる, 65
- バンドルされているエージェントおよびプロバイダー
 - Matrix Operating Environment, 69

- ふ
- ファイバーチャネルストレージ, 41
- ファイルシステムタイプ
 - Insight Control サーバー移行でのサポート, 95
- フェイルオーバークラスター
 - CMS の構成, 25
- ブラウザー, 23
 - サポートされる, 23
- ブレードサーバー
 - 管理対象システムとしてサポート, 28

- ほ
- ホストバスアダプター
 - サポート, 47

め

メモリ

CMS, 9

り

リモートサポート, 73

わ

ワークグループ, 21